福山市

当初設計

2025年度

権現池

福山市　田尻　町　地内

ため池改良工事　実施設計書

工事概要	当初設計	
	工事延長　L=28.8m	
	堤体工	
	盛土工（ランダム工）　V=275m3	
	ブロック張工　L=36.0m(A=129m2)	
	洪水吐工	
	コンクリート工　L=32.5m(V=173m3)	
	ブロック積工　L=14.9m(A=41m2)	
	擁壁工　L=21.1m(V=15m3)	
	アスファルト舗装工　A=91m2	
	コンクリート舗装工　A=30m2	
	仮設工　一式	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

・本特記仕様書は、権現池改良工事に適用する。
・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
・令和7年8月　広島県　土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
・その他関連規格類
・小黒板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節　工程表の提出について

・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節　地元への周知

・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節　情報共有システム

1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
　広島県工事中情報共有システム
　https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html
3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
　作 成 者　：受注者
　納品方法：CD、DVD
　作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第5節　工事に着手すべき期日について

・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第6節　法定外労災保険の付保について

・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第2章　材料

第1節　六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）

・本工事は「六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験」の対象工事であり、次の工種について、六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。なお、試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）によるものとする。
・土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するもとし、設計変更の対象とする。
・六価クロム溶出試験対象工種名及び検体数
　仮設工・泥土改良工：配合設計段階　1検体（試験方法1）
　　施工後段階　　1検体（試験方法2）

合計　2検体

第2節　コンクリートの配合指定

・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章　施工条件

第1節　検査期間

・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節　濁水・湧水処理

・濁水処理（沈砂池）を施工することを見込んでいる。

第3節　任意仮設

・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
・内容：工事用道路、足場工、支保工、水替工

第4節　購入土（搬入）（新材料）

・本工事では土砂購入を見込んでいる。
・新材料の購入土砂を見込んでいるが、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用することが可能である場合は、その使用に努めるものとする。ただし、使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

第5節　建設副産物について

(1)工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。
1 建設廃棄物処理計画書
・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
・各処分場の現地確認写真
・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し
2 再生資源利用計画書
3 再生資源利用促進計画書
(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。
1 再生資源利用実施書
2 再生資源利用促進実施書
3 建設廃棄物処理実施書
・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第6節　建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
・実施伝票は原本を提出すること。

第7節　特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第4章　その他

第1節　その他項目

・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第5章　総則

第1節　運搬費及び準備費の設計変更

1工事施工に当たり、「共通仮設費（率分）のうち運搬費及び準備費」の次に示す経費（以下「実績変更対象費」という。）について、土地改良事業等請負工事積算基準に基づく積算額と実際の費用に乖離が生じた場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。
【実績変更対象費】
運搬費：建設機械の運搬費
準備費：伐開、除根、除草費
2受注者は、以下に示す共通仮設費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という、）を参考にして、実績変更対象経費に係る費用の内訳について設計変更の協議ができるものとする。
【実績変更対象費の割合】
共通仮設費（率分）に占める実績変更対象費(運搬費（建設機械の運搬に要する費用）)の割合：12.86%
共通仮設費（率分）に占める実績変更対象費(準備費（伐開・除根・除草に要する費用）)の割合：3.02%
3 実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更が必要な場合は、実績変更対象経費に関する内訳書及び内訳書に記載した計上額が証明できる書類（領収書の写し、又は金額の妥当性を証明する書類等。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
4 実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、土地改良事業等請負工事積算基準に基づき算出した額における実績変更対象費を差し引いた額を加算して算出する。
5 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。
6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。
7 疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

第2節　遠隔地からの労働者確保に要する間接工事費の設計変更

1 工事施工に当たり、労働者確保に要する方策に変更が生じ、不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得なくなり、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の次に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、土地改良事業等請負工事積算基準・森林整備保全事業設計積算要領※1に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更の対象とする。
【実績変更対象費】
【営　繕　費】労働者送迎費、宿泊費、借上げ費（宿泊費、借上費については労働者確保に係るものに限る。）
【労務管理費】募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用2受注者は、次のとおり資料を提出することにより、上記1による設計変更を発注者に協議することができる。
(1) 次に示す実績変更対象費の割合を参考とし、工事着手までに「実績変更対象費に関する実施計画書」を作成のうえ監督職員に提出すること。
【実績変更対象費の割合】
共通仮設費（率分）に占める実績変更対象費(労働者送迎費、宿泊費、借上げ費)の割合：4.10%※2
現場管理費に占める実績変更対象費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合：0.92%※2
(2) 実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更が必要な場合は、「実績変更対象費に関する実績報告書」及び実績変更対象費について実際に支払った全ての証明書類の原本とその写し（領収書、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等。）を監督職員に提出すること。なお、原本は監督職員の照合・確認後、返却する。
3 実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、土地改良事業等請負工事積算基準・森林整備保全事業設計積算要領※1に基づき算出した額における実績変更対象費を差し引いた額を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更の根拠資料とする。
4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。
5 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。
6 疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

第6章　その他

第1節　福山市週休２日適用工事について

本工事は、福山市週休２日適用工事の実施について対象外とします。

ため池整備工事共通仕様書

（適用）

1-1　本仕様書は、高さ(堤高)15m未満のフィルタイプのため池（調整池を含む）改修の堤体工、地盤改良工、洪水吐工、取水施設工、浚渫工その他これらに類する工種について適用するものとする。

1-2　設計図書において特に定めのない事項については､次の基準類によらなければならない。なお､基準類と設計図書に相違がある場合は､原則として設計図書の規定に従うものとし、この仕様書に定めのない事項または疑義がある場合は、監督員に確認を求めなければならない。

1.	土地改良事業設計指針「ため池整備」	農林水産省農村振興局
2.	土木工事等共通仕様書	農林水産省構造改善局
3.	広島県農林土木工事共通仕様書	広島県農林水産局
4.	広島県土木工事共通仕様書	広島県建設技術センター
5.	農林土木工事施工管理基準	広島県農林水産局

（一般事項）

2-1　打合せ

この仕様書において「打合せを行う」とされた場合に、監督員は状況に応じ、受注者、現場代理人、監理技術者または主任技術者に対し指示、承諾または助言を行うものとし、指示及び承諾は文書（打合せ簿を含む）によって行うものとする。助言は口頭でも出来るものとする。

2-2　測量

1.　事前測量を行い監督員に結果を提出し、承諾を受けなければならない。

2.　基準点及び水準点は常に保全に努め、施工の支障となる基準点及び水準点は、監督員と協議の上移設し、その管理を適切に行わなければならない。

3.　監督員が別に指示する測量については、これを速やかに実施し、その成果を提出しなければならない。

2-3　段階確認

受注者は、工事完了後外面から明視できない箇所、または重要な工事部分及び、監督員が必要と認めて指示する作業段階ごとに、その施工位置、施工状況等について、監督員の確認を受けなければならない。

2-4　履行報告書

受注者は、月末締めで翌月７日までに履行報告書を監督員に提出しなければならない。

2-5　定義

1.「鋼土、刃金土」とは、堤体盛土のうち、遮水を目的とした部分をいう。特に「刃金土」

という場合は、遮水性部分または工法を示し、「鋼土」とは遮水性部分に用いる材料を示す場合もある。

2.「ランダム材」とは、堤体盛土のうち遮水性ゾーン（鋼土、刃金土）以外の部分をいう。

3.「ドレーン」とは、堤体からの浸透水による細粒材料の流失を防止し、かつ浸透水を堤体外へ安全に排出流下させることにより、堤体の浸透破壊を防止するものをいう。

4.「コンタクトクレイ」とは、土質材料と基礎岩盤面あるいはコンクリート構造物面が接する箇所において密着性をより高めるために貼付ける粘土質材料をいう。

5.「前法（表法）」とは、堤体上流側の法面をいう。

6.「後法（裏法）」とは、堤体下流側の法面をいう。

7.「取水施設」とは、底樋等の土木構造物と取水バルブ（ゲート）等の機械設備を含めたものの総称である。

8.「取水設備」とは、取水施設における取水バルブ（ゲート）等の機械設備を示す。

9.「樋管」とは、底樋、斜樋を含めたものの総称である。

10.「腰ブロック」とは、ドレーンを保護し、かつ浸透水を堤体外に速やかに排水流下させる積ブロックをいう。

11.「土砂吐」とは、ため池の最も低位置に設けられた池内に堆積する土砂等の排除施設をいう。

2-6　使用資材

1.　設計図及び仕様書に特定の製品名及び製造業者名を表示していない場合は、「日本工業規格（JIS 製品）、団法人日本水道協会（JWWA 製品）」または監督員が認める同等以上の製品であることとする。

2.　受注者は、本工事に使用する主要な資材について、名称・規格・品質・各種試験成績書及び購入先が確認できる資料を提出し、監督員の承諾を受けなければならない。

2-7　コンクリート工

この工事に使用するコンクリートは、「広島県土木工事共通仕様書」によるものとし、セメントは高炉 B 種とし、使用区分は次表のとおりとする。

表　　示	名　　称	設計基準強度	粗骨材最大寸法	スランプ	水ｾﾒﾝﾄ比
21-20-8	鉄筋構造物	σck=21N/mm^2	20mm	8cm	55%以下
18-40-8	無筋構造物	σck=18N/mm^2	40mm	8cm	60%以下
18-40-8	均しｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=18N/mm^2	40mm	8cm	60%以下

2-8　施工体制立入点検について

1.　発注者は、受注者が工事の施工に当たり、遵守しなければならない法令上の義務が適正に履行されているかの立入調査を行うことができる。

2.　受注者は、発注者の指名する者が、工事現場、現場事務所または営業所に立入調査を実施する場合は、これを受け入れなければならない。

＜施工一般＞

（堤体工）

3-1　雑物除去工

1.　受注者は、掘削に当たり、堤敷内の腐植土、草木根等の有機物及び基礎として不適当なもの並びに池水の浸透を誘導する雑物（風化土、転石、泥土等）は完全に除去しなければならない。なお、現地状況により完全に除去できない場合には、監督員と協議しなければならない。

2.　受注者は、設計図書に基づき工事現場内にある地表物及び物件を処理しなければならない。また、設計図書に示されていない地表物等については、監督員と協議しなければならない。

3-2　土取場

1.　堤体盛土材料の採取に当っては、指定する土取場について採取計画を施工計画書に記載し、監督職員の承諾を得なければならない。

2.　受注者は、伐開または採土前に土取場で監督職員、所有者立会のもとに範囲等を確認し、後でトラブルのないようにしなければならない。また、数量の確認ができるよう着工前後の測量、写真等必要書類を整理しなければならない。

3-3　表土剥ぎ取り

1.　受注者は、改修する堤体表土の剥ぎ取りに当たり、原則として全面にわたり同時に施工するものとする。
なお、やむを得ず盛土の進捗に応じて表土を剥ぎ取る場合には、表土と盛土が混合しないようにしなければならない。

2.　受注者は、表土の剥ぎ取りに当たり、設計図書に定めのない限り 30cm 以上とし、剥ぎ取り面に樹木の根等が残る場合、これを除去しなければならない。
なお、現地状況により除去できない場合には、監督員と協議しなければならない。

3-4　掘削工

1.　受注者は、掘削に当たり、計画基礎地盤標高に達する前に、ボーリング結果と現地の照合を行う等、地盤の確認を行い、地盤改良の可否を検討するものとする。地盤改良等が必要となった場合には、監督員と協議するものとする。

2.　受注者は、浸透水をその原因により堤防の内外に区分して、誘導処理しなければならない。

3.　受注者は、床掘及び袖掘を設計図書に示す深さに掘り下げ、掘削完了後は監督員の検査を受けなければならない。
ただし、所定の深さ以前に良質堅固な不透水層に遭遇した場合は、監督員の指示を受けなければならない。

4.　受注者は、床掘及び袖掘には原則として火薬使用を避け、基礎の弛緩を防止し、やむを

得ずこれを使用する必要があるときは、監督員の指示を受けなければならない。

5.　受注者は、漏水を絶無にするため、基礎地盤の「凹凸」を取除いてよく清掃し、基礎地盤と築堤土との接触を密にしなければならない。

6.　受注者は、掘削に当たり必要な断面を確保するとともに、極力過掘りを避けるものとする。過掘りとなった場合、地山と同等若しくは良質な材料を用いて埋戻すものとするが、その処置について監督員の指示によるものとし、これに要する経費は受注者の負担により行わなければならない。

7.　受注者は、掘削法面の保護について十分工程計画を検討し、風化、変質が生じないようにしなければならない。

3-5　掘削土の流用工

1.　受注者は、掘削土を築堤材料へ流用する場合、設計図書によるものとする。

2.　受注者は、掘削に先立ち掘削土の盛立材料への流用の適否を検討するために掘削箇所の試掘を行うとともに土質試験を実施し、その試験結果を監督員に提出するものとする。なお、試験項目については監督員の指示によらなければならない。

3-6　掘削土の搬出工

1.　受注者は、泥土等軟弱な土砂を現場外へ搬出する場合、建設汚泥再生利用技術基準(案)の第４種建設発生土相当以上（コーン指数（ｑｃ）が 200kN/m2 以上若しくは一軸圧縮強度（ｑｕ）が 50kN/m2 以上）に改良しなければならない。

なお、第４種建設発生土相当以下の泥土等軟弱な土砂を本工事現場外へ搬出する必要がある場合は、監督員と協議するものとする。

2.　受注者は、泥土を他事業、他工事で再利用する場合、事前に泥土に含まれる有害物質に関する試験を行い、「水質汚濁防止法に基づく排水基準（一律排水基準）」を満たしていることを確認するものとする。なお、基準を満たしていない場合は監督員と協議するものとする。

3-7　堤体盛立工

1.　受注者は、盛立材料の試験を設計図書及び監督員の指示により行わなければならない。

2.　受注者は、鋼土には特に水密性の大きい粘質土を選び、透水係数ｋ＝1×10^{-5}cm／sec 以下の土を用いなければならない。

(JIS A 1214 の方法による、最大乾燥密度の 95%以上の時)

3.　受注者は、ランダム材には透水性があり重量の大きい砂質土で、透水係数ｋ＝1×10^{-3}～1×10^{-5}cm／sec の土を用いなければならない。

(JIS A 1214 の方法による、最大乾燥密度の 95%以上の時)

4.　受注者は、築堤用土の採取及び搬入について、1 日計画盛土量程度とし、降雨、降雪その他の事由により盛土を中断し、搬入土が余る場合、覆い等を施して過湿あるいは乾燥土とならないよう処置しなければならない。

5.　受注者は、用土運搬の方法について転圧の障害となる軌道、ポスト等は盛土の現場に設けてはならない。
また、自走式運搬機械で行なう場合も、その進入路等の軌跡が集中して過転圧を起さないように、取付部の拡張、運搬方法について考慮しなければならない。

6.　受注者は、築堤用土のまき出し及び転圧に当たり、原則として堤体の縦断方向に施工するものとし、横断方向に層状にならないように注意しなければならない。
ただし、樋管設置のための開削部で作業が困難な場合はこの限りではない。

7.　受注者は、盛土基礎地盤について支持力及び均等性に疑問がある場合には監督員と協議しなければならない。

8.　受注者は、まき出した土を、その日のうちに締固めなければならない。

9.　受注者は、床掘部の盛立において、湧水のあるときはこれを排除して十分に締固めなければならない。なお、排除の方法については、監督員と協議しなければならない。

10.　受注者は、地山及び既成盛立との接触面について特に十分に締固めなければならない。

11.　受注者は、盛土作業について最凹部から各層平坦に締固め、設計図書に示す高さまで盛立てるものとする。

12.　受注者は、水平な面を施工する場合、平坦な締固め、排水が良好となるよう施工しなければならない。

13.　受注者は、タイヤローラまたは振動ローラで転圧作業を行うこととする。

14.　受注者は、転圧作業に当たり、ローラの転圧幅は30㎝以上重複させなければならない。

15.　受注者は、地山または既成盛立との接触面及び地形上ローラの使用が不可能な箇所の転圧に際しては、地山との密着及び既成盛立との均一化を図るよう特に留意し、タンパ、振動ローラ等の小型締固め機械または人力で入念に締固めなければならない。

16.　受注者は、法面部の盛土について、規定以上の寸法の広さまでまき出し、十分締固めを行うものとする。また、はみ出した部分は、盛立完了後に切り取り、法面を仕上げるものとする。

17.　受注者は、冬期の盛立において、盛立面の氷雪または凍土、霜柱は必ず除去して転圧しなければならない。また、含水比あるいは締固め密度が所定の値を満足していない場合、その１層を破棄あるいは再締固めしなければならない。

18.　受注者は、盛土の施工中において、用土の不適若しくは転圧の不十分、または受注者の不注意によって湧水あるいは盛立法面の崩壊があった場合、その部分及びこれに関連する部分の盛立について再施工しなければならない。

19.　受注者は、盛立現場の排水を常に十分行い、雨水等が盛立部分に残留しないよう緩勾配をつけて仕上げるものとする。

20.　受注者は、転圧後平滑面が出来た場合、次層との密着を図るため、かき起しをしてから

次のまき出しを行わなければならない。

21.　受注者は、まき出し面が乾燥した場合は散水等により、まき出し材料と同程度の含水比となるよう調整し施工しなければならない。

22.　受注者は、まき出し土中に過大な粒径の岩石、不良土及びその他草木根などがある場合、これを除去しなければならない。

23.　受注者は、盛土作業中に沈下等の有害な現象があった場合、その処理方法について監督員と協議しなければならない。

24.　受注者は、岩盤面に盛立する場合、浮石やオーバーハング部を取除き、十分清掃のうえコンタクトクレイを貼り付けた後施工しなければならない。
また、コンタクトクレイを施工するときは、その厚さ及び施工方法について監督員と協議しなければならない。

25.　受注者は、締固めに当たり、過転圧による品質の低下に十分注意し、適正な盛立管理のもとに施工しなければならない。

26.　受注者は、締固め後、乾燥によるクラックが発生した場合、その処理範囲について監督員と協議し、健全な層まで取除き再施工しなければならない。

27.　受注者は、盛立作業ヤード上で締固め機械を急旋回してはならない。

28.　受注者は、施工中において用土の含水比、締固め試験、透水試験等の施工管理試験を行わなければならない。

29.　まき出し厚さ、転圧回数の標準は次のとおりとする。ただし、施工前及び土質変更時には現場盛土試験を行い、転圧状況等の確認を行い、監督員と協議し決定するものとする。

	ﾀｲﾔﾛｰﾗ (3500m/h)		振動ローラ (1000m/h)		タンパ (550m/h)	
	まき出厚 (m)	転圧回数 (回)	まき出厚 (m)	転圧回数 (回)	まき出厚 (m)	転圧回数 (回)
鋼　　土	0.20	10	0.20	8	0.10	8
ランダム	0.30	8	0.30	4	0.20	4

30.施工管理

①　施工管理は、別紙ため池出来形管理基準（写真撮影）及びため池品質管理基準によるものとし、試験方法、回数、施工管理基準は本仕様書によるものとする。

②　受注者は、土質が変化する時等、監督員の指示により含水比試験を行わなければならない。許容含水比は最適含水比±5%とする。

③　試験結果が管理基準値に達しない場合は監督員の指示にしたがうものとする。

3-8　コンクリート工

受注者は、構造物の施工に当たり、図面に表示している箇所以外で生コンクリートの施工

打継ぎを行う場合には、塩ビ製止水板を設置し、漏水がないようにするものとする。

3-9　法面保護工

1.　受注者は、設計図書で示された工法で十分転圧し、法面を整形しなければならない。

2.　受注者は、曲線部及び局部で波止ブロックの施工ができない箇所は、強度 18N／㎜^{2}以上のコンクリートで仕上げなければならない。

3-10　裏法フィルター工

受注者は、後法（裏法）フィルターの施工に当たり、1 層の仕上がり厚さが 30㎝以下となるようまき出し、タンパ（60～100kg 級）等により締固めなければならない。

3-11　腰ブロック工

受注者は、腰ブロック水抜孔の施工に当たり、塩化ビニル管（VUφ50㎜）を２～３㎡に 1 箇所程度の割合で設置しなければならない。

3-12　ドレーン工

受注者は、砕石または砂によるドレーンについて、1 層の仕上り厚さが 30㎝以下となるようまき出し、振動ローラまたはタンパ（60～100kg 級）等により締固めなければならない。

（地盤改良工）

4-1　浅層改良工

1.　受注者は、設計図書に示す種類の固化材を使用するものとし、地盤改良の施工方法等を施工計画書に記載し、監督員に提出しなければならない。なお、これ以外の改良方法を行なう場合には、監督員と協議しなければならない。

2.　受注者は、工事着手前に室内配合試験を行い、使用する固化材の添加量について監督員の承諾を得なければならない。

3.　受注者は、風による飛散公害と作業員の健康障害等を招かないよう必要な措置を講じるとともに天候に留意し、雨天、強風時及び気温５℃以下のときは散布してはならない。また、施工時に異常が発生した場合には、直ちに監督員に報告し、指示を受けるものとする。

4.　受注者は、バックホウ等により所定の深さまで現地土と固化材を混合･攪拌するものとし、混合状態の良否を観察し、目視による色むらがなくなるまで行うものとし、混合むらが生じた場合は、再度混合する。

5.　受注者は、固化材を混合、攪拌し所定の養生期間を経た後、基盤面の仕上げを行うものとする。

6.　受注者は、セメント系固化材を使用する場合、必要に応じて透流出水の PH を測定するものとする。なお、測定方法については、監督員の指示を受けるものとする。

7.　また、六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。試験方法は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良

土などの六価クロム溶出試験実施要領」によるものとする。また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

・試験対象工種名及び検体数

地盤改良工　：　配合設計段階　　1 検体（試験方法 1）
　　施工後段階　　1 検体（試験方法 2）

（洪水吐工）

5-1　洪水吐工

1.　受注者は、堰体に接する部分の掘削に当たり、発破と過掘りを避けて、基盤を緩めないようにしなければならない。また、洪水吐の越流堰設置箇所部分の掘削は、正確な断面を保持しなければならない。

2.　受注者は、設計図書に掘削土等の流用計画が示されている場合、流用工種との工程調整を図り、所定量を確保しなければならない。

3.　受注者は、特に堰体コンクリートと岩盤の密着について留意し、浮石等を除去、清掃のうえモルタルを敷き均して施工しなければならない。

4.　受注者は、堤体越流部及び放水路の断面形状等について、設計図書によるものとし、表面に生じた空隙にはコンクリート等を充填し、突起部はすべて削り取って平滑に仕上げなければならない。

5.　受注者は、洪水吐周辺の盛土について、土とコンクリートの境界面が水みちとならないように施工しなければならない。

6.　受注者は、設計図書のとおり床版ずれ止めアンカーを正確に取付けなければならない。

（取水施設工）

6-1　取水施設工

1.　受注者は、底樋管巻立コンクリート及び止水壁周辺の盛土について、境界面が水みちとならないよう、特に十分に締固めなければならない。また、締固め機械によって底樋管等に損傷を与えないよう注意して施工しなければならない。

2.　受注者は、底樋管上の盛土の転圧について巻立コンクリートの天端から 60cm までは、重機械によらずにタンパ等で十分に締固めなければならない。

3.　受注者は、取水施設設置のための現況堤体開削部について、盛土材料と旧堤体土とのなじみを良くするため境界面のかき起しや散水を行うものとし、堤体開削部より漏水することのないように施工しなければならない。

4.　受注者は、掘削において、管敷設、接合、基礎工、埋戻し等の作業及び管体の安全を考慮して必要な幅員及び法勾配を確保するものとし、過掘りの発生は極力避けなければならない。継手掘り箇所またはやむを得ず基礎地盤を過掘りした場合、良質な材料を用いて締固め、当初地盤と同等程度に復元しなければならない。

5.　受注者は、設計図書に示すとおり取水施設の継手を設置しなければならない。なお、盛土の圧密沈下等により支障を生じないようにしなければならない。

6.　受注者は、堤体盛土に支障のないよう工程上余裕を持って底樋管を設置するものとする。

7.　受注者は、管路の埋戻し用土に掘削土を流用するとき石礫、有機物等の有害物を含まないようにしなければならない。

8.　受注者は、斜樋管に塩ビ管・ヒューム管等を用いる場合、管体に損傷を与えないよう丁寧に取扱い、継手は水密になるよう接合しなければならない。

9.　受注者は、底樋管と斜樋管の取付部、斜樋管の取水孔部、施工継手等は漏水のないよう施工しなければならない。

10.　受注者は、樋管工事の施工に当たり樋管部巻立コンクリート打設前及び樋管完成時の各段階で監督員の承認を受けなければならない。

6-2　ゲート及びバルブ製作工

1.　受注者は、製作に先立ち、承諾図書を２部（承諾後返却分１部を含む）　提出するものとする。

2.　受注者は、完成図書を２部提出するものとする。なお、完成図書等の内容、様式等については監督員と打合せのうえ作成するものとする。

3.　受注者は、製作に使用するすべての材料について、水圧に耐えうる強度を有し、各種形状寸法は正確に承諾図書に適合したものでなければならない。

4.　受注者は、鋳鋼、鋳鉄、砲金等の鋳造品は十分押湯をし、表面平滑であって、鋳房、気泡、その他鋳造上の欠点のないものでなければならない。

6-3　取水ゲート

1.　受注者は、扉体の主横桁は設計最大水圧を均等に受ける位置に配置しなければならない。

2.　受注者は、シートフレームの設計、製作に当たりコンクリートにより弾性支持されるレールと考えられるので、扉体に作用する水圧を有効かつ安全にコンクリートへ分布伝達できるようにしなければならない。

3.　受注者は、水密部となる扉体及びシートフレームを平削加工したうえ、共摺合せを十分に行い完全なる水密を保たなければならない。

4.　受注者は、スルースバルブの巻上機について巻上オネジ及びメネジがその荷重に耐えられる構造としなければならない。

5.　受注者は、オネジの軸受部について開閉が容易に行えるようにベアリングを装置しなければならない。

6.　受注者は、巻上機に開閉度を表示する目盛板とハンドルの回転方向による開閉別を区分できる表示板を取付けなければならない。

（土砂吐ゲート）

6-4　土砂吐ゲート

1.　受注者は、扉体の主桁は設計最大深を均等に受ける位置に配置し、その水圧に対して十分な強度を有する構造としなければならない。

2.　受注者は、シートフレームの設計、製作に当たり、コンクリートにより弾性支持されるレールと考えられるので、扉体に作用する水圧を有効かつ安全に側壁コンクリートへ分布伝達できるようにしなければならない。

3.　受注者は、水密部となる扉体及びシートフレームを平削加工したうえ、共摺合せを十分に行い完全なる水密を保たなければならない。

4.　受注者は、開閉が円滑に行える構造としなければならない。

（仮設備工）

7-1　道路工

1.　工事用道路は工程計画、安全性を考慮し施工しなければならない。

2.　工事用道路については、施工計画書に記載しなければならない。

7-2　水替工

1.　仮締切、仮廻し水路は、設計図書によるほか、流水等に対し安全な構造とし適切な維持管理をしなければならない。

2.　工事に起因する汚濁水は、環境保全、自然保護等について十分留意し、必要に応じて流末処理（沈砂池等）をするなど、十分に注意しなければならない。

3.　受注者は、汚濁水の流出等不測の事態が生じた場合は、監督員及び関係者に速やかに連絡し迅速に対処しなければならない。

4.　仮締切内の水替は排水計画に万全を期し常時適切に管理をしなければならない。

7-3　仮排水工の管理

1.　仮排水工は、受注者の責任において適切な維持管理をしなければならない。

2.　仮排水工の計画流量を超える場合の処置については、あらかじめ監督員と協議するものとし、緊急時に備えなければならない。

ため池 出来形管理基準（写真撮影）

種　類	細　目	撮　影　箇　所	撮　影　頻　度	摘　要
堤体工		盛土幅員、まき出し厚、転圧、法長、法面（芝）法勾配、排水側溝その他必要な箇所を撮影する	施工延長概ね20～40mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記に満たない場合は2箇所撮影する。	
余水吐工		床掘、基礎、幅、高さ、厚さ、配筋、打継目、パイプ敷設、外観検査、ジョイント関係、その他必要箇所を撮影する。	概ね2スパンにつき1箇所の割合で撮影する。 箇所単位の構造物については適宜撮影する。	
樋管工		床掘、基礎、幅、高さ、厚さ、配筋、打継目、その他必要箇所を撮影する。	施工延長概ね10mにつき1箇所の割合で撮影する。箇所単位の構造物については適宜撮影する。	
地盤改良 （浅層混合）		改良前に改良深の確認状況その他必要箇所を撮影する。	施工延長概ね20～40mにつき1箇所の割合で撮影する。	

ため池 段階確認　事項

項　目	内　容	備　考
地盤支持力の確認	ブロック積擁壁	キャスポル等にて確認
	余水吐	
	土砂吐	
	底樋	
準備工	丁張	
盛土工	現場透水試験	品質管理基準のとおり
鉄筋構造物	鉄筋組立完了時	
準備工	丁張	
堤体基礎地盤面	現場透水試験　K=1×10^{-4}cm/s以下	

ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ ｸﾞﾗｳﾄ工		削孔位置、削孔深度、その他必要箇所を撮影する。	各孔について撮影する。	
	掘削穿孔	施工状況	必要箇所	
	検尺	ロッド長残尺高	全数	
	注入状況	注入圧力	必要箇所	
	注入材料	搬入時及び空袋写真	必要箇所	
浚渫工		浚渫後に掘削幅員、深さ、法長、法勾配、その他必要箇所を撮影する。	施工延長概ね20～40mにつき1箇所の割合で撮影する。	
工事用道路工 （盛土）		幅、法長、法勾配、その他必要な箇所を撮影する。	施工延長概ね20～40mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記に満たない場合は2箇所撮影する。	

ため池 品質管理基準　　岡山県共通仕様書に準じている

種別	重要度	試験（測定）項目	管理基準			
			試験(測定)方法	規格値	試験（測定）基準	摘要
材料試験	必須	土の粒度試験	JIS A 1204		原則として、当初及び土質の変化時、ただし規模等により回数は別途表示。	※必須の試験(測定)項目は必ず実施すること
		土の突固め試験	JIS A 1210			
		土の密度試験	JIS A 1202			
		土の透水試験	JIS A 1218			
		土の含水比試験	JIS A 1203			
	その他	土の一軸試験	JIS A 1216		当初設計に比べ重大な変化が認められる場合、発注者と協議してから実施のこと	※その他の試験(測定)項目は必要に応じて実施すること
		土の三軸圧縮試験	土木試験基準			
		土の圧密試験	JIS A 1217			
		土のセン断試験	土木試験基準			
		土の液性限界試験	JIS A 1205			
		土の塑性限界試験	JIS A 1206			
施工試験	必須	土の含水比試験	JIS A 1203	施工含水比は、標準突き固め最適含水比の±5.0%の範囲にあること。		
		六価クロム溶出試験	環境庁告示第46条 溶出試験	試験方法1	地盤改良工施工前	
		現場密度試験	JIS A 1210	D値９５％以上	遮水性ゾーン　： 盛土1m毎、延長50m毎に1回、 1回当り3個 ランダムゾーン　： 盛土2m毎、延長50m毎に1回、 1回当り3個	
		現場透水試験	立坑法 JGS1316	K=1.0*10^-5cm/s以下	遮水性ゾーン　： 盛土1m毎、延長50m毎に1回、 1回当り1個	
				K=1.0*10^-3 ～1.0*10^-5cm/s	ランダムゾーン　： 盛土2m毎、延長50m毎に1回、 1回当り1個	

総括情報表

変更回数	0	
適用単価地区	70 福山市	
単価適用日	00-07.08.01(0)	
諸経費体系	9 公共(011015～)	
	当世代	前世代
諸経費工種	21 ため池工事	
工事費端数区分	01 千円未満切捨	
週休補正区分	00 補正なし	
施工地域・工事場所区分	00 補正なし	
契約保証費区分	01 金銭的保証(0.04%)	
前払支出割合区分	00 補正なし	
軽油区分	00 一般軽油使用	
復興補正区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など		数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
本工事費						
ため池		1	式			レベル１
堤体工		1	式			レベル２
掘削工		1	式			レベル３
土砂（堤体）掘削	【土質】		m3			レベル４
	表土剥取 土砂 上記以外(小規模) 標準	9	m3			00 単第 0 -0001号表
	掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	76	m3			00 単第 0 -0002号表
	床掘り 土砂 上記以外(小規模)	61	m3			00 単第 0 -0003号表
盛土		1	式			レベル３

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ランダム 【土質】		m3			レベル４
盛土工 幅：W＜1.0	8	m3			00 単第　0 -0004号表
盛土工 幅：1.0m≦W＜2.5m	96	m3			00 単第　0 -0010号表
路体(築堤)盛土・埋戻 施工幅員2.5m以上4.0m未満	99	m3			00 単第　0 -0013号表
路体(築堤)盛土・埋戻 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	72	m3			00 単第　0 -0014号表
購入土（ランダム材） 現場渡し	126	m3			00
泥土改良 【添加剤区分】		m2			レベル４
安定処理 混合深さ1m以下 10t/100m2 セメント系固化材 一般軟弱土用	93	m2			00 単第　0 -0015号表
法面整形工	1	式			レベル３

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
法面整形（盛土部） 【土質】		m2			レベル４
法面整形 盛土部 法面締固め有り 現場制約有り 砂及び砂質土,粘性土	206	m2			00 単第 0 -0016号表
作業残土処理工	1	式			レベル３
作業残土処理		m3			レベル４
土砂等運搬（表土） 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り　距離15.0km以下(11.0km超)	9	m3			00 単第 0 -0017号表
土砂等運搬（粘性土） 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り　距離5.0km以下(4.5km超)	61	m3			00 単第 0 -0018号表
処分費対象額調整（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる					
残土受入費（表土）	9	m3			00
残土受入費（粘性土）	61	m3			00

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
法面植生工	1	式			レベル３
張芝 【材料種別】		m2			レベル４
芝付工 全面張　人工芝（幅 100cm程度）	34	m2			00 単第 0 -0019号表
侵食防止工	1	式			レベル３
コンクリートブロック張 【材料種別】		m2			レベル４
コンクリートブロック張工 目地モルタルを使用しない場合 ブロック厚さ　12cm	118	m2			00 単第 0 -0020号表
コンクリートブロック張工 目地モルタルを使用しない場合 ブロック厚さ　12cm	9	m2			00 単第 0 -0022号表
コンクリートブロック張工(手間のみ) 目地モルタルを使用しない場合 ブロック厚さ　12cm 発注者より支給	2	m2			00 単第 0 -0023号表
コンクリートブロック基礎 【規格】		m			レベル４

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
基礎コンクリート 張ブロック	31	m			00 単第　0 -0024号表
裏込砕石 【規格】		m3			レベル４
裏込工(ブロック張) ブロック張り 再生クラッシャーラン（ＲＣ－４０）	19	m3			00 単第　0 -0027号表
天端コンクリート 【規格】		m			レベル４
天端コンクリート 張ブロック	15	m			00 単第　0 -0028号表
現場打擁壁工	1	式			レベル３
1号ブロック積擁壁工		m2			レベル４
コンクリートブロック積工(練積) 滑面ブロック 18-8-40BB	10	m2			00 単第　0 -0029号表
裏込砕石 砕石(各種)	5	m3			00 単第　0 -0030号表

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
コンクリートブロック基礎（1号ブロック積 1号ブロック積擁壁	3	m			00 単第　0 -0031号表
現場打小口止コンクリート 18-8-40BB 一般養生	1.0	m3			00 単第　0 -0032号表
2号ブロック積擁壁工		m2			レベル４
コンクリートブロック積工(練積) 滑面ブロック 18-8-40BB	31	m2			00 単第　0 -0029号表
裏込砕石 砕石(各種)	13	m3			00 単第　0 -0030号表
コンクリートブロック基礎（2号ブロック積 2号ブロック積擁壁	12	m			00 単第　0 -0033号表
1号コンクリート擁壁 【規格】		m			レベル４
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	11	m3			00 単第　0 -0034号表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	46	m2			00 単第　0 -0035号表

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
基礎コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	1.6	m3			00 単第 0 -0036号表
型枠（基礎コンクリート） 一般型枠 均しコンクリート	3.6	m2			00 単第 0 -0037号表
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板t=10mm	1	m2			00 単第 0 -0038号表
排水孔（1号コンクリート擁壁）	3	箇所			00 単第 0 -0039号表
2号コンクリート擁壁 【規格】		m			レベル４
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	4.2	m3			00 単第 0 -0034号表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	12	m2			00 単第 0 -0035号表
基礎コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.4	m3			00 単第 0 -0036号表
型枠（基礎コンクリート） 一般型枠 均しコンクリート	0.6	m2			00 単第 0 -0037号表

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
排水孔（2号コンクリート擁壁）	1	箇所			00 単第 0 -0040号表
コンクリート舗装工	1	式			レベル３
表層		m2			レベル４
コンクリート舗装（人力） 圧縮18N/mm2粗骨材20mm（BB）ｽﾗﾝﾌﾟ8cm 舗装厚10cm	30	m2			00 単第 0 -0041号表
一般養生工 無筋構造物	3	m3			00 単第 0 -0042号表
人力小運搬（土砂類、生コン、木材） 生コンクリート ２０m未満	3.2	m3			00 単第 0 -0043号表
路盤		m2			レベル４
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 路盤材(各種)	30	m2			00 単第 0 -0044号表
アスファルト舗装工	1	式			レベル３

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
表層		m2			レベル４
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm	91	m2			00 単第　0 -0045号表
上層路盤		m2			レベル４
上層路盤(車道・路肩部) 粒度調整・路盤材(各種) 全仕上り厚100mm 1層施工	91	m2			00 単第　0 -0046号表
下層路盤		m2			レベル４
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 路盤材(各種)	91	m2			00 単第　0 -0047号表
安全施設工	1	式			レベル３
横断・転落防止柵		m			レベル４
横断・転落防止柵 PCブロック建込 ビーム式・パネル式 [規]100m未満 プレキャストCoブロック建込	5.8	m			00 単第　0 -0048号表

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
構造物撤去工	1	式			レベル２
構造物取壊し工	1	式			レベル３
ブロック積取壊し		m3			レベル４
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	5.2	m3			00 単第　0 -0049号表
石積み取壊し		m3			レベル４
石積類人力とりこわし 空石積　控４５cm未満	117	m2			00 単第　0 -0050号表
コンクリート構造物取壊し		m3			レベル４
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	24	m3			00 単第　0 -0049号表
アスファルト舗装版取壊し		m2			レベル４

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
舗装版破砕積込(小規模土工)	84	m2			00 単第 0 -0051号表
コンクリート舗装版取壊し		m2			レベル４
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	2.3	m3			00 単第 0 -0049号表
殻運搬・処理		m3			レベル４
殻運搬（コンクリート殻） Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	32	m3			00 単第 0 -0052号表
殻運搬（アスファルト殻） 舗装版破砕 DID区間無し 運搬距離5.5km以下(4.5km超)	4.2	m3			00 単第 0 -0053号表
土砂等運搬（岩塊等） 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し　距離5.5km以下(4.5km超)	35	m3			00 単第 0 -0054号表
処分費対象額調整（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる					
殻処分費（コンクリート殻）	32	m3			00

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
殻処分費（アスファルト殻）	4.2	m3			00
残土受入費（岩塊等）	35	m3			00
余水吐工	1	式			レベル２
作業土工	1	式			レベル３
土砂掘削		m3			レベル４
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	53	m3			00 単第 0 -0002号表
床掘り		m3			レベル４
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	728	m3			00 単第 0 -0003号表
盛土		m3			レベル４

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
盛土工 幅：W＝0.5	121	m3			00 単第 0 -0055号表
盛土工 幅：W＜1.0	31	m3			00 単第 0 -0004号表
盛土工 幅：1.0m≦W＜2.5m	202	m3			00 単第 0 -0010号表
路体(築堤)盛土・埋戻 施工幅員2.5m以上4.0m未満	174	m3			00 単第 0 -0013号表
路体(築堤)盛土・埋戻 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	65	m3			00 単第 0 -0014号表
法面整形工	1	式			レベル３
法面整形（盛土部） 【土質】		m2			レベル４
法面整形 盛土部 法面締固め有り 現場制約有り 砂及び砂質土,粘性土	50	m2			00 単第 0 -0016号表
法面整形（切土部） 【土質】		m2			レベル４

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
法面整形 切土部　現場制約有り レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	2	m2			00 単第 0 -0058号表
本体工	1	式			レベル３
基礎コンクリート 【規格】		m3			レベル４
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	14	m3			00 単第 0 -0034号表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	6.8	m2			00 単第 0 -0059号表
鉄筋コンクリート 【規格】		m3			レベル４
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種) コンクリートポンプ車打設	171	m3			00 単第 0 -0060号表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	460	m2			00 単第 0 -0035号表
無筋コンクリート 【規格】		m3			レベル４

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	2.1	m3			00 単第 0 -0034号表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	7.3	m2			00 単第 0 -0035号表
鉄筋 【規格】		t			レベル４
鉄筋工（D25） SD345_D16～D25 一般構造物 [規]10t未満	1.224	t			00 単第 0 -0061号表
鉄筋工（D19） SD345_D16～D25 一般構造物 [規]10t未満	2.190	t			00 単第 0 -0062号表
鉄筋工（D16） SD345_D16～D25 一般構造物 [規]10t未満	0.393	t			00 単第 0 -0063号表
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満	6.705	t			00 単第 0 -0064号表
継手工	1	式			レベル３
目地板 【材料種別・規格】		m2			レベル４

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板t=10mm	22	m2			00 単第　0 -0038号表
止水板 【規格】		m			レベル４
止水板 止水板(各種)	46	m			00 単第　0 -0065号表
ダウェルバー 【規格】		本			レベル４
ダウエルバー取付 異形棒鋼 Ｄ１６	147	本			00 単第　0 -0066号表
水抜工	1	式			レベル３
ウィープホール 【規格】		箇所			レベル４
ウィープホール取付 型枠及び鉄筋　側壁　　５０mm　集水 KM式　KMV-50　L=400mm相当品	19	箇所			00 単第　0 -0067号表
ウィープホール取付 型枠及び鉄筋　側壁　　５０mm　集水 KM式　KMV-50　L=500mm相当品	21	箇所			00 単第　0 -0068号表

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
吸出し防止材設置 合繊不織布 t=10㎜ 9.8kN/m	43	m2			00 単第 0 -0069号表
サイドドレーン 【材料種別・規格】		m			レベル４
サイド･アンダードレーン工（ｻｲﾄﾞﾄﾞﾚｰﾝ） コンクリート用砕石　５～２５mm	4.3	m			00 単第 0 -0070号表
安全施設工	1	式			レベル３
横断・転落防止柵		m			レベル４
横断・転落防止柵 アンカーボルト固定 材料費(各種) [規]100m未満	26	m			00 単第 0 -0071号表
仮設工	1	式			レベル２
掘削工	1	式			レベル３
1号仮設道路 【土質】		m2			レベル４

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	179	m3			00 単第 0 -0002号表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離5.5km以下(4.5km超)	179	m3			00 単第 0 -0072号表
処分費対象額調整（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる					
残土受入費（砂質土） 岩石・玉石を含む	179	m3			00
任意仮設(任意)	1	式			レベル３
任意仮設	1	式			00 単第 0 -0073号表
処分費対象額調整（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる					
任意処分費	1	式			00 単第 0 -0084号表
直接工事費					

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など		数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
技術管理費						
技術管理費		1	式			レベル２
技術管理費		1	式			レベル３
土質試験			式			レベル４
	現場透水試験 JGS1316	3	回			00
	土の透水試験 1個/試料 変水位法 室内土質試験	1	回			00
	環境庁告示第46号溶出試験 六価クロム溶出試験費 試験方法1	1	試料			00
	環境庁告示第46号溶出試験 六価クロム溶出試験費 試験方法2	1	試料			00
共通仮設費率 分額						

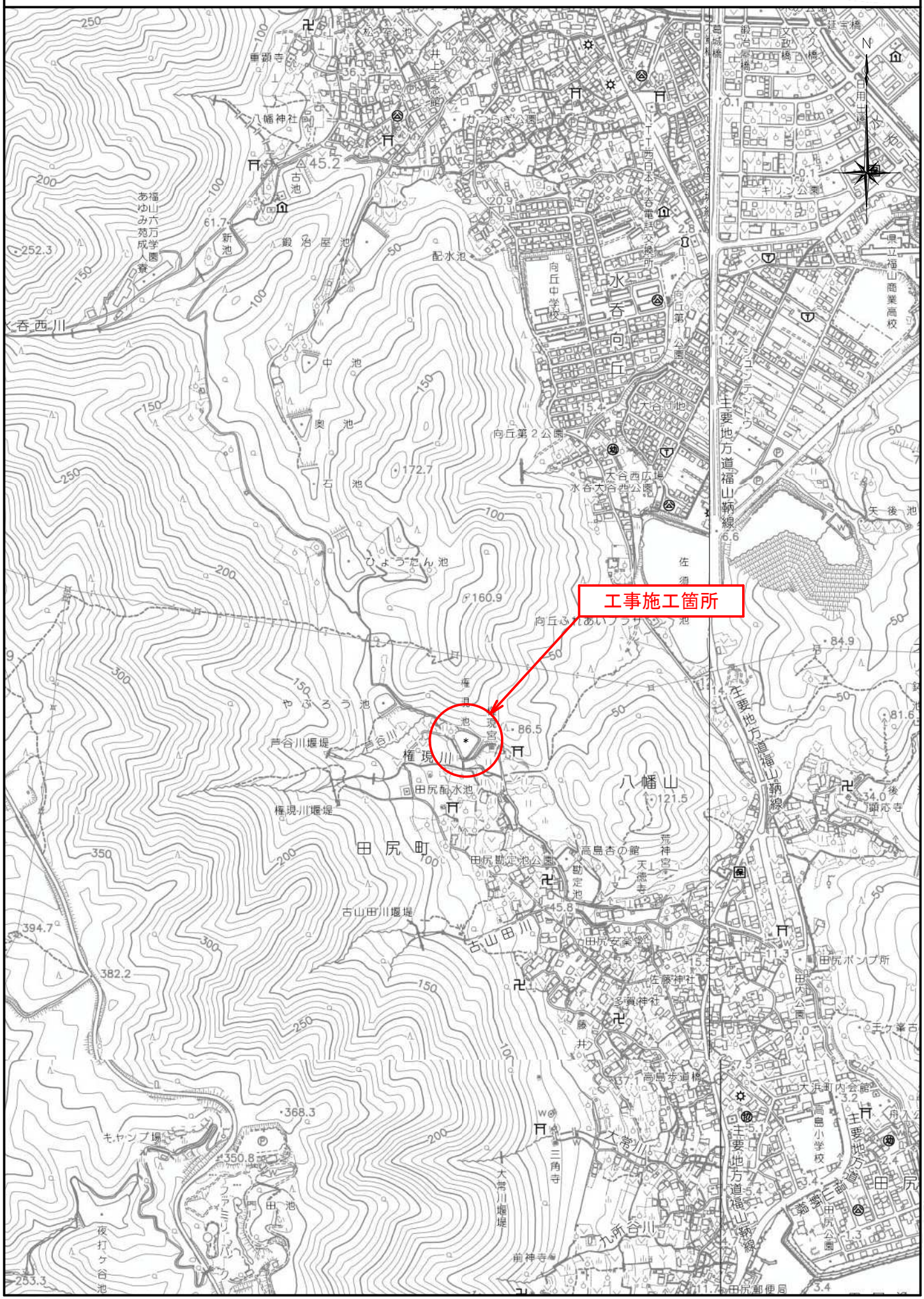
本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格計＊＊					
＊＊消費税相当額計＊＊					

本工事費　　内訳表

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
＊＊請負工事費計＊＊					

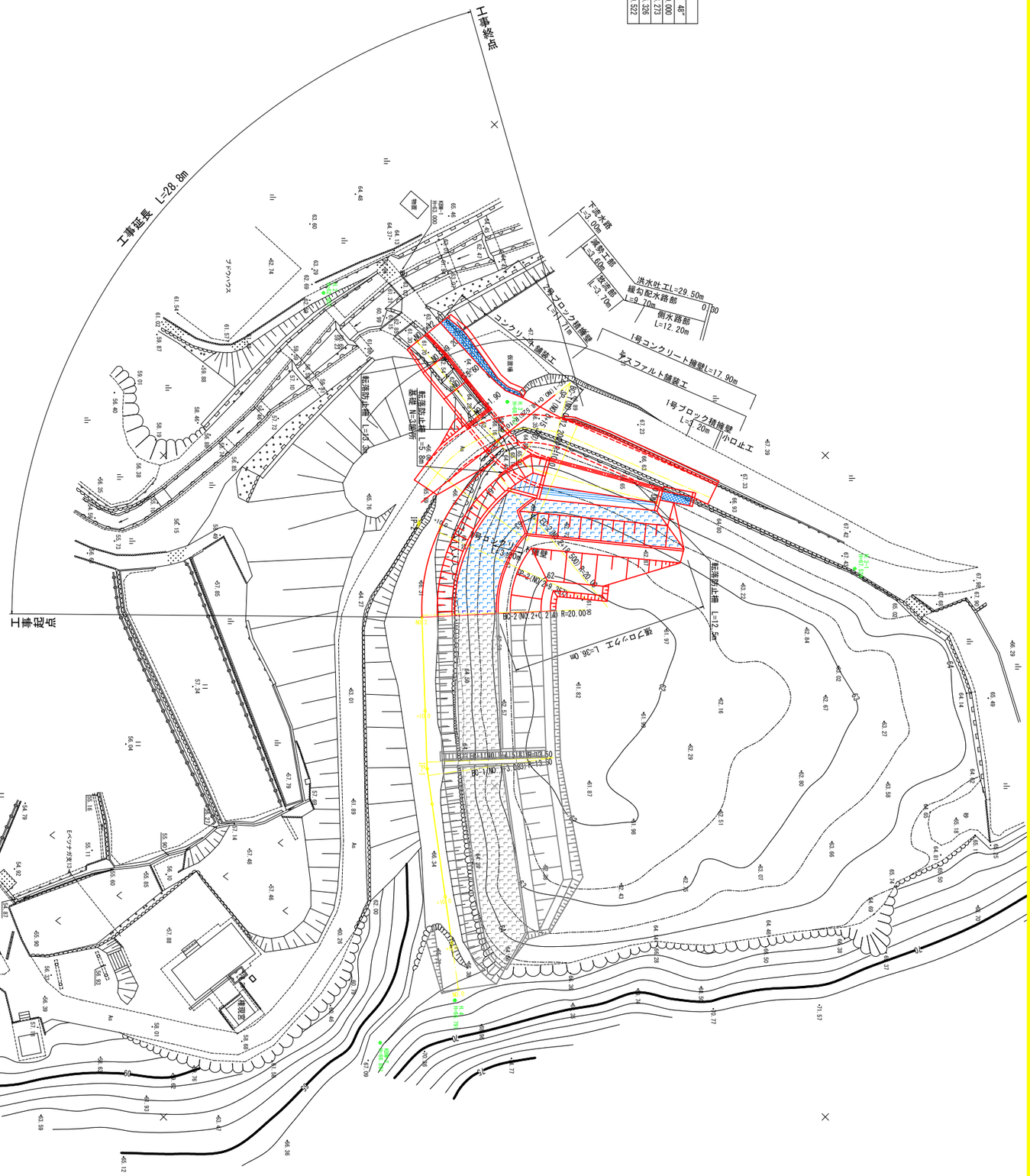
位　置　図 S=1/10,000


工事施工箇所
水呑向丘
八幡山
田尻町
権現川
芦谷川堰堤
権現川堰堤
田尻配水池
古山田川堰堤
古山田川
大常川
九所谷川
大常川堰堤
呑西川
八幡神社
重蔵寺
鍛冶屋池
配水池
中池
奥池
石池
ひょうたん池
やぶろう池
向丘第2公園
大谷西広場
水呑大谷西公園
向丘中学校
NTT西日本水呑電話交換所
主要地方道福山鞆線
県立福山商業高校
キリン公園
高島杏の館
荒神宮
天徳寺
田尻勘定池公園
勘定池
田尻安楽堂
佐藤神社
多賀神社
高島歩道橋
三角寺
前神寺
キャンプ場
夜打ケ谷池
田尻ポンプ所
田尻郵便局
大浜町内会館
高島小学校
田尻公園
顕応寺
矢後池
N

IP. NO	1
I A	36° 14' 48"
R	10.000
T L	3.273
C L	6.326
S L	0.522

IP. NO	2
I A	28° 03' 07"
R	20.000
T L	4.996
C L	9.792
S L	0.615

IP. NO	1
I A	6° 05' 28"
R	13.500
T L	0.718
C L	1.435
S L	0.019

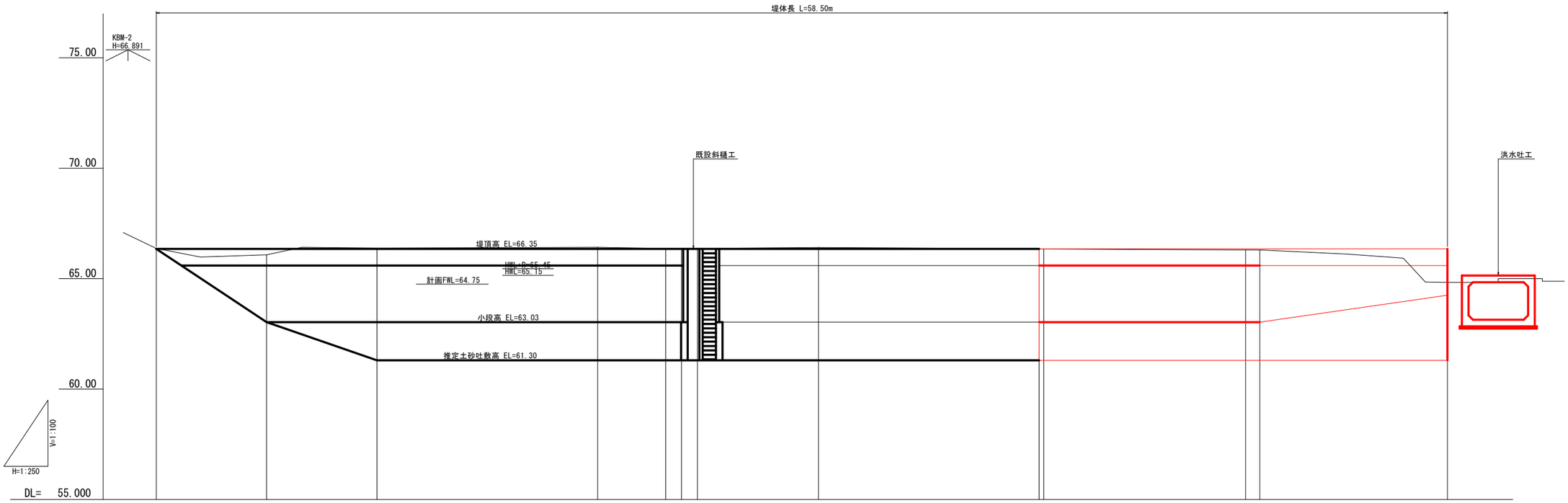


S=1:250

工事名	樋現地改良工事
図面名	平面図
作成年月日	2025年(令和7年) 9月
縮尺	S=1/250
図面番号	1 / 39
事務所名	福山市

縦断面図

V=1:100
H=1:100



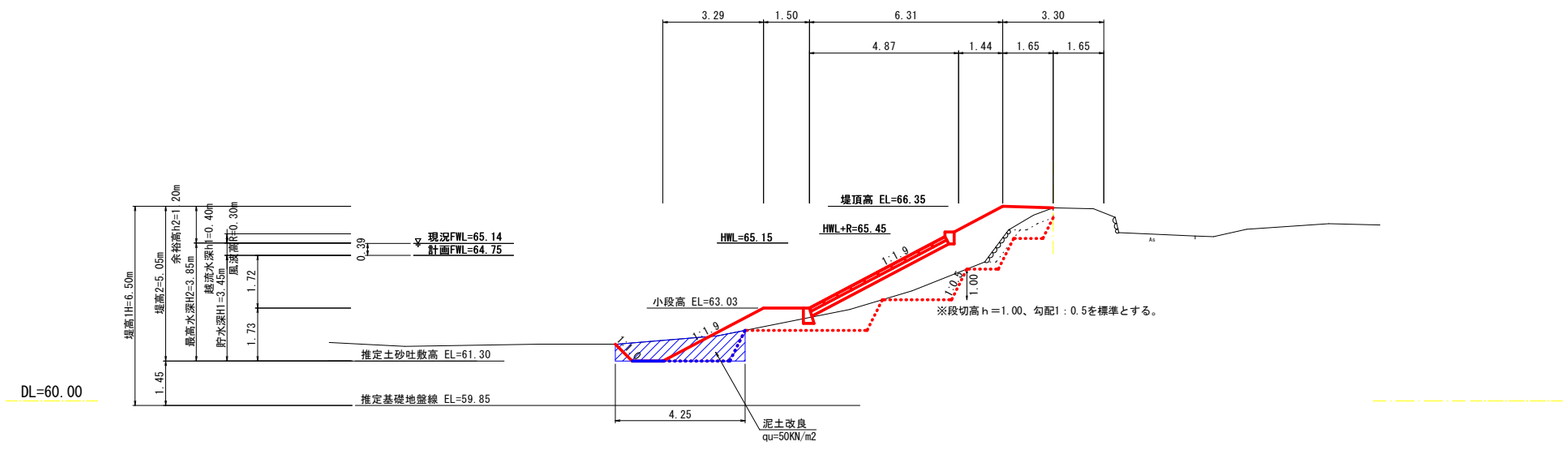
勾配	66.35	Level L=58.50m																							66.35
盛土	-	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05	-	-	-	1.52
切土	0.02	-	0.03	0.07	0.01	-	0.01	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計画高	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35
地盤高	66.37	66.08	66.38	66.42	66.36	66.35	66.36	66.41	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.35	66.30	66.30	66.30	66.30	64.83
追加距離	0.000	5.000	10.000	20.000	23.083	23.801	24.518	30.000	40.000	40.214	49.357	50.000	58.500												
区間距離	0.000	5.000	5.000	10.000	3.083	0.718	0.717	5.482	10.000	0.214	9.143	0.643	8.500												
測点	NO.0	NO.0 +5.0	NO.0 +10.0	NO.1	BC-1	SP-1	EC-1	NO.1 +10.0	NO.2	BC-2	SP-2	NO.2 +10.0	EC-2												
曲線	L=23.083				IP.1 IA= 6-05-28 R =13.500 CL= 1.435 TL= 0.718 SL= 0.019		L=15.696				IP.2 IA=52-23-04 R =20.000 CL=18.286 TL= 9.838 SL= 2.289														

工事名	権現池改良工事		
図面名	縦断面図		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮尺	V=1/100 H=1/100	図面番号	2 / 39
事務所名	福山市		

標準断面図

S=1:100

NO.2+10.0



工　事　名	権現池改良工事		
図　面　名	標準横断面図		
作成年月日	2025年（令和7年）9月		
縮　　尺	S＝1/100	図面番号	3 / 39
事務所名	福　　山　　市		

横断面図

S=1:100

掘削

名　称		単位	数量	
表土剥取		m2	0.4	①
掘　削	土砂	〃	3.5	②
床　掘	改良土	〃	2.7	③
地盤改良（BH改良）	C=50KN/m2	m	4.3	④

D=8.500

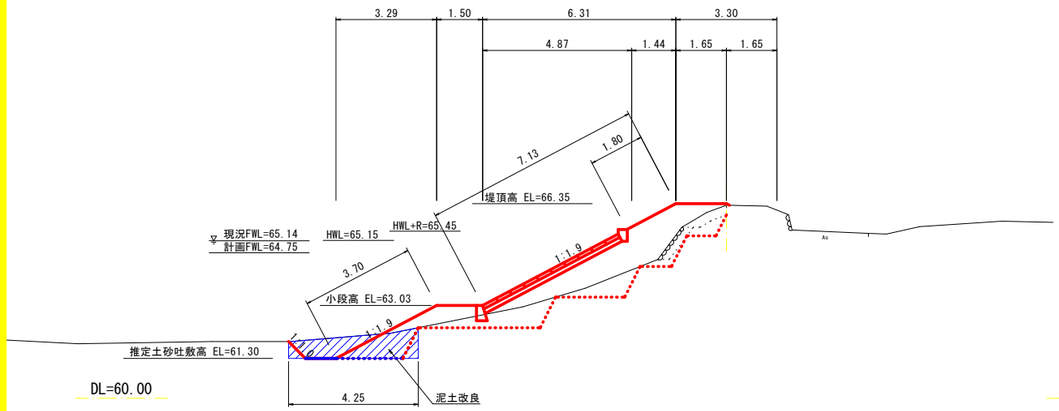
NO.2+10.0

GH=66.30

FH=66.35

盛土

名　称		単位	下流側	
盛土（上流側）	(W<1.0)	m2	0.1	①
	(1.0≦W<2.5)	〃	6.3	②
	(2.5≦W<4.0)	〃	5.3	③
	(4.0≦W)	〃	1.1	④
盛土面仕上	(人力)	m	10.8	⑤
切土面仕上	(人力)	m	−	⑤
張芝		〃	1.8	⑥



掘削

名　称		単位	数量	
表土剥取		m2	1.0	①
掘　削	土砂	〃	4.2	②
床　掘	改良土	〃	2.9	③
地盤改良（BH改良）	C=50KN/m2	m	4.8	④

D=10.000

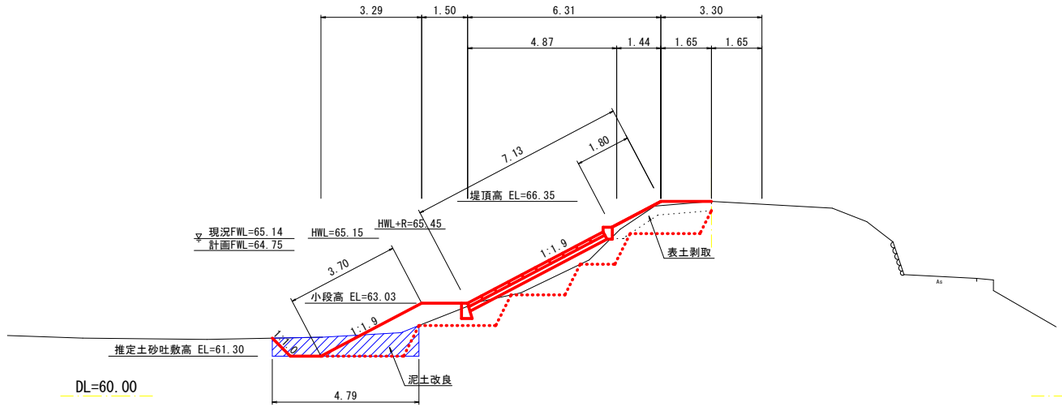
NO.2

GH=66.35

FH=66.35

盛土

名　称		単位	数量	
盛土（上流側）	(W<1.0)	m2	1.1	①
	(1.0≦W<2.5)	〃	5.6	②
	(2.5≦W<4.0)	〃	1.9	③
	(4.0≦W)	〃	0.8	④
盛土面仕上	(機械)	m	10.8	⑤
切土面仕上	(機械)	m	−	⑤
張芝		〃	1.8	⑥



掘削

名　称		単位	数量	
表土剥取		m2	−	①
掘　削	土砂	〃	5.3	②
床　掘	改良土	〃	5.1	③
地盤改良（BH改良）	C=50KN/m2	m	6.8	④

D=

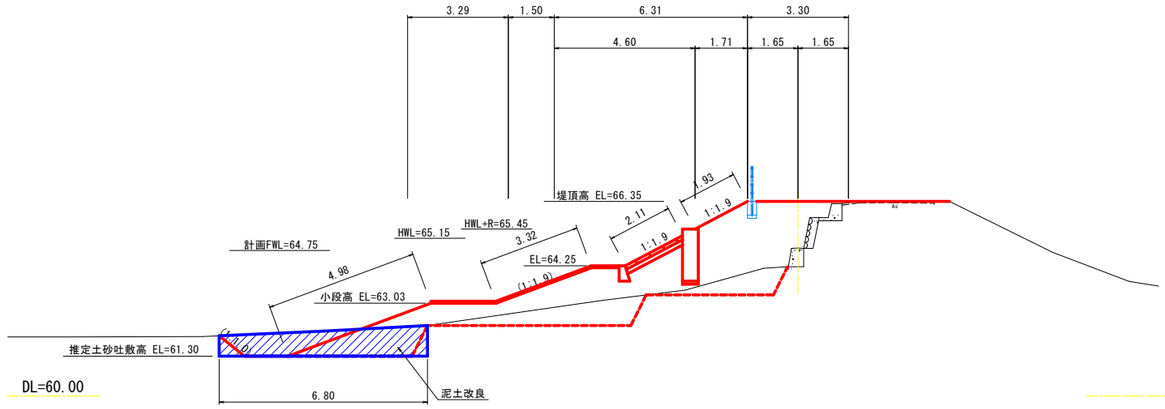
EC-2(NO.2+18.500)

GH=64.83

FH=66.35

盛土

名　称		単位	下流側	
盛土（上流側）	(W<1.0)	m2	0.4	①
	(1.0≦W<2.5)	〃	2.2	②
	(2.5≦W<4.0)	〃	9.4	③
	(4.0≦W)	〃	13.5	④
盛土面仕上	(人力)	m	12.3	⑤
切土面仕上	(人力)	m	−	⑤
張芝		〃	1.9	⑥

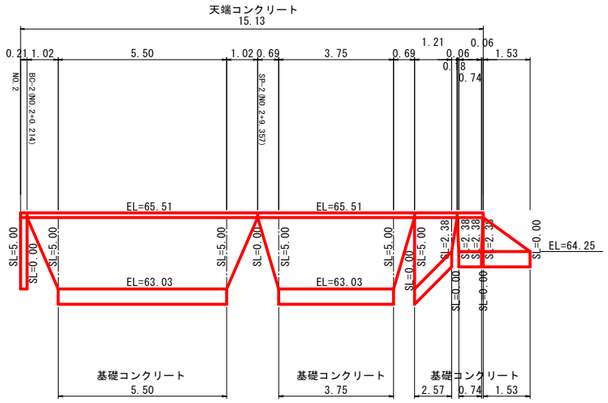


工　事　名	権現池改良工事		
図　面　名	横断面図		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮　　尺	S=1/100	図面番号	4 / 39
事 務 所 名	福　　山　　市		

付帯工構造図1/4

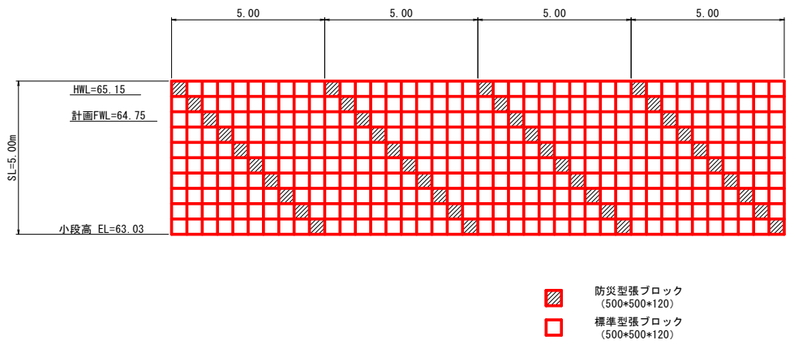
張ブロック展開図

S=1:100



張ブロック配置図

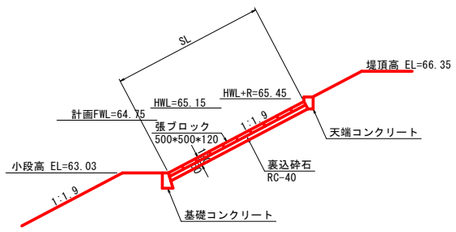
S=1:100



法　勾　配		1：1.9
法　　長		5.00m
比率	突起（防災型）	10%
	標　準　型	90%

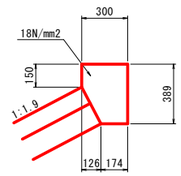
張ブロック標準図

S=1:100



天端コンクリート

S=1:20

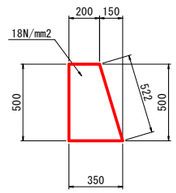


10m当り

名　称	規　格	数　量	単位
コンクリート	18N/mm2	1.01	m3
型　枠	小型	5.40	m2

基礎コンクリート

S=1:20



10m当り

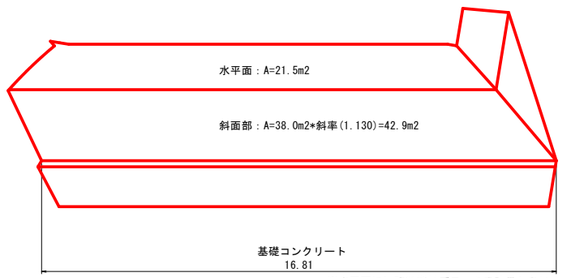
名　称	規　格	数　量	単位
コンクリート	18N/mm2	1.38	m3
型　枠	小型	10.20	m2

工　事　名	権現池改良工事		
図　面　名	付帯構造図1/4		
作成年月日	2025年（令和7年）9月		
縮　　尺	図示	図面番号	5 / 39
事務所名	福　　山　　市		

付帯工構造図2/4

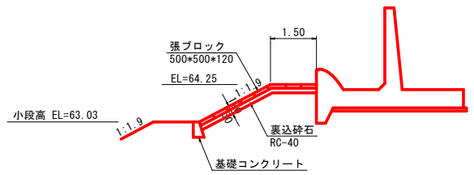
張ブロック展開図
洪水吐部 S=1:100

（洪水吐工）

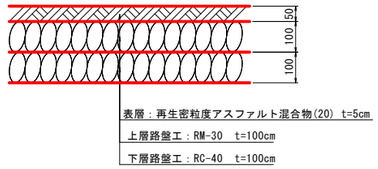


※水平面には防災型張ブロックを設置しない。

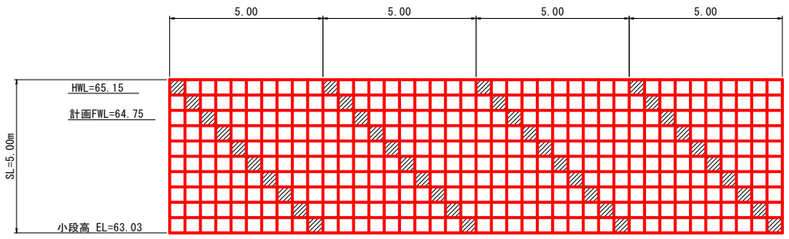
張ブロック標準図
洪水吐部 S=1:100



アスファルト舗装工
S=1:10



張ブロック配置図
S=1:100

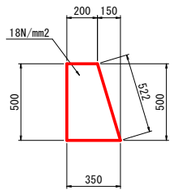


防災型張ブロック
（500*500*120）

標準型張ブロック
（500*500*120）

法　勾　配		1：1.9
法　　長		5.00m
比率	突起（防災型）	10%
	標　準　型	90%

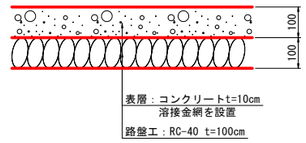
基礎コンクリート
S=1:20



10m当り

名　称	規　格	数　量	単位
コンクリート	18N/mm2	1.38	m3
型　枠	小型	10.20	m2

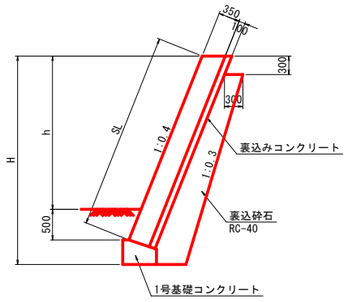
コンクリート舗装工
S=1:10



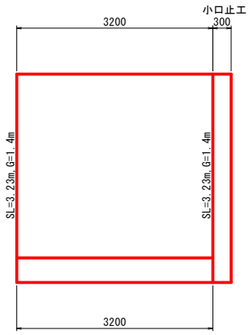
工　事　名	権現池改良工事		
図　面　名	付帯工構造図2/4		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮　　尺	図示	図面番号	6 / 39
事務所名	福　　山　　市		

付帯工構造図3/4

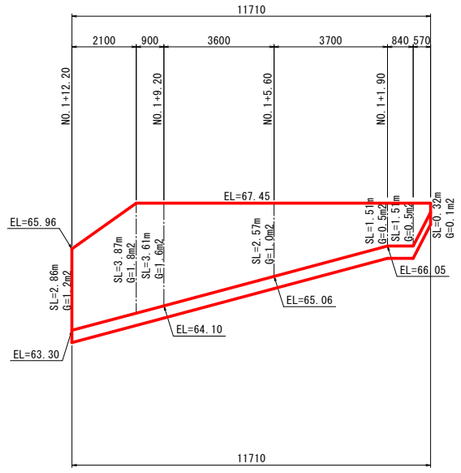
1号ブロック積擁壁標準図
（NO.0付近）
S=1:50



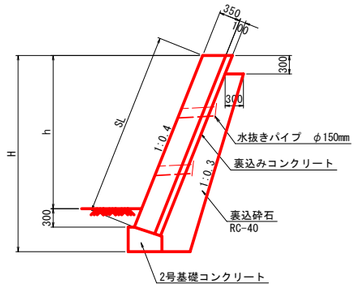
1号ブロック積擁壁展開図
（NO.0付近）
S=1:50



2号ブロック積擁壁展開図
S=1:100

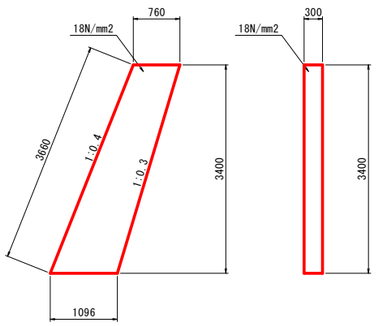


2号ブロック積擁壁標準図
S=1:50



※Φ150mmの水抜きパイプを7m2に1本設けることとする。

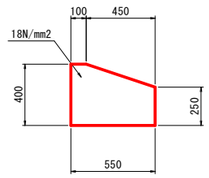
小口止工
S=1:50



1箇所当り

名　称	規　格	数　量	単位
コンクリート	18N/mm2	0.95	m3
型　枠	無筋	7.42	m2

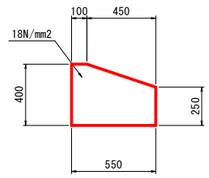
1号基礎コンクリート
S=1:20



10m当り

名　称	規　格	数　量	単位
コンクリート	18N/mm2	1.86	m3
型　枠	基礎コンクリート	6.50	m2

2号基礎コンクリート
S=1:20



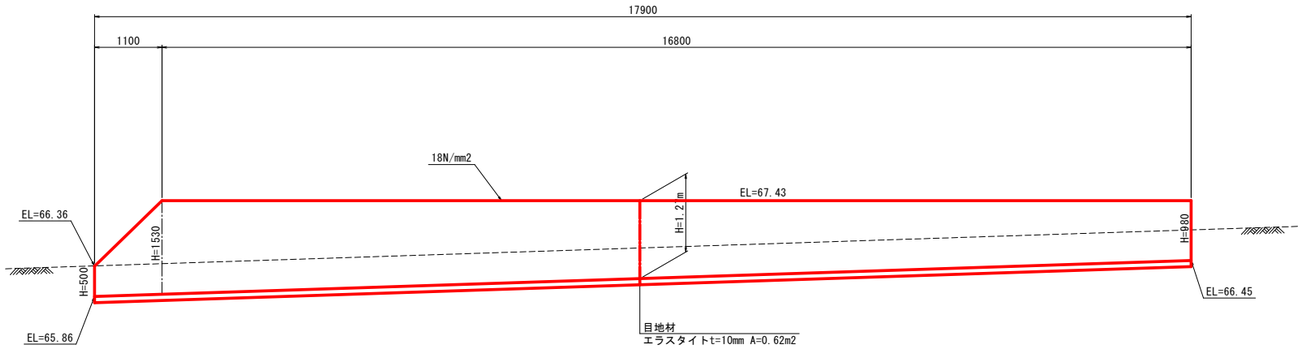
10m当り

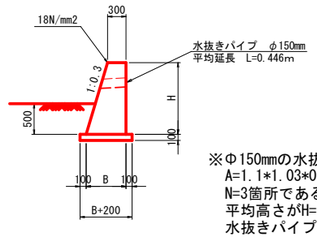
名　称	規　格	数　量	単位
コンクリート	18N/mm2	1.86	m3
型　枠	基礎コンクリート	6.50	m2

工　事　名	権現池改良工事		
図　面　名	付帯工構造図3/4		
作成年月日	2025年（令和7年）9月		
縮　　尺	図示	図面番号	7 / 39
事務所名	福　　山　　市		

付帯工構造図4/4

1号コンクリート擁壁工
SGW55 S=1:50



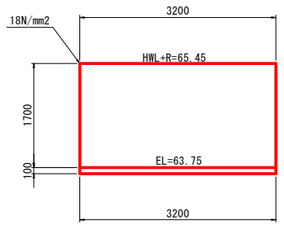


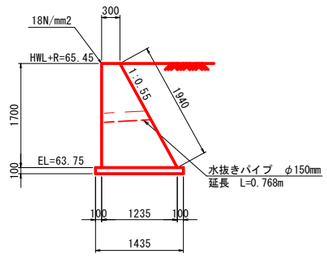
※Φ150mmの水抜きパイプを7m2に1本設けることとする。
A=1.1*1.03*0.5+（1.03+0.98）*16.8*0.5＝17.45m2より、
N=3箇所である。
平均高さがH=17.45/17.9≒0.975mより、
水抜きパイプの平均延長はＬ＝0.3+0.975*0.3*0.5≒0.446m

m当り材料表

H	下幅B	コンクリート	型枠	基礎コンクリート	基礎コン型枠
500	450	0.19	1.02	0.07	0.20
1530	759	0.81	3.13	0.10	0.20
980	594	0.44	2.00	0.08	0.20

2号コンクリート擁壁工
SGW69 S=1:50



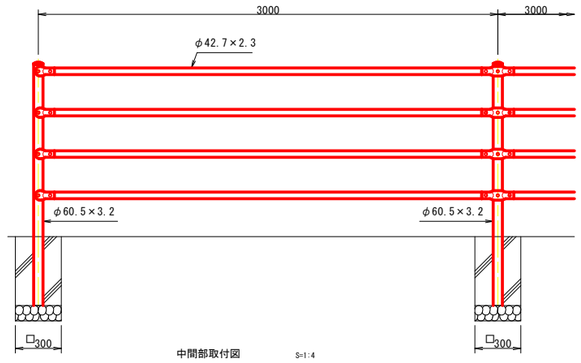


※Φ150mmの水抜きパイプを7m2に1本設けることとする。
A=3.2*1.7=5.44m2より、N=1箇所
水抜きパイプの延長は、
L=0.3+0.55*1.7*0.5＝0.768m

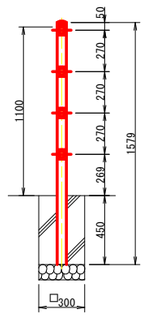
m当り材料表

H	下幅B	コンクリート	型枠	基礎コンクリート	基礎コン型枠
1700	1235	1.30	3.64	0.14	0.20

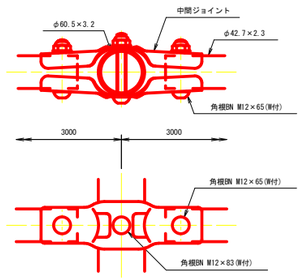
転落防止柵 H=1100
（参考） S=1:20



基礎ブロック用（C）



中間部取付図 S=1:4



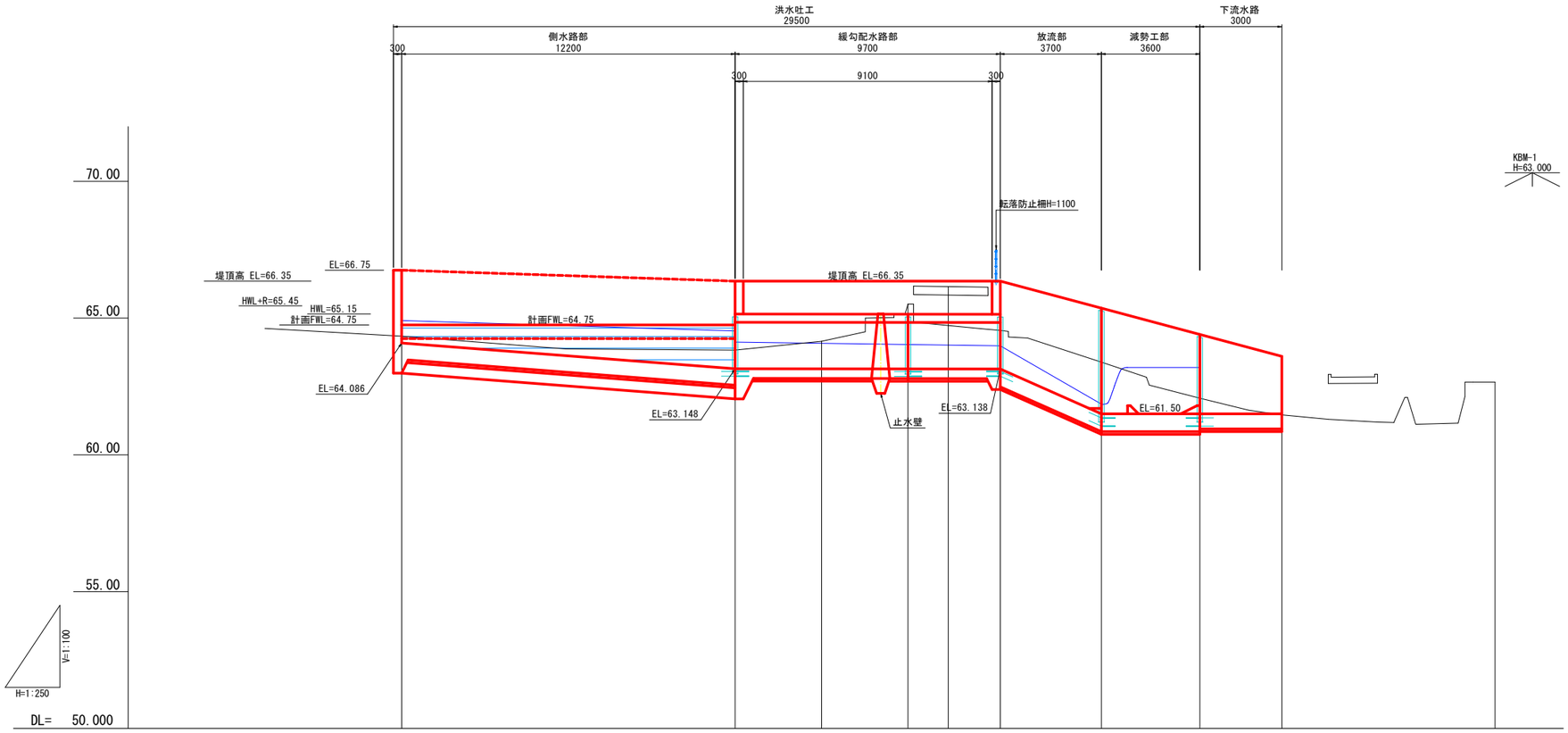
設計条件
設計荷重・・・防護柵の設置基準・同解説のP種に基づく。

備考
1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみとする。

工事名	権現池改良工事		
図面名	付帯工構造図4/4		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮尺	図示	図面番号	8 / 39
事務所名	福山市		

洪水吐工縦断面図

V=1:100
H=1:100



勾配	64.086	i=7.69% L=12.200m	63.148	i=0.10% L=9.700m	63.138	i=44.27% L=3.700m	61.500	Level L=6.600m	61.500	
盛土	-		-	-	-	-	-	-	0.04	
切土	0.25		0.68	1.01	2.37	3.01	1.41	1.89	0.57	-
計画高	64.086		63.148	63.144	63.141	63.140	63.138	61.500	61.500	61.500
地盤高	64.34		63.83	64.15	65.51	66.15	64.55	63.39	62.07	61.46	63.58
追加距離	0.000		12.200	15.363	18.526	20.000	21.900	25.600	29.200	32.200	40.000
区間距離	0.000		12.200	3.163	3.163	1.474	1.900	3.700	3.600	3.000	7.800
測点	NO.0		BC-1	SP-1	EC-1	NO.1	NO.1 + 1.900	NO.1 + 5.600	NO.1 + 9.200	NO.1 +12.200	EP
曲線	L=12.200		IP.1 IA= 36-14-48 R = 10.000 CL= 6.326 TL= 3.273 SL= 0.522		L=21.474					

工事名	権現池改良工事		
図面名	洪水吐工縦断面図		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮尺	V=1/100 H=1/100	図面番号	9 / 39
事務所名	福山市		

洪水吐工横断面図1/2

S=1:100

BC-1

D= 6.326

GH=63.83

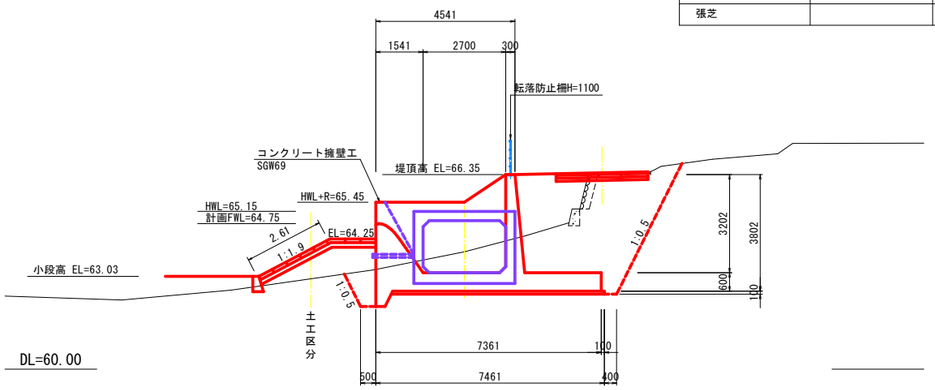
FH=63.148

掘削

名　称		単位	数量	
掘　削	土砂	m2	-	①
床　掘	土砂	〃	19.5	②

盛土

名　称		単位	下流側	
盛土	(W=0.5)	m2	4.2	①
	(W<1.0)	〃	1.1	②
	(1.0≦W<2.5)	〃	1.4	③
	(2.5≦W<4.0)	〃	5.1	④
	(4.0≦W)	〃	4.7	⑤
盛土面仕上	(人力)	m	2.6	⑥
切土面仕上		〃	-	⑦
張芝		〃	-	⑧



NO.1+ 1.900

D= 3.700

GH=64.55

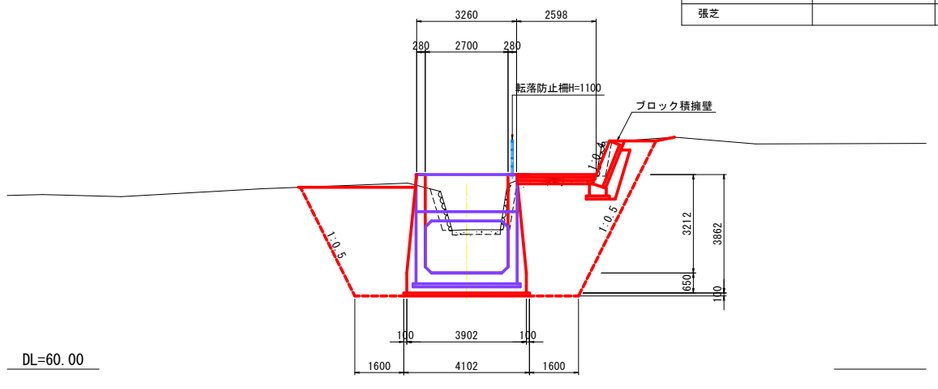
FH=63.138

掘削

名　称		単位	数量	
掘　削	土砂	m2	1.5	①
床　掘	土砂	〃	29.7	②

盛土

名　称		単位	下流側	
盛土	(W=0.5)	m2	3.6	①
	(W<1.0)	〃	1.2	②
	(1.0≦W<2.5)	〃	9.3	③
	(2.5≦W<4.0)	〃	6.0	④
	(4.0≦W)	〃	-	⑤
盛土面仕上	(人力)	m	-	⑥
切土面仕上		〃	-	⑦
張芝		〃	-	⑧



NO.0

D=12.200

GH=64.34

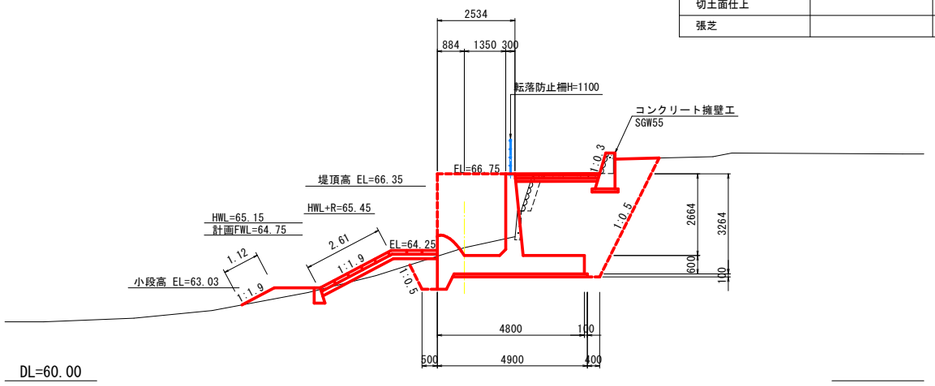
FH=64.086

掘削

名　称		単位	数量	
掘　削	土砂	m2	0.7	①
床　掘	土砂	〃	14.4	②

盛土

名　称		単位	下流側	
盛土	(W=0.5)	m2	2.6	①
	(W<1.0)	〃	1.5	②
	(1.0≦W<2.5)	〃	0.7	③
	(2.5≦W<4.0)	〃	6.2	④
	(4.0≦W)	〃	-	⑤
盛土面仕上	(人力)	m	3.7	⑥
切土面仕上		〃	-	⑦
張芝		〃	-	⑧



EC-1

D= 3.374

GH=65.51

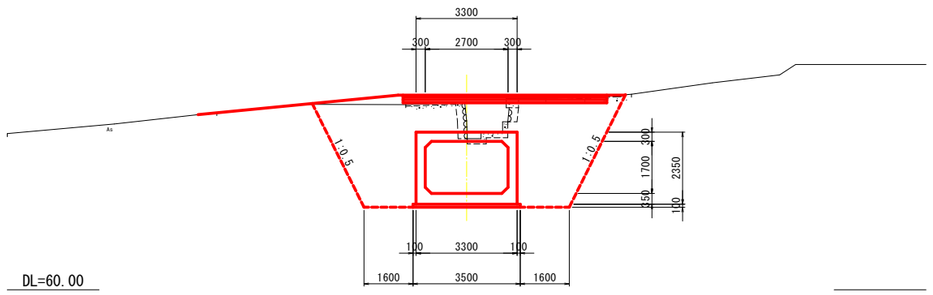
FH=63.141

掘削

名　称		単位	数量	
掘　削	土砂	m2	-	①
床　掘	土砂	〃	26.6	②

盛土

名　称		単位	下流側	
盛土	(W=0.5)	m2	4.6	①
	(W<1.0)	〃	0.2	②
	(1.0≦W<2.5)	〃	9.9	③
	(2.5≦W<4.0)	〃	1.9	④
	(4.0≦W)	〃	4.5	⑤
盛土面仕上	(人力)	m	-	⑥
切土面仕上		〃	-	⑦
張芝		〃	-	⑧



工　事　名	権現池改良工事		
図　面　名	洪水吐工横断面図1/2		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮　　尺	S=1/100	図面番号	10 / 39
事務所名	福　　山　　市		

洪水吐工横断面図2/2

S=1:100

掘削

名　称		単位	数量	
掘　削	土砂	m2	6.2	①
床　掘	土砂	〃	22.1	②

D= 3.000

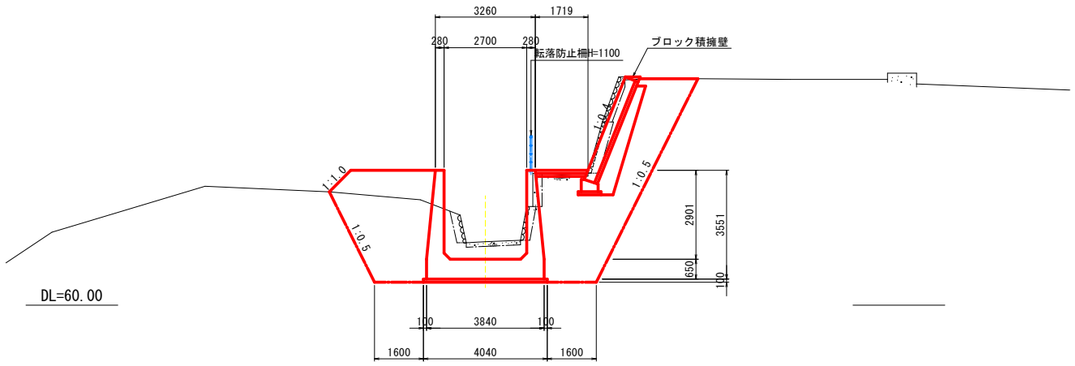
NO.1+ 9.200

GH=62.07

FH=61.500

盛土

名　称		単位	下流側	
盛土	(W=0.5)	m2	3.5	①
	(W<1.0)	〃	1.1	②
	(1.0≦W<2.5)	〃	13.2	③
	(2.5≦W<4.0)	〃	4.5	④
	(4.0≦W)	〃	－	⑤
盛土面仕上	(機械)	m	1.0	⑥
切土面仕上		〃	－	⑦
張芝		〃	－	⑧



掘削

名　称		単位	数量	
掘　削	土砂	m2	5.0	①
床　掘	土砂	〃	37.3	②

D= 3.600

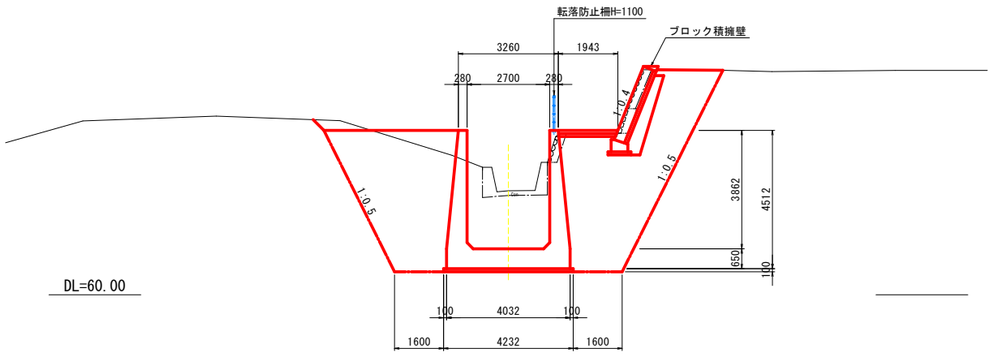
NO.1+ 5.600

GH=63.39

FH=61.500

盛土

名　称		単位	下流側	
盛土	(W=0.5)	m2	4.5	①
	(W<1.0)	〃	－	②
	(1.0≦W<2.5)	〃	13.6	③
	(2.5≦W<4.0)	〃	11.9	④
	(4.0≦W)	〃	－	⑤
盛土面仕上	(機械)	m	－	⑥
切土面仕上		〃	0.5	⑦
張芝		〃	－	⑧



掘削

名　称		単位	数量	
掘　削	土砂	m2	3.2	①
床　掘	土砂	〃	11.0	②

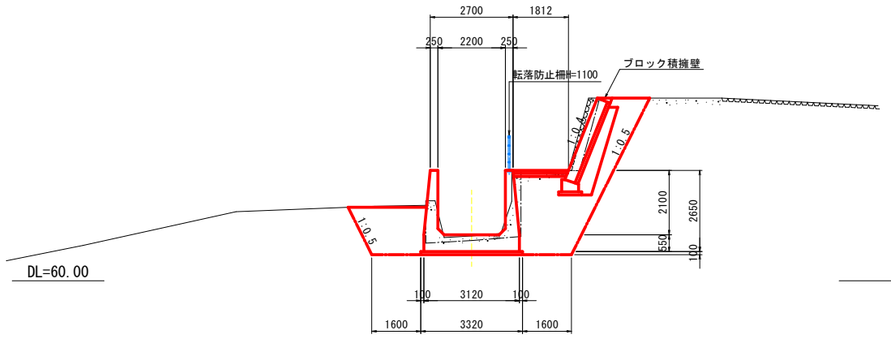
NO.1+12.200

GH=61.46

FH=61.500

盛土

名　称		単位	下流側	
盛土	(W=0.5)	m2	2.0	①
	(W<1.0)	〃	1.8	②
	(1.0≦W<2.5)	〃	6.8	③
	(2.5≦W<4.0)	〃	－	④
	(4.0≦W)	〃	－	⑤
盛土面仕上	(機械)	m	－	⑥
切土面仕上		〃	－	⑦
張芝		〃	－	⑧

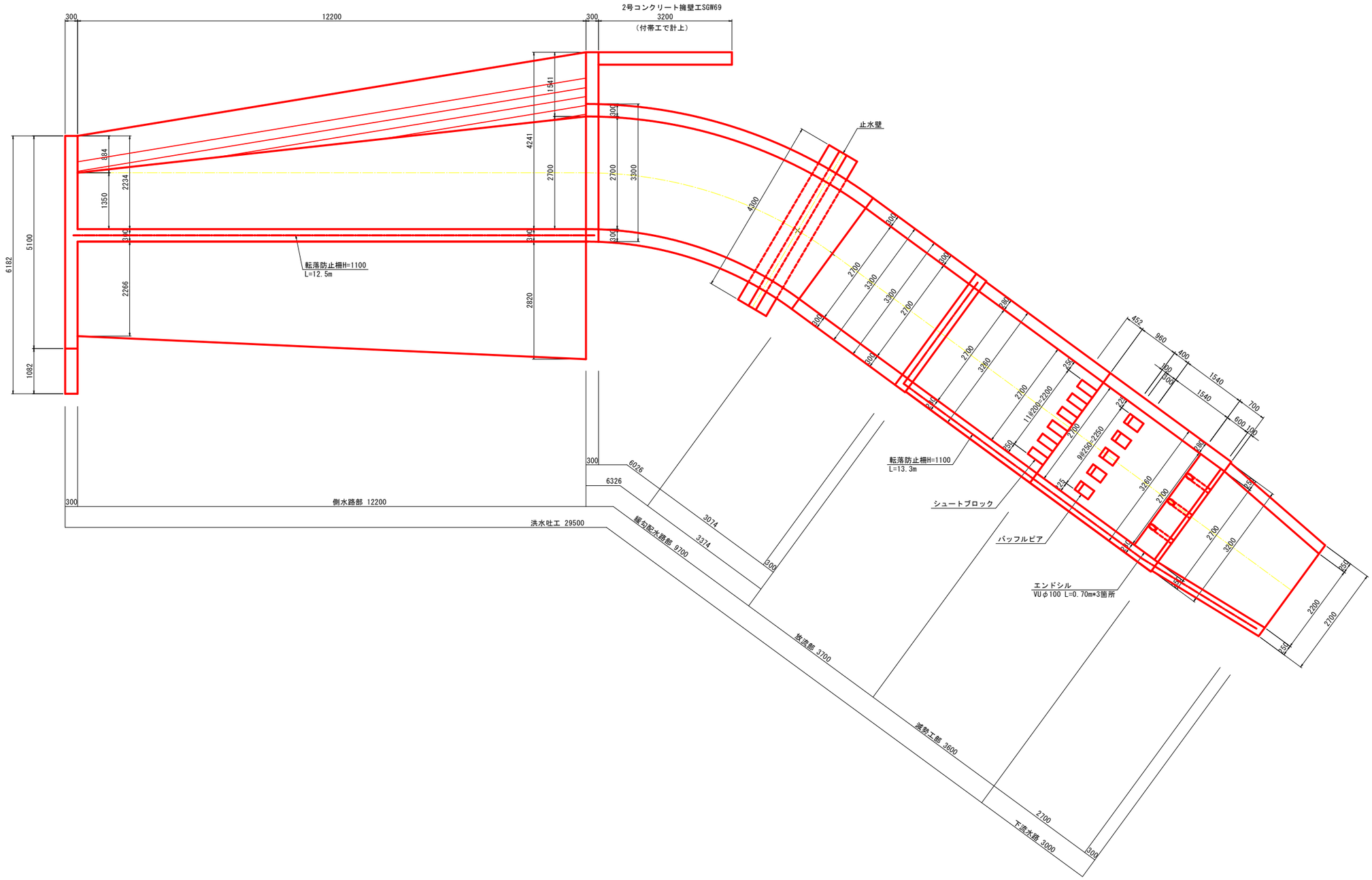


工　事　名	権現池改良工事		
図　面　名	洪水吐工横断面図2/2		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮　　尺	S=1/100	図面番号	11 / 39
事務所名	福　　山　　市		

洪水吐構造図1/5

平面図

S=1:50

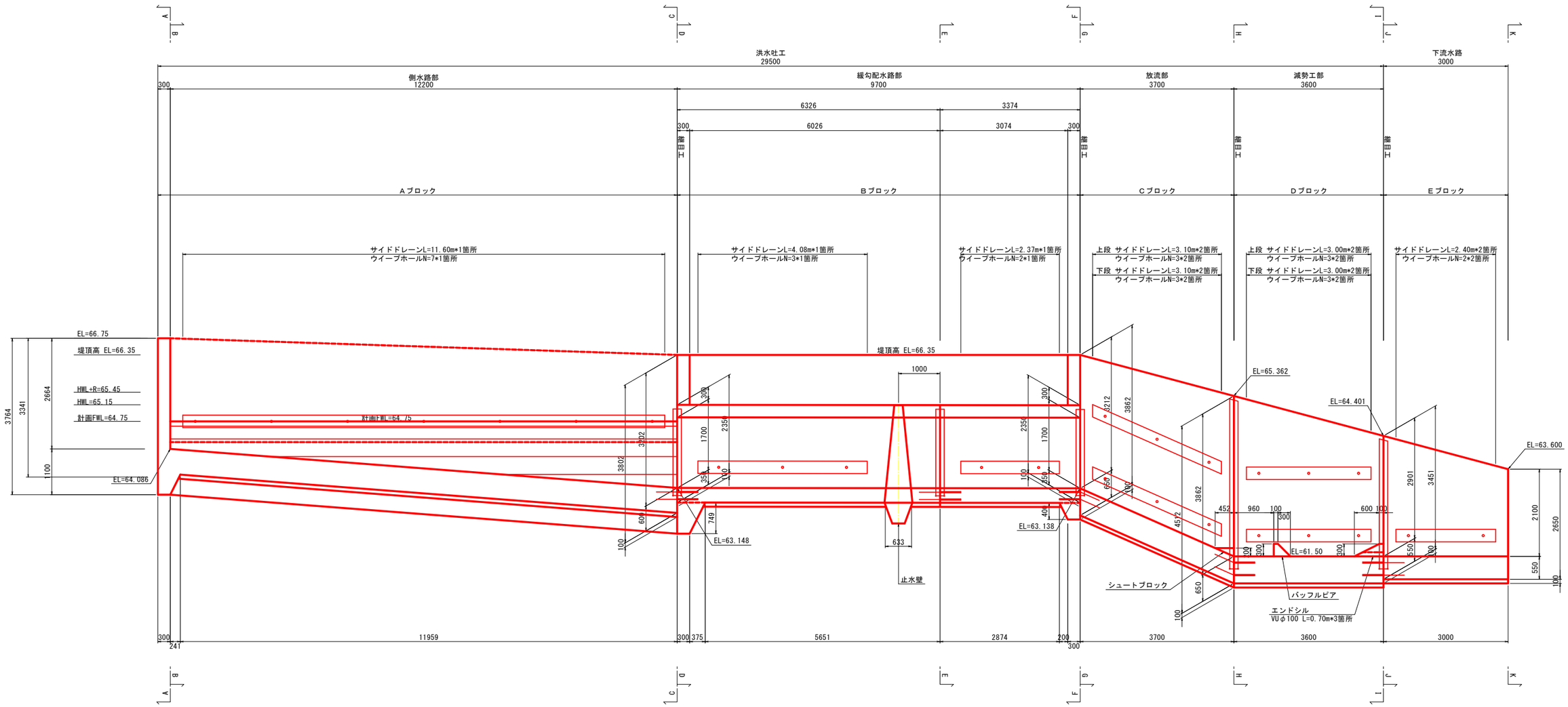


工　事　名	権現池改良工事		
図　面　名	洪水吐構造図1/5		
作成年月日	2025年（令和7年）9月		
縮　　尺	図示	図面番号	12 / 39
事 務 所 名	福　　山　　市		

洪水吐構造図2/5

側面図

S=1:50



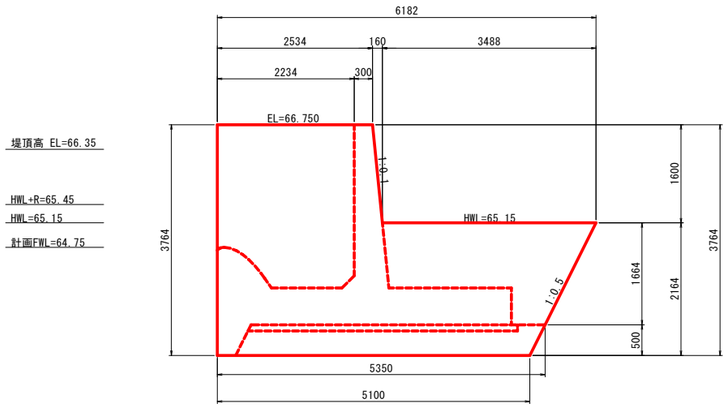
工事名	権現池改良工事		
図面名	洪水吐構造図2/5		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮尺	図示	図面番号	13 / 39
事務所名	福山市		

断面図

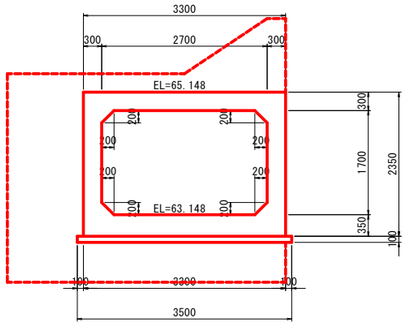
S=1:50

洪水吐構造図3/5

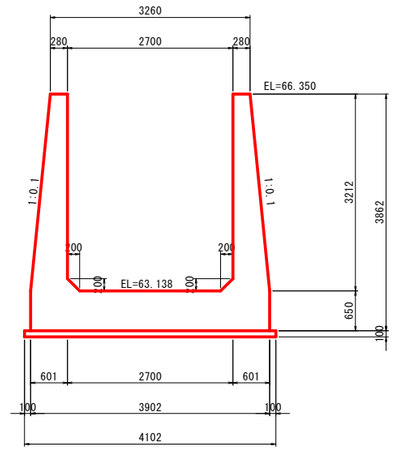
A－A



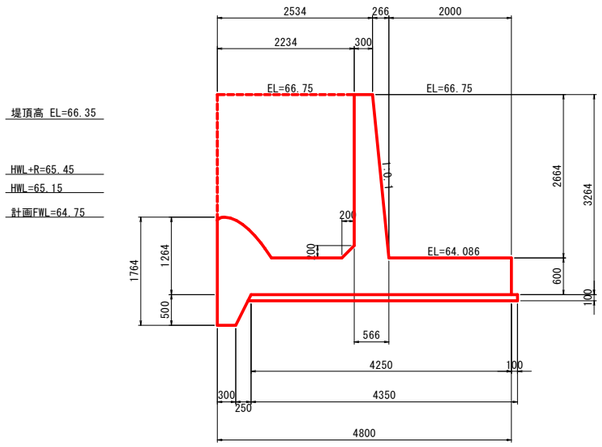
D－D



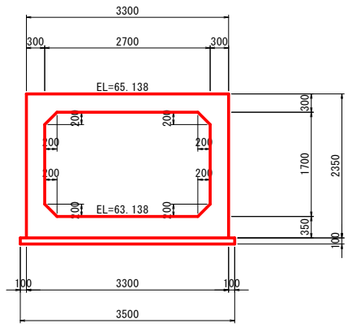
G－G



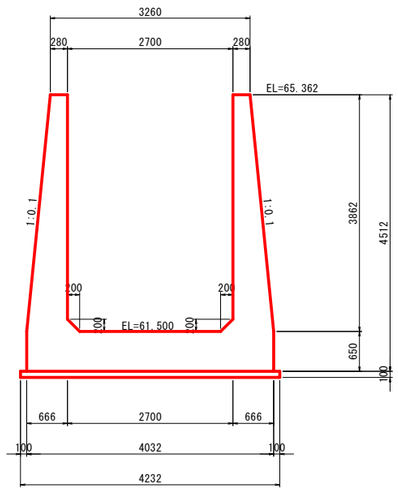
B－B



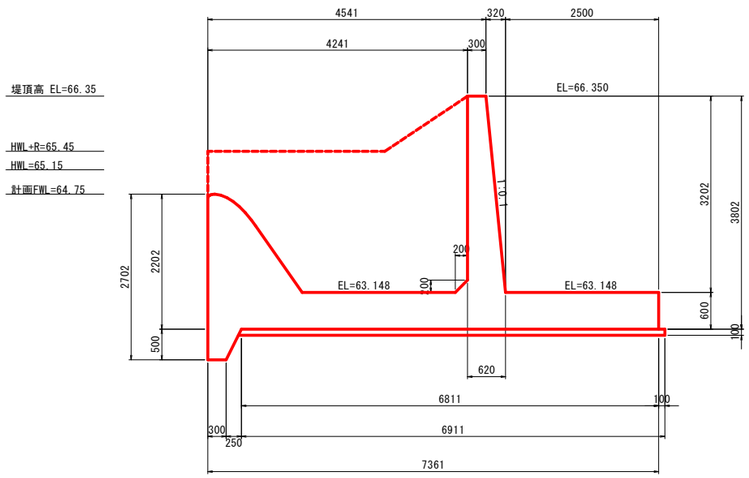
E－E



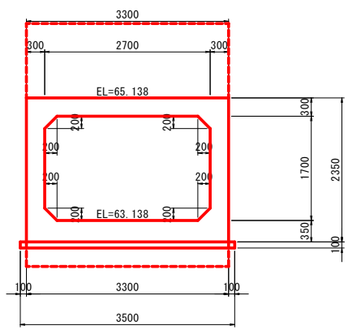
H－H



C－C



F－F



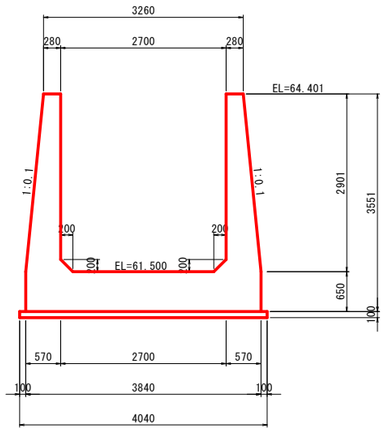
工事名	権現池改良工事		
図面名	洪水吐構造図3/5		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮尺	図示	図面番号	14 / 39
事務所名	福山市		

洪水吐構造図4/5

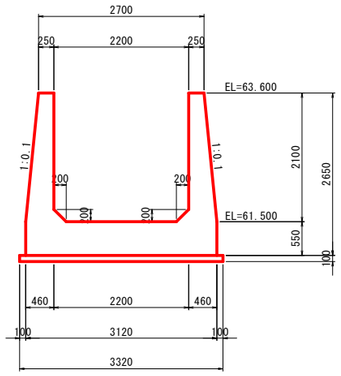
断面図

S=1:50

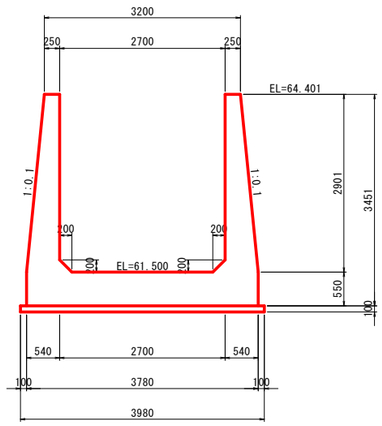
I－I



K－K



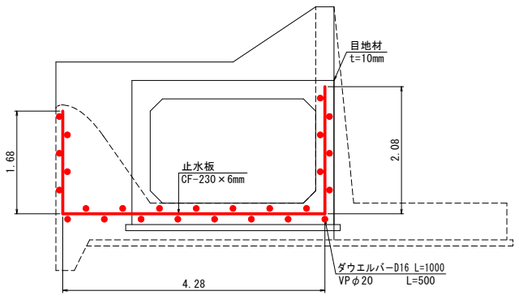
J－J



継目工

S=1:50

D－D

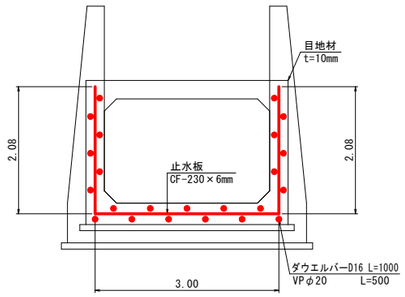


伸縮継目工

材　料	数　量
目地材t=10mm	5.5　m2
止水板CF-230×6mm	8.0　m
ダウエルバーD16 L=1000 VPφ20　L=500	26　箇所

※ダウエルバーがコンクリートからはみ出す
場合は90度に折り曲げて施工する。

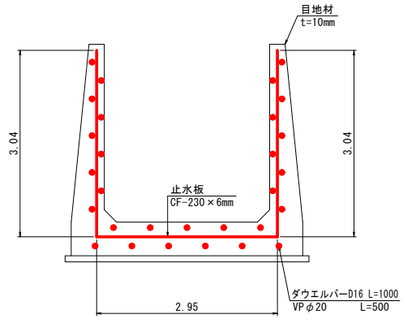
G－G



伸縮継目工

材　料	数　量
目地材t=10mm	2.4　m2
止水板CF-230×6mm	7.2　m
ダウエルバーD16 L=1000 VPφ20　L=500	23　箇所

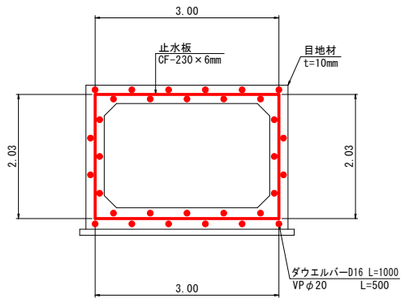
J－J



伸縮継目工

材　料	数　量
目地材t=10mm	4.4　m2
止水板CF-230×6mm	9.0　m
ダウエルバーD16 L=1000 VPφ20　L=500	29　箇所

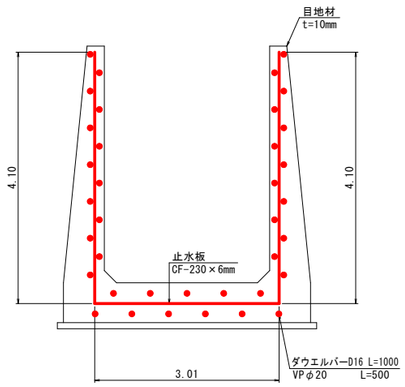
E－E



伸縮継目工

材　料	数　量
目地材t=10mm	3.2　m2
止水板CF-230×6mm	10.1　m
ダウエルバーD16 L=1000 VPφ20　L=500	32　箇所

H－H



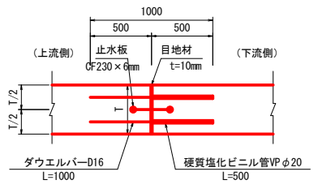
伸縮継目工

材　料	数　量
目地材t=10mm	6.3　m2
止水板CF-230×6mm	11.2　m
ダウエルバーD16 L=1000 VPφ20　L=500	37　箇所

継手詳細図

S=1:25

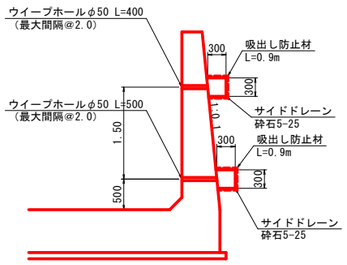
伸縮継手
(Exp.Jt)



工　事　名	権現池改良工事		
図　面　名	洪水吐構造図4/5		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮　　尺	図示	図面番号	15 / 39
事 務 所 名	福　　山　　市		

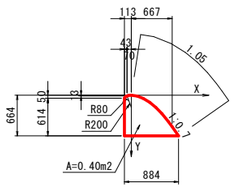
洪水吐構造図5/5

ウィープホール詳細図
S=1:50



越流堰
S=1:50

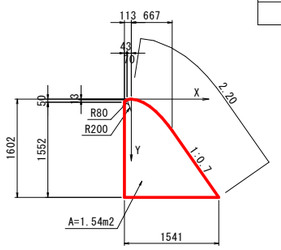
上流側



座標表

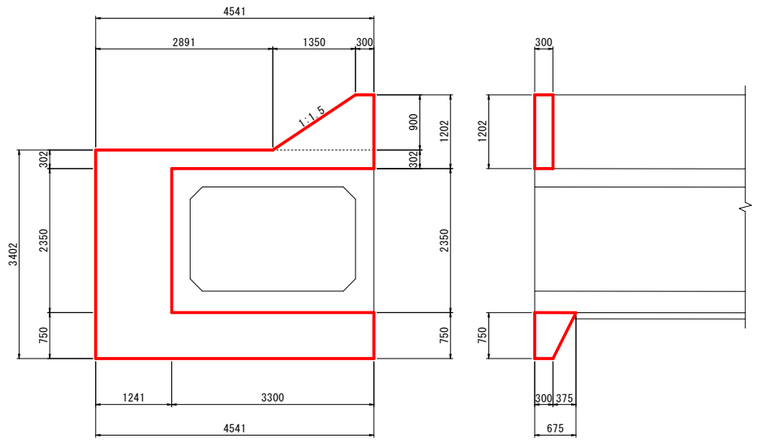
x	y
0	0
100	15
200	55
300	117
400	200
500	302
600	423
667	515

下流側



ウイング
S=1:50

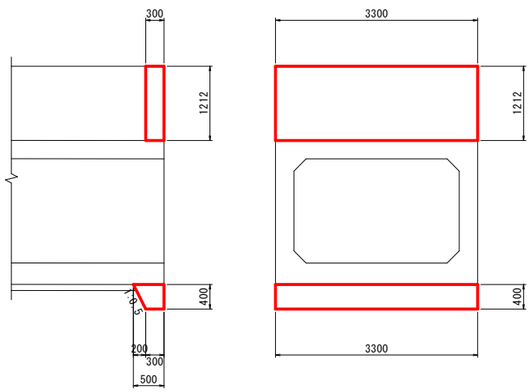
上流側
D－D断面



1箇所当り

名　称	規　格	数　量	単位
コンクリート	21N/mm2	3.21	m3
型　枠	鉄筋	17.36	m2
足場工	単管足場	6.57	掛m2

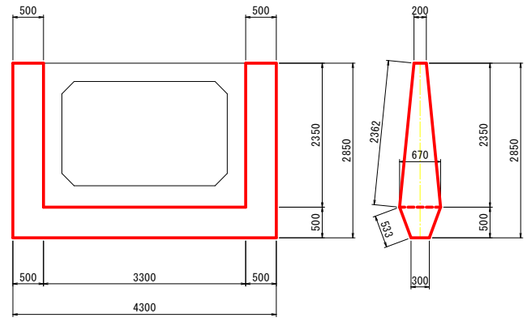
下流側
F－F断面



1箇所当り

名　称	規　格	数　量	単位
コンクリート	21N/mm2	1.73	m3
型　枠	鉄筋	10.35	m2

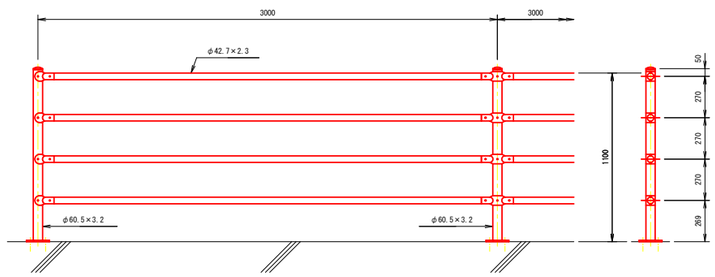
止水壁工
S=1:50



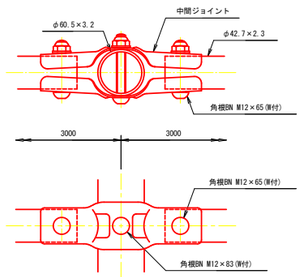
1箇所当り

名　称	規　格	数　量	単位
コンクリート	18N/mm2	2.07	m3
型　枠	無筋	7.25	m2

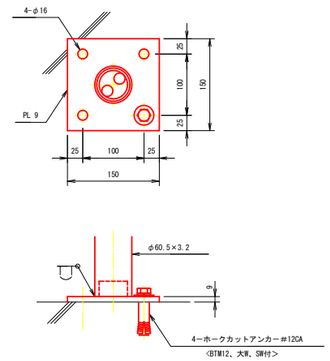
転落防止柵　H=1100
（参考）
S＝1：20



中間部取付図　S=1:4



ベースプレート詳細図
S=1:5



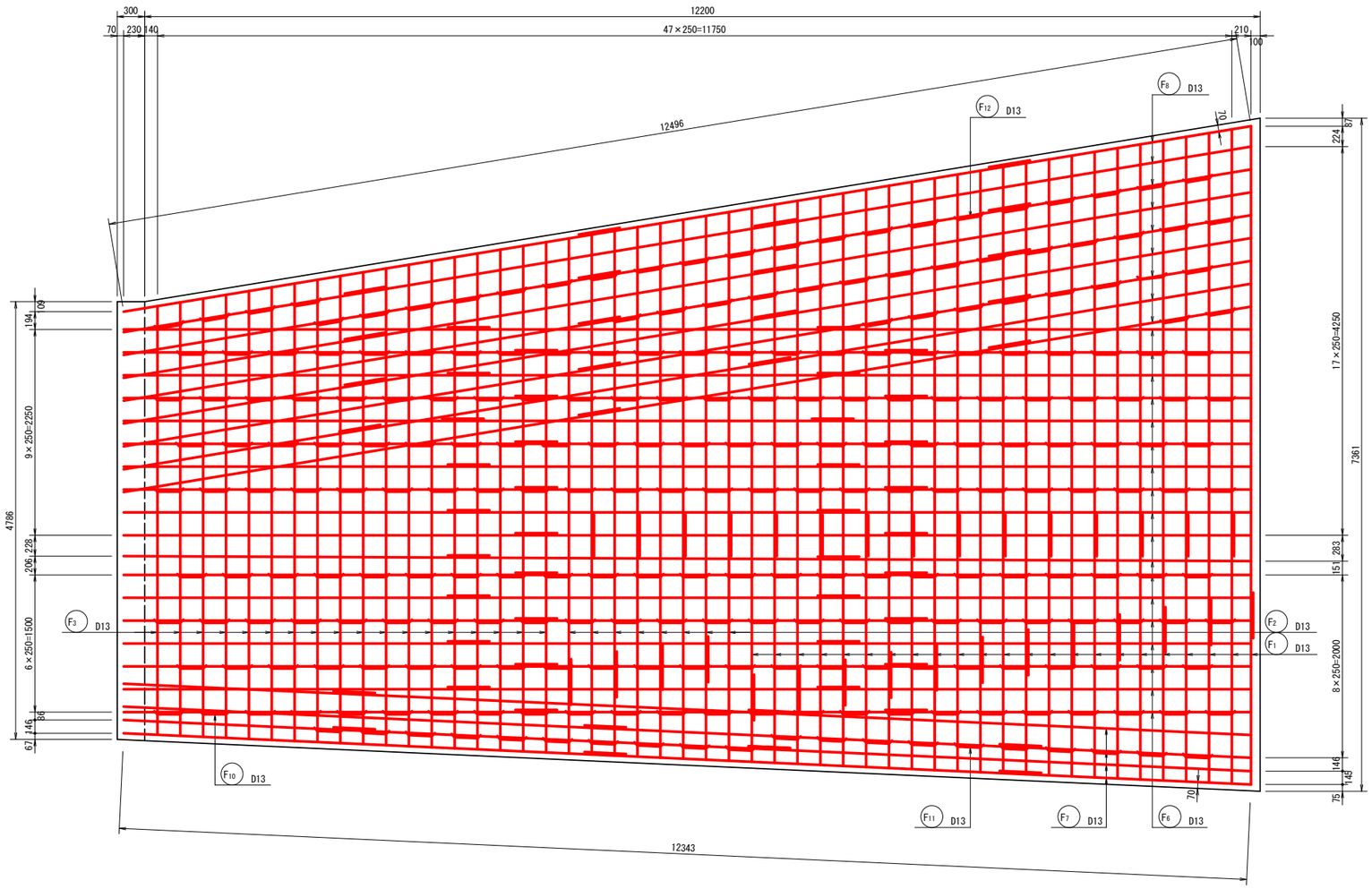
設計条件
　設計荷重・・・防護柵の設置基準・同解説のＰ種に基づく。

備考
1．外装について
　・支　柱　・・・溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
　・ビームパイプ
　　ジョイント
　・ボルト、ナット
　　アンカーボルト　・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
　・ボルト、ナット
　　アンカーボルト　・・・溶融亜鉛めっきのみ
2．本図ベースプレート支柱はコンクリート天端（※印部）２５０mm以上の場合に適用する。

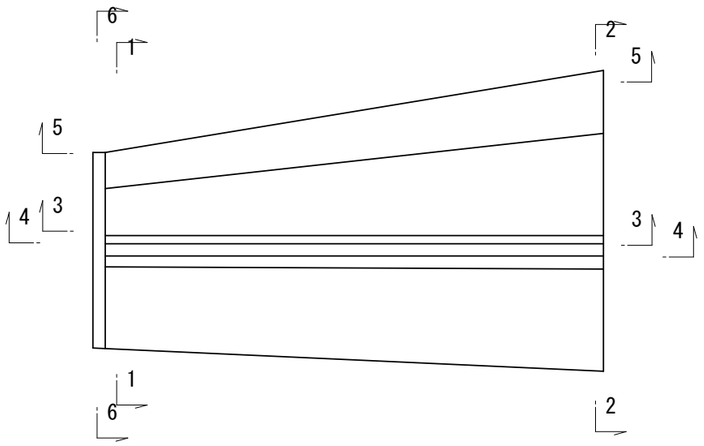
工　事　名	権現池改良工事		
図　面　名	洪水吐構造図5/5		
作成年月日	2025年（令和7年）9月		
縮　　尺	図示	図面番号	16 / 39
事務所名	福　　山　　市		

Aブロック配筋図1/8 S=1:30

底版下面



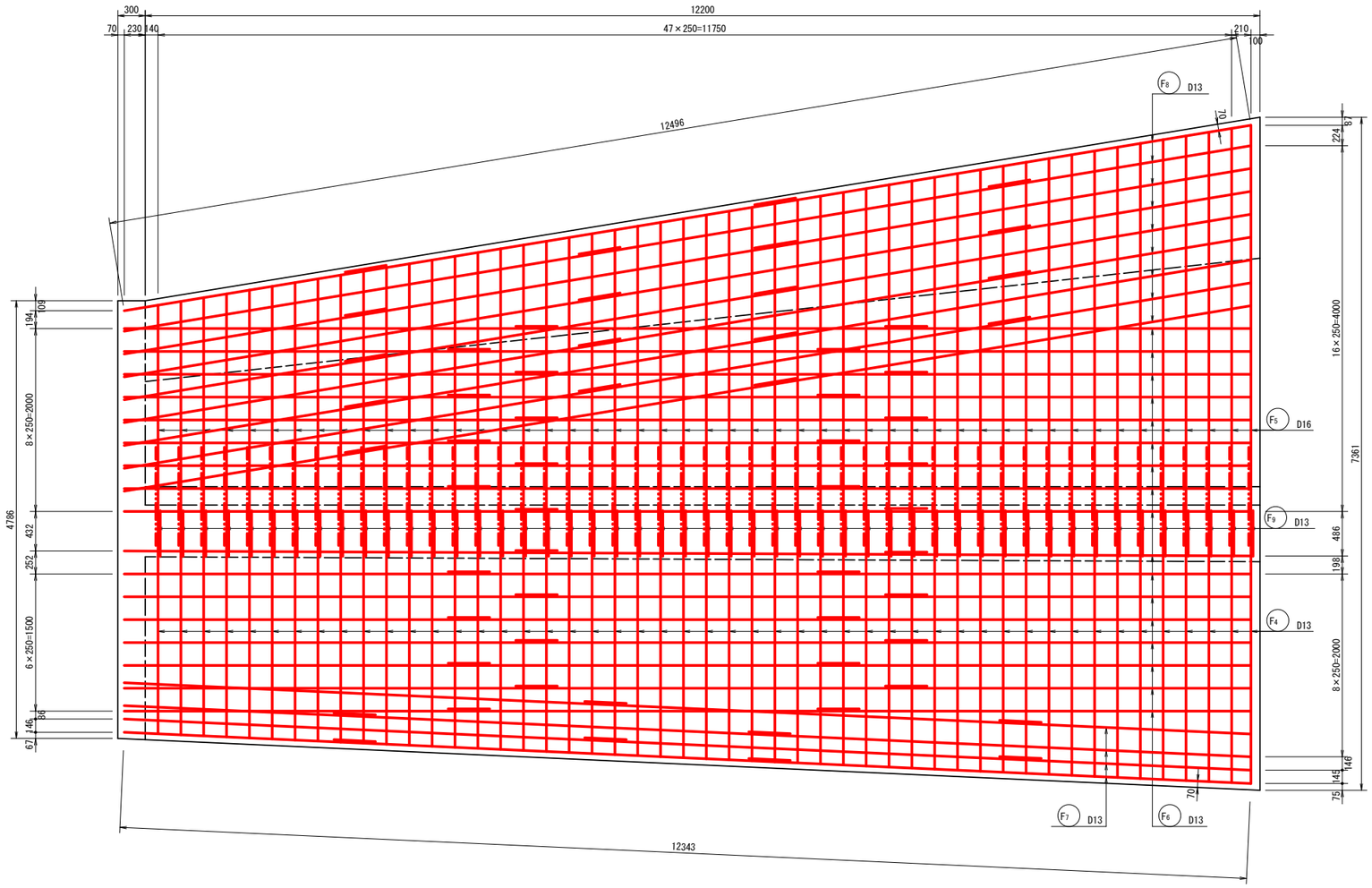
案内図



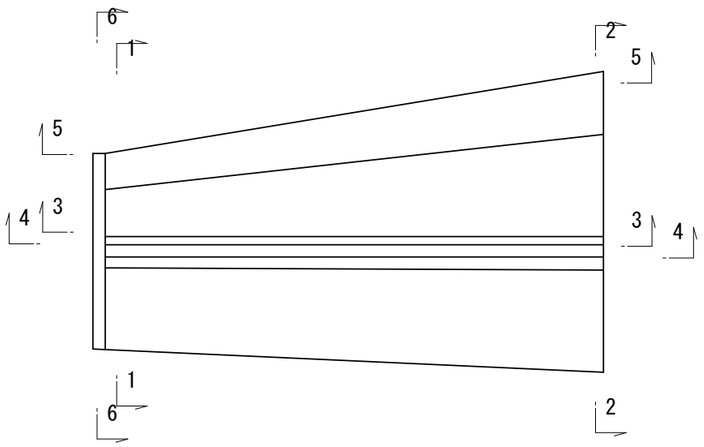
工事名	権現池改良工事		
図面名	Aブロック配筋図1/8		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮尺	S=1/30	図面番号	17 / 39
事務所名	福山市		

Aブロック配筋図2/8 S=1:30

底版上面



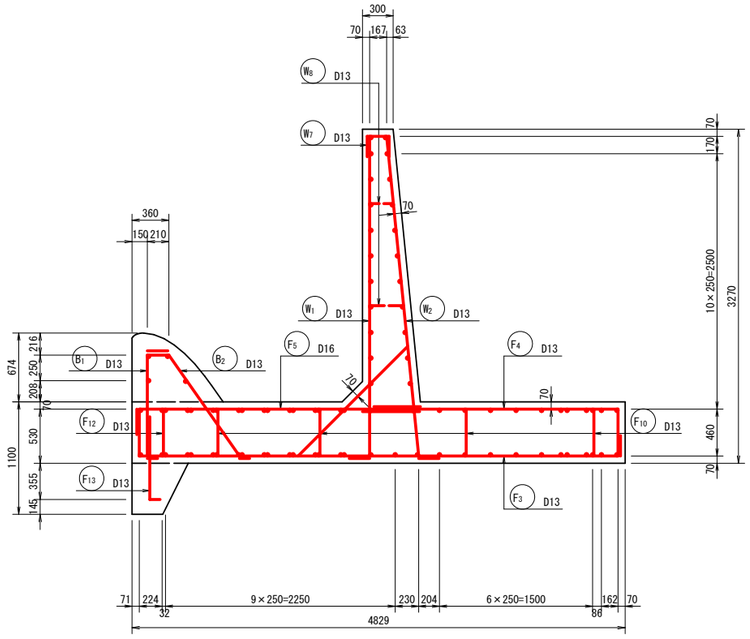
案内図



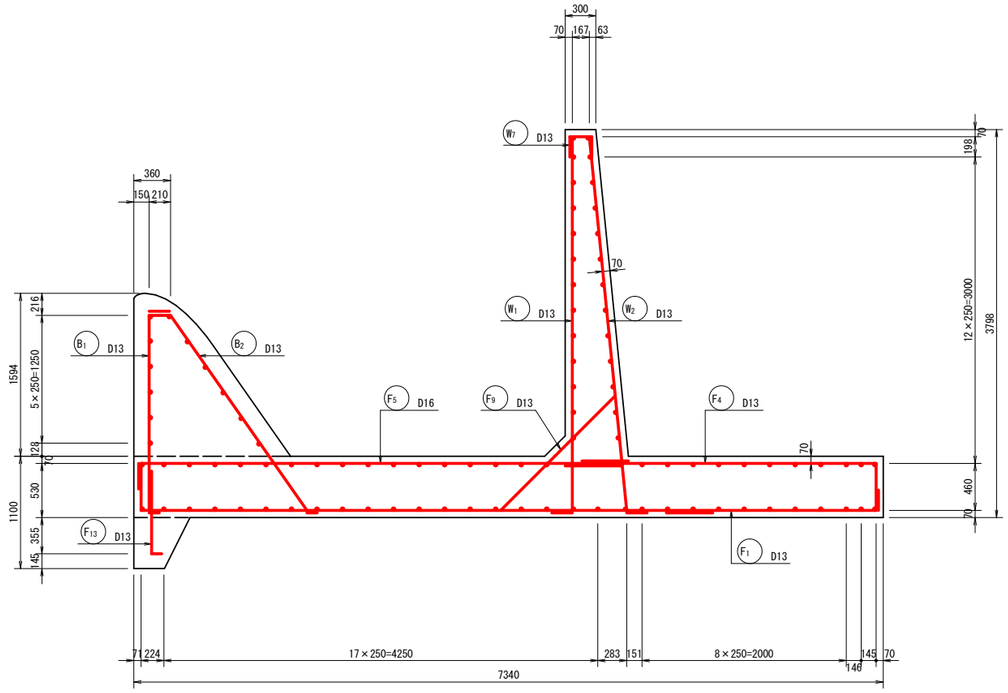
工　事　名	権現池改良工事		
図　面　名	Aブロック配筋図2/8		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮　　尺	S=1/30	図面番号	18 / 39
事務所名	福　　山　　市		

Aブロック配筋図3/8 S=1:30

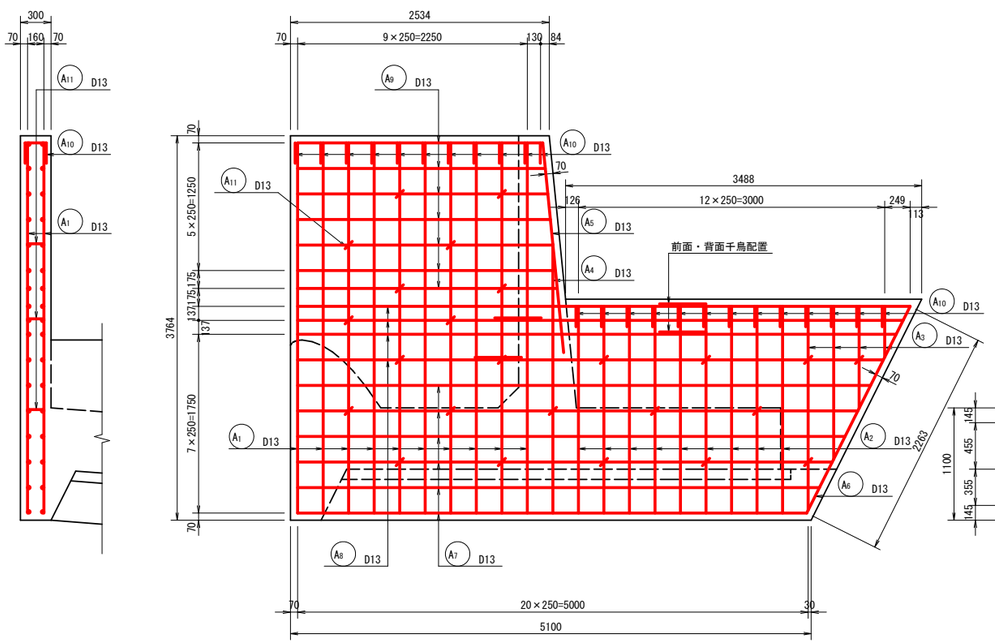
1－1



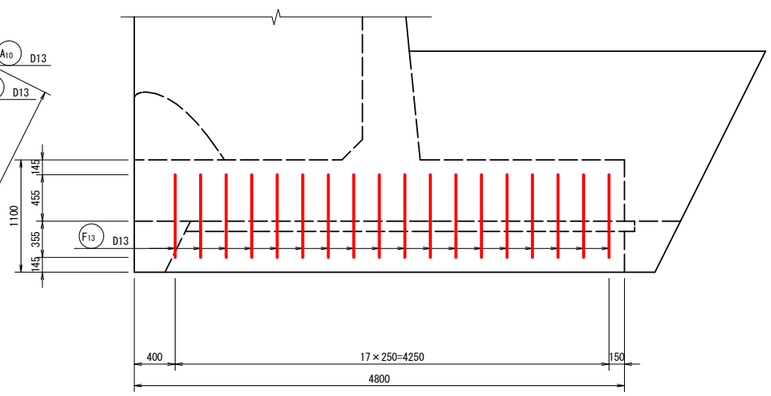
2－2



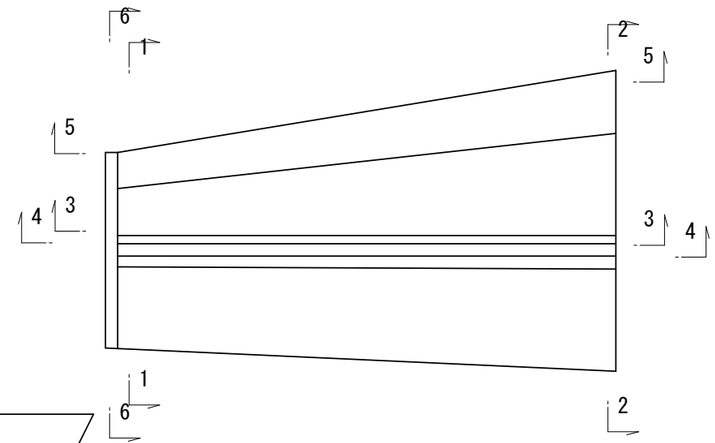
6－6
（前面背面共通）



差し筋



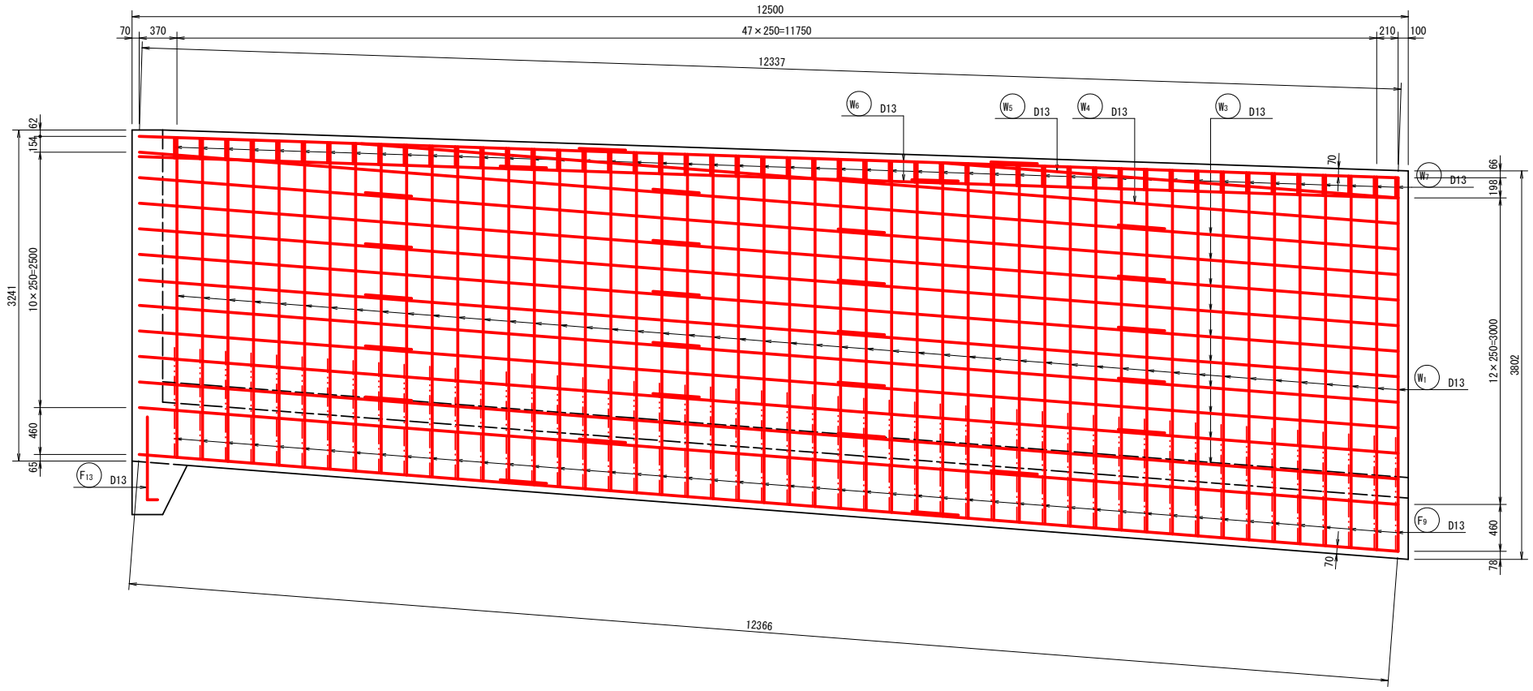
案内図



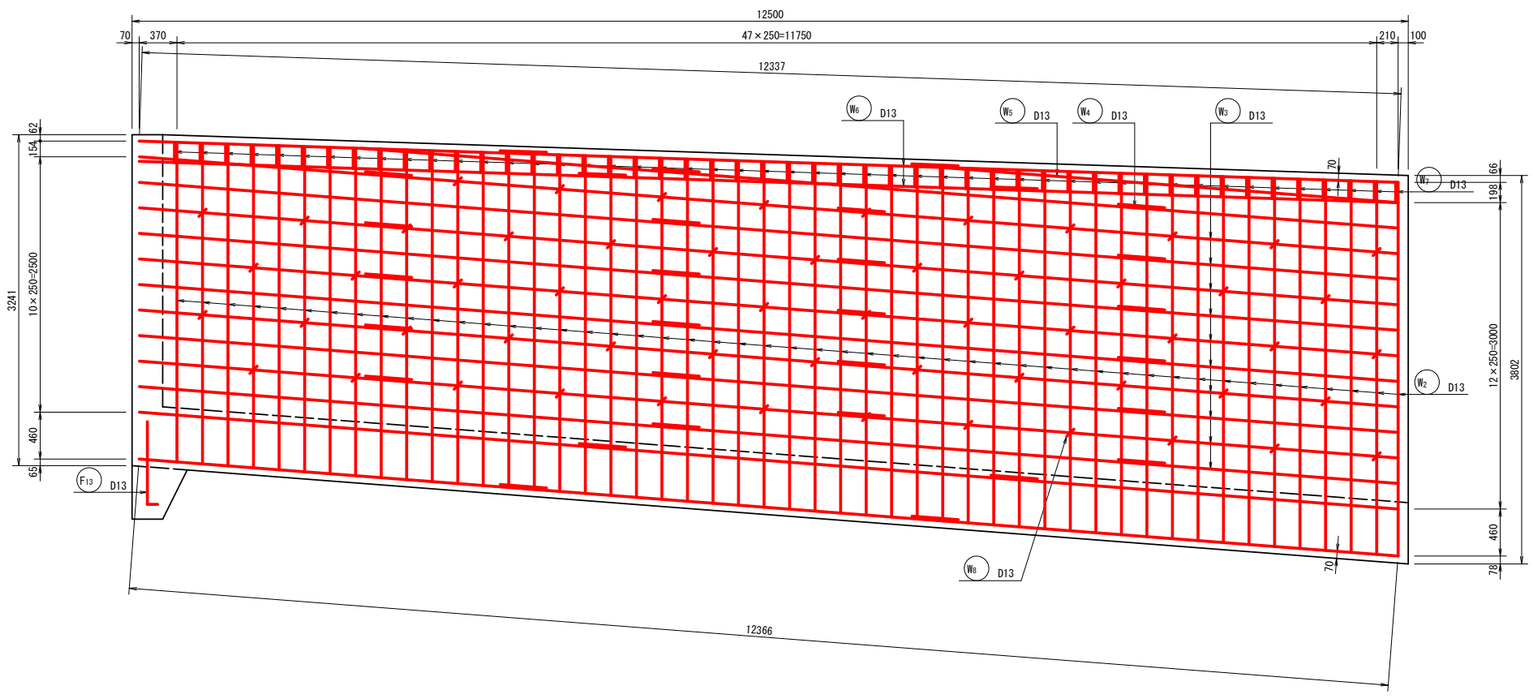
工事名	権現池改良工事		
図面名	Aブロック配筋図3/8		
作成年月日	2025年（令和7年）9月		
縮尺	S=1/30	図面番号	19 / 39
事務所名	福山市		

Aブロック配筋図4/8 S=1:30

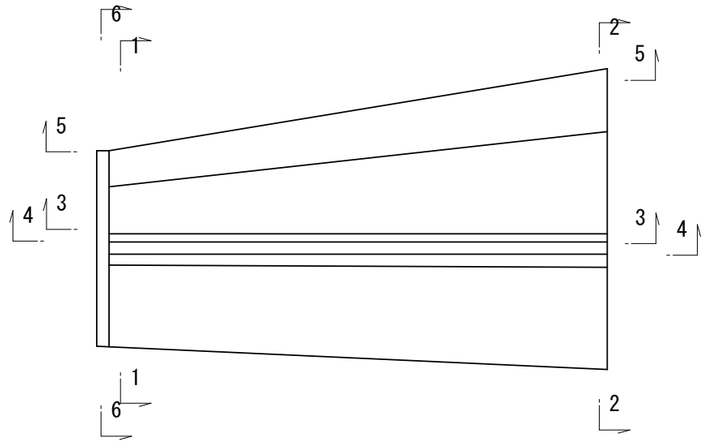
３－３



４－４



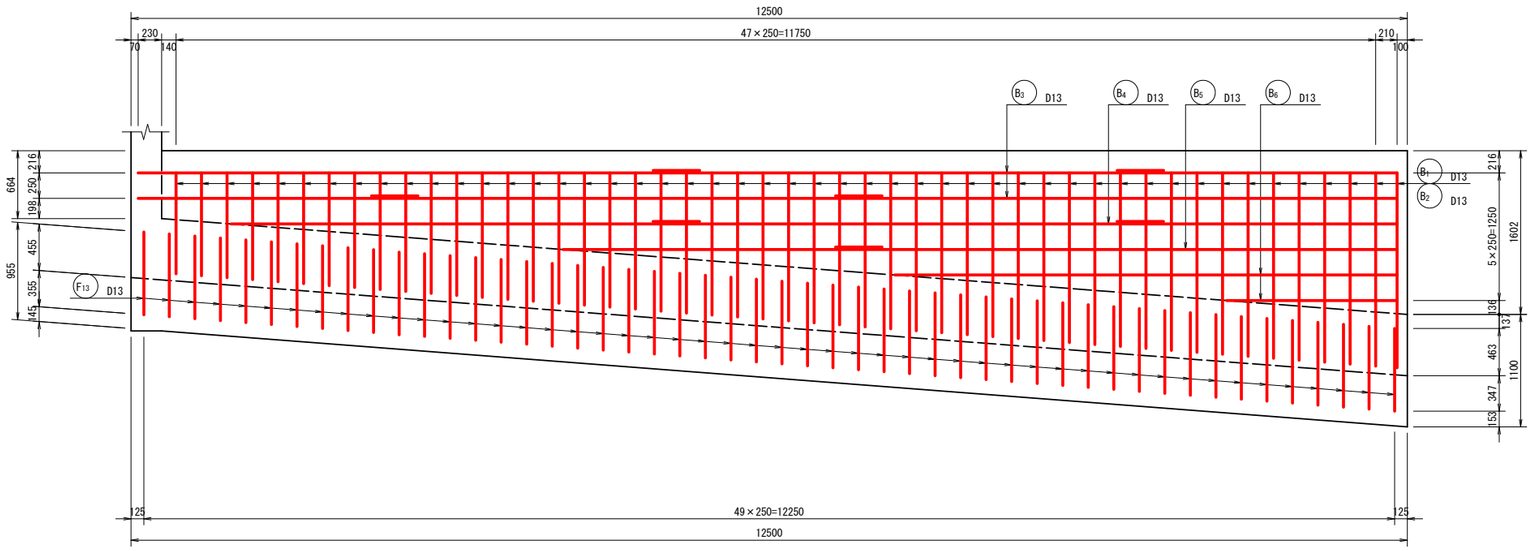
案内図



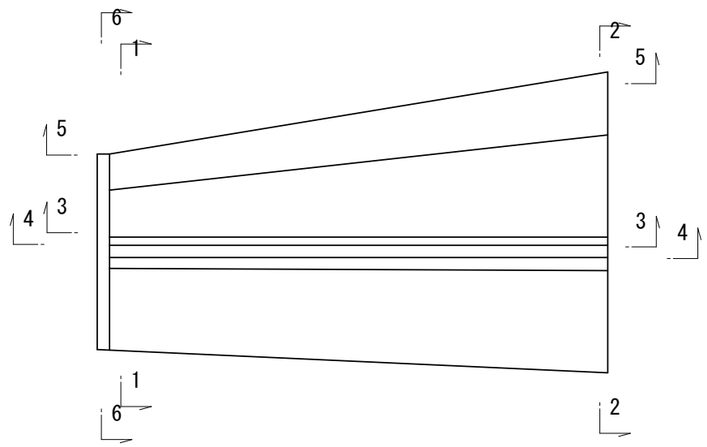
工事名	権現池改良工事		
図面名	Aブロック配筋図4/8		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮尺	S=1/30	図面番号	20 / 39
事務所名	福山市		

Aブロック配筋図5/8 S=1:30

５－５

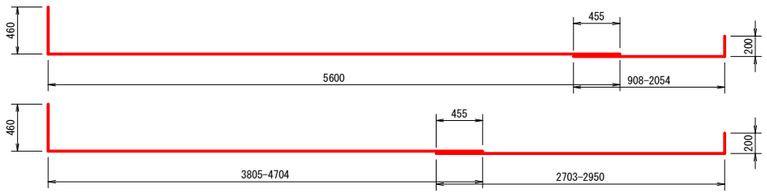


案内図

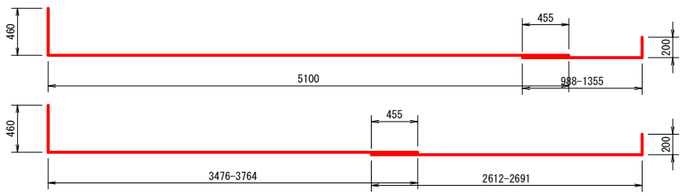


工　事　名	権現池改良工事		
図　面　名	Aブロック配筋図5/8		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮　　尺	S=1/30	図面番号	21 / 39
事 務 所 名	福　　山　　市		

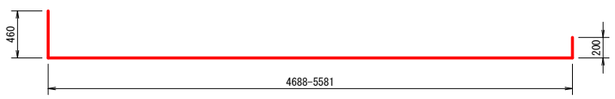
Aブロック配筋図6/8 S=1:30



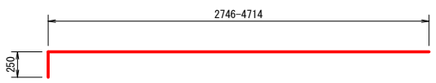
F1 23-D13×7750（平均長）



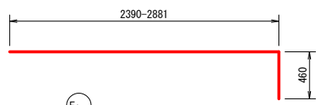
F2 8-D13×6940（平均長）



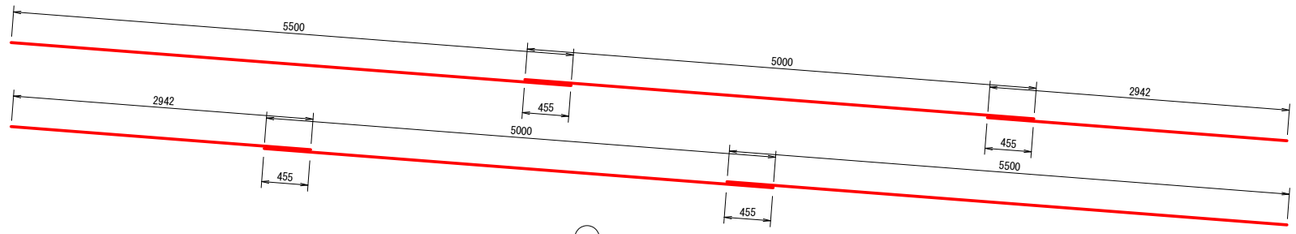
F3 18-D13×5800（平均長）



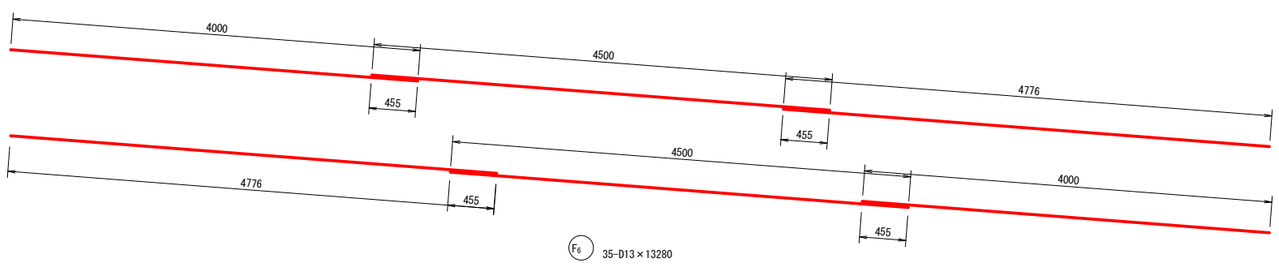
F5 49-D16×3980（平均長）



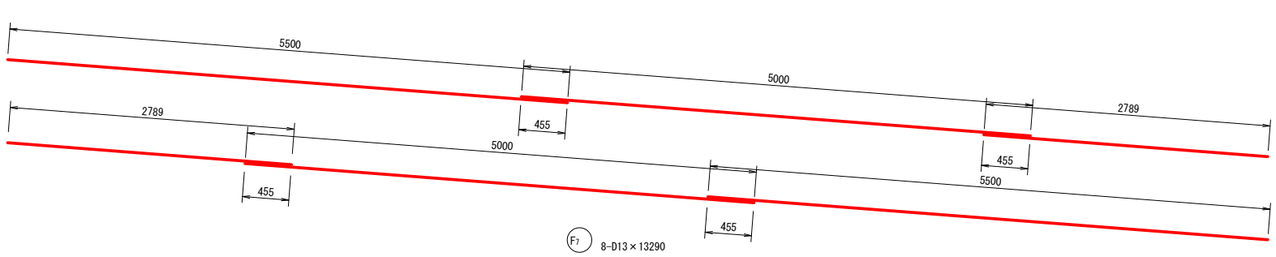
F4 49-D13×3100（平均長）



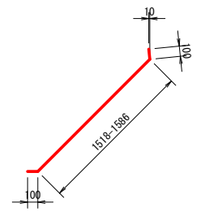
F8 18-D13×13450



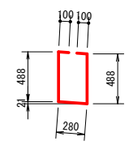
F6 35-D13×13280



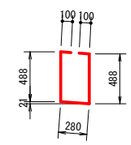
F7 8-D13×13290



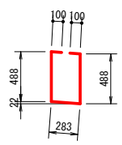
F9 49-D13×1760（平均長）



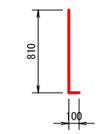
F10 188-D13×1460



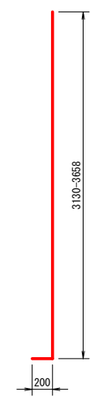
F11 20-D13×1460



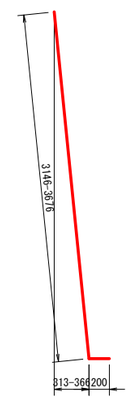
F12 48-D13×1460



F13 68-D13×910



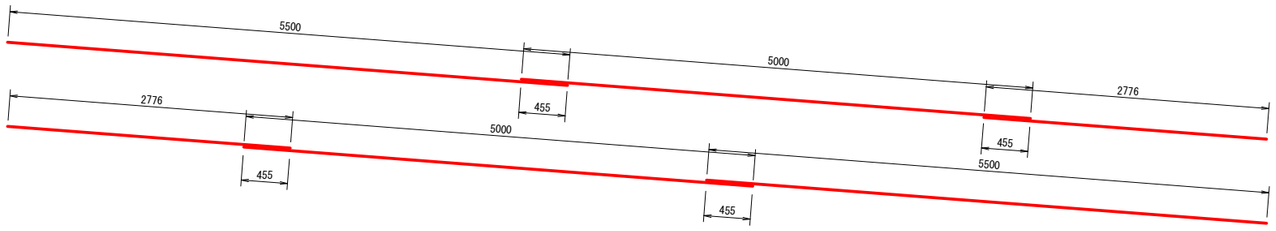
W1 49-D13×3600（平均長）



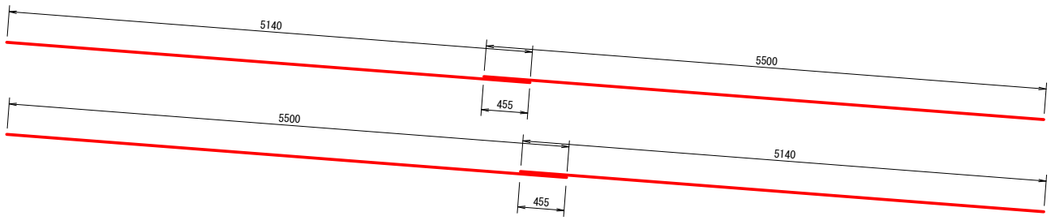
W2 49-D13×3620（平均長）

工事名	権現池改良工事		
図面名	Aブロック配筋図6/8		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮尺	S=1/30	図面番号	22 / 39
事務所名	福山市		

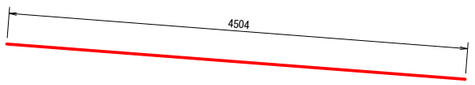
Aブロック配筋図7/8 S=1:30



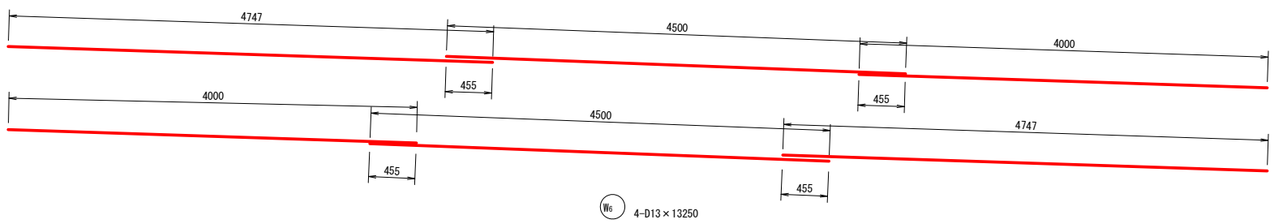
W3 20-D13×13280



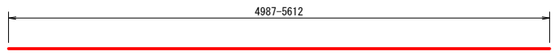
W4 2-D13×10640



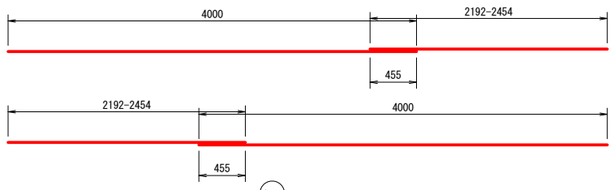
W5 2-D13×4510



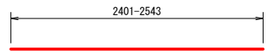
W6 4-D13×13250



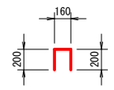
A7 12-D13×5300（平均長）



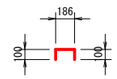
A8 8-D13×6330（平均長）



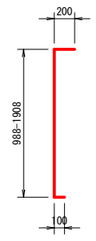
A9 14-D13×2480（平均長）



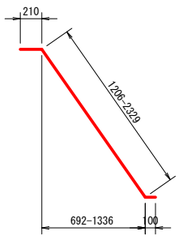
A10 24-D13×560



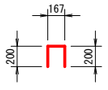
A11 24-D13×390



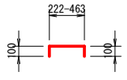
B1 49-D13×1750（平均長）



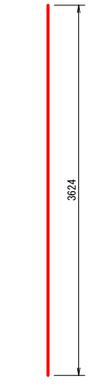
B2 49-D13×2080（平均長）



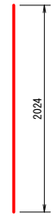
W7 49-D13×570



W8 58-D13×550（平均長）



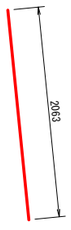
A1 20-D13×3630



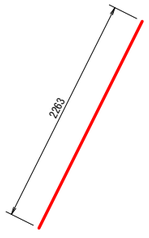
A2 18-D13×2030

A3 8-D13×1250（平均長）

A4 2-D13×2640



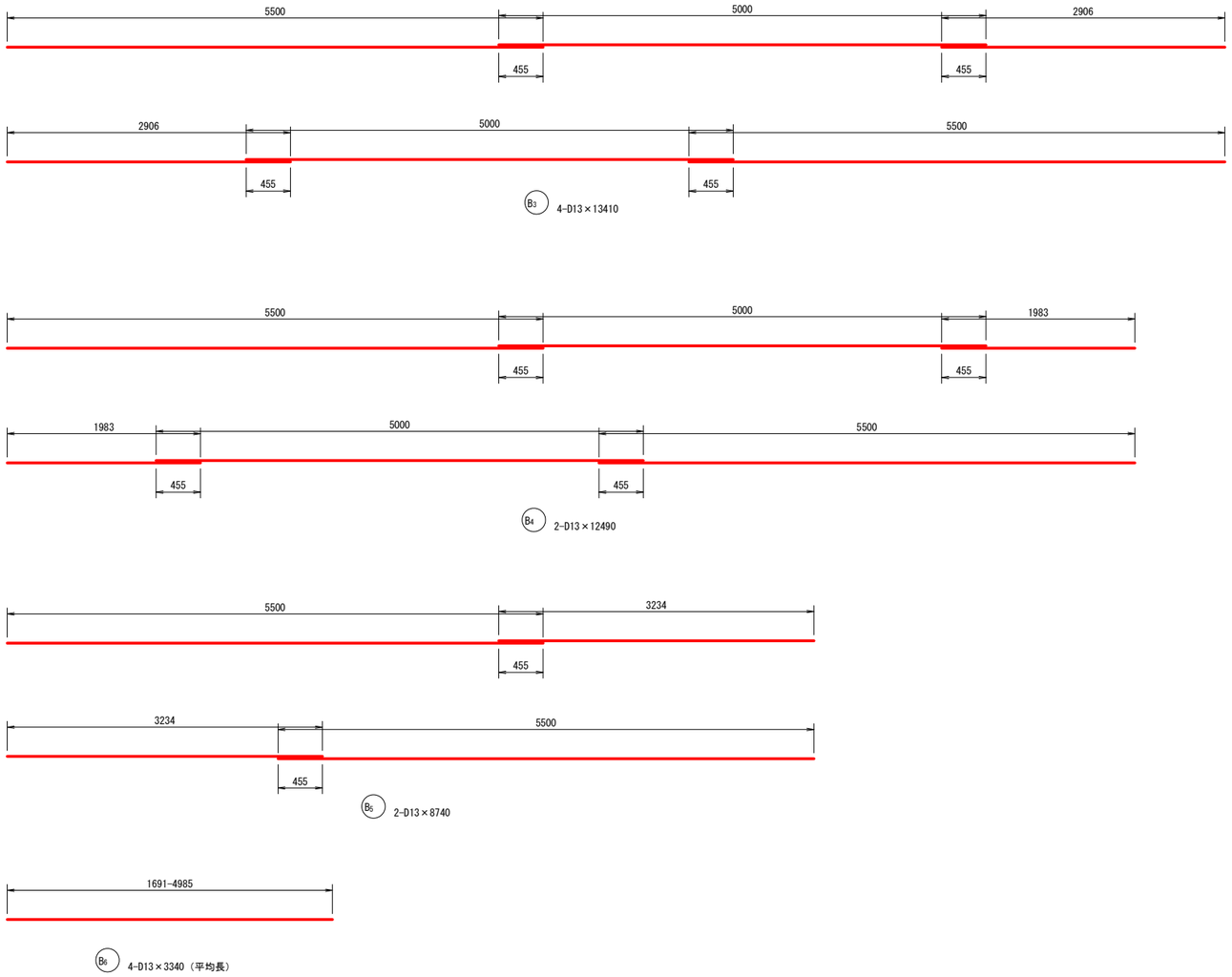
A5 2-D13×2070



A6 2-D13×2270

工事名	権現池改良工事		
図面名	Aブロック配筋図7/8		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮尺	S=1/30	図面番号	23 / 39
事務所名	福山市		

Aブロック配筋図8/8 S=1:30



鉄筋質量表(SD345)

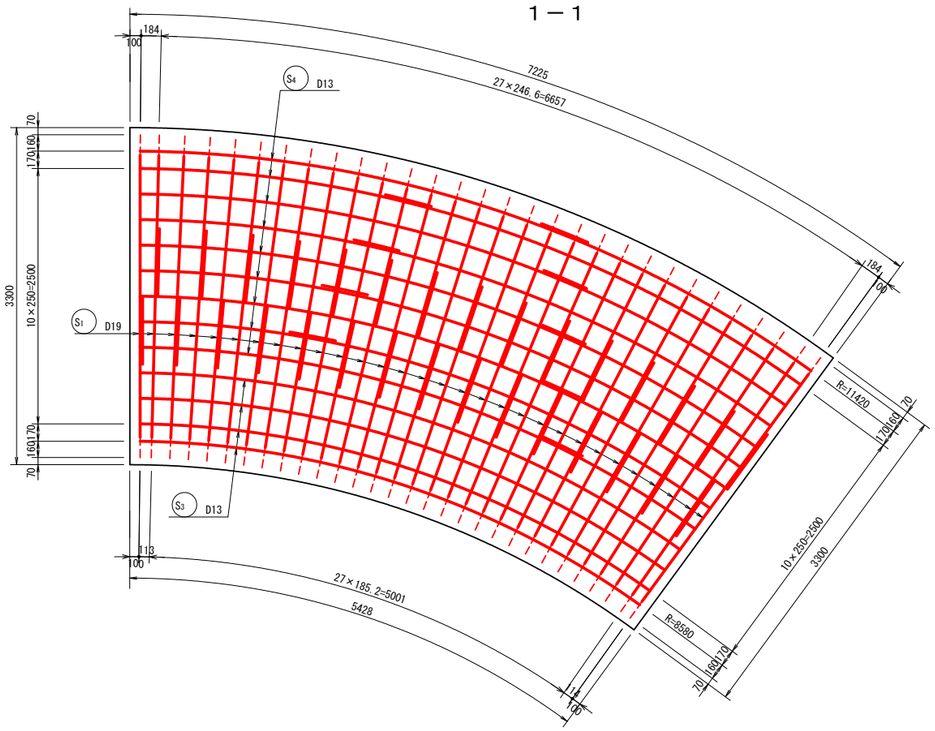
種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
F1	D13	7750	23	0.995	7.71	177	(平均長)
F2	〃	6940	8	〃	6.91	55	(平均長)
F3	〃	5800	18	〃	5.77	104	(平均長)
F4	〃	3100	49	〃	3.08	151	(平均長)
F5	D16	3980	49	1.56	6.21	304	(平均長)
F6	D13	13280	35	0.995	13.21	462	
F7	〃	13290	8	〃	13.22	106	
F8	〃	13450	18	〃	13.38	241	
F9	〃	1760	49	〃	1.75	86	(平均長)
F10	〃	1460	188	〃	1.45	273	
F11	〃	1460	20	〃	1.45	29	
F12	〃	1460	48	〃	1.45	70	
F13	〃	910	68	〃	0.91	62	
						2120	
W1	D13	3600	49	0.995	3.58	175	(平均長)
W2	〃	3620	49	〃	3.60	176	(平均長)
W3	〃	13280	20	〃	13.21	264	
W4	〃	10640	2	〃	10.59	21	
W5	〃	4510	2	〃	4.49	9	
W6	〃	13250	4	〃	13.18	53	
W7	〃	570	49	〃	0.57	28	
W8	〃	550	58	〃	0.55	32	(平均長)
						758	
A1	D13	3630	20	0.995	3.61	72	
A2	〃	2030	18	〃	2.02	36	
A3	〃	1250	8	〃	1.24	10	(平均長)
A4	〃	2640	2	〃	2.63	5	
A5	〃	2070	2	〃	2.06	4	
A6	〃	2270	2	〃	2.26	5	
A7	〃	5300	12	〃	5.27	63	(平均長)
A8	〃	6330	8	〃	6.30	50	(平均長)
A9	〃	2480	14	〃	2.47	35	(平均長)
A10	〃	560	24	〃	0.56	13	
A11	〃	390	24	〃	0.39	9	
						302	
B1	D13	1750	49	0.995	1.74	85	(平均長)
B2	〃	2080	49	〃	2.07	101	(平均長)
B3	〃	13410	4	〃	13.34	53	
B4	〃	12490	2	〃	12.43	25	
B5	〃	8740	2	〃	8.70	17	
B6	〃	3340	4	〃	3.32	13	(平均長)
						294	

径	質量(kg)
D16	304
D13	3170
合計	3474

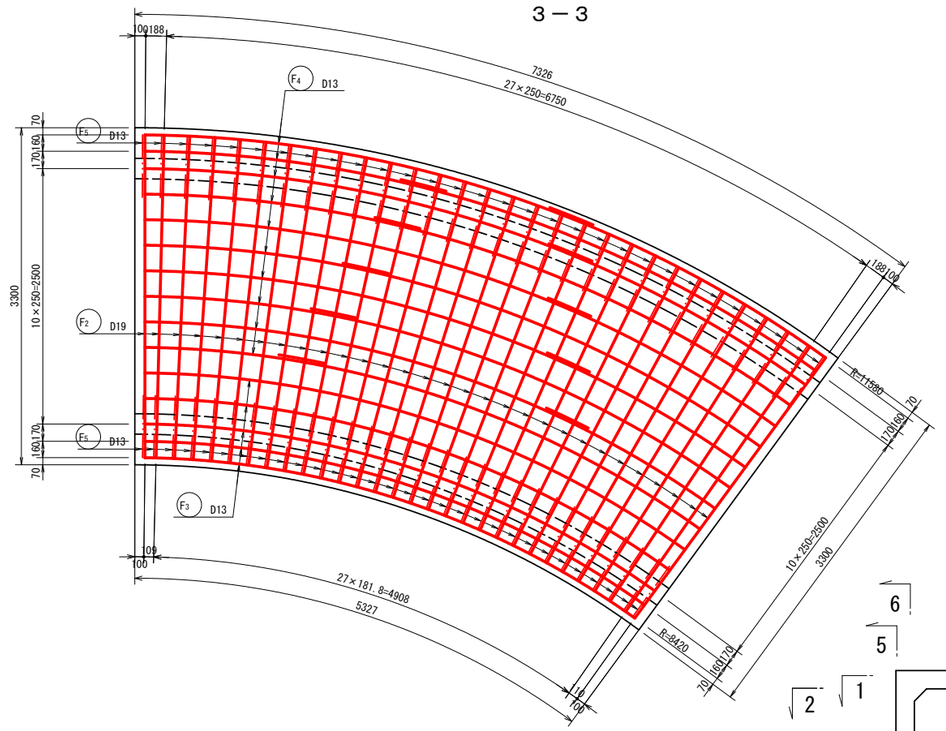
工 事 名	権現池改良工事		
図 面 名	Aブロック配筋図8/8		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮 尺	S=1/30	図面番号	24 / 39
事 務 所 名	福 山 市		

B1ブロック配筋図1/4 S=1:30

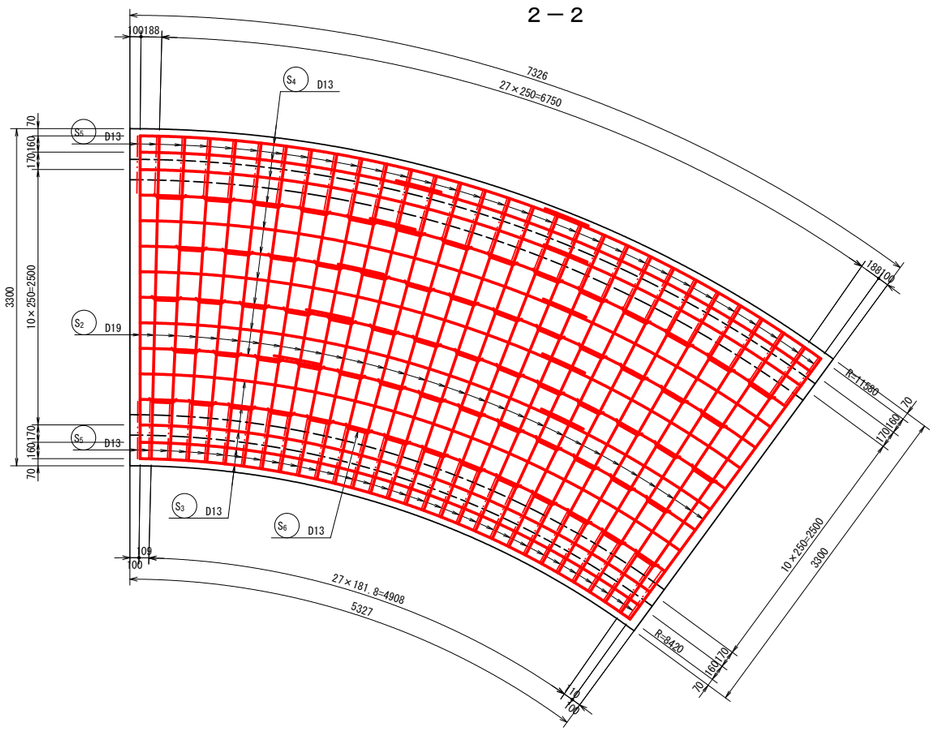
1－1



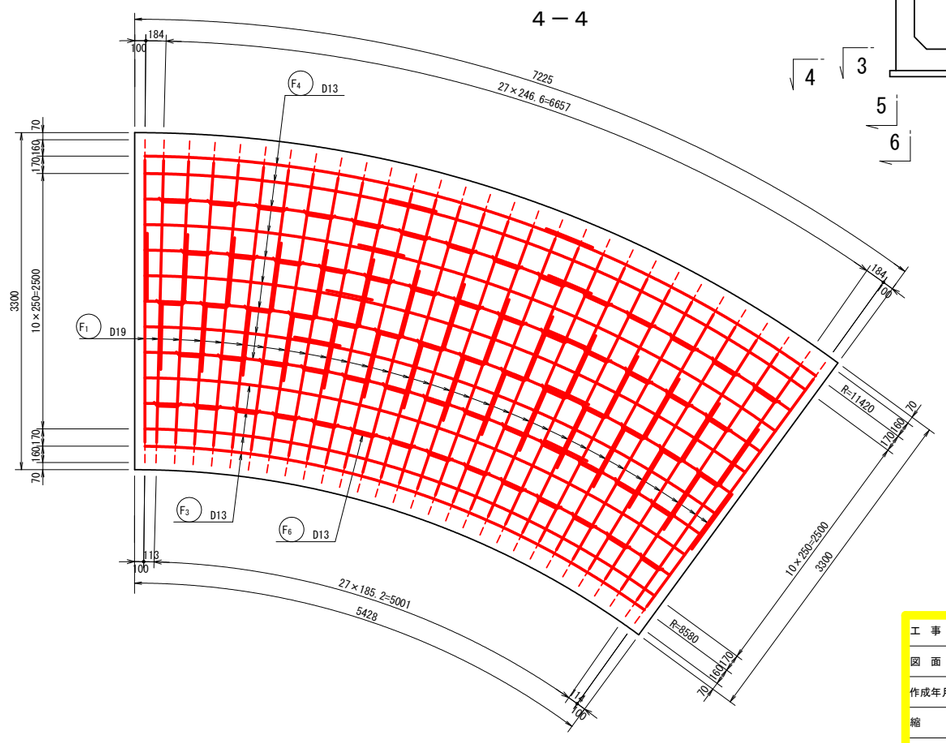
3－3



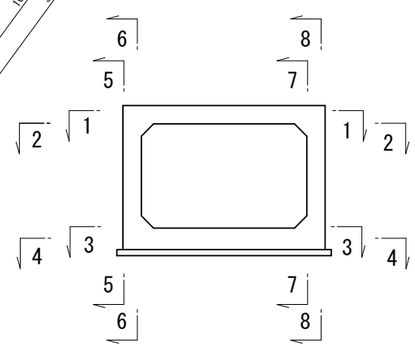
2－2



4－4



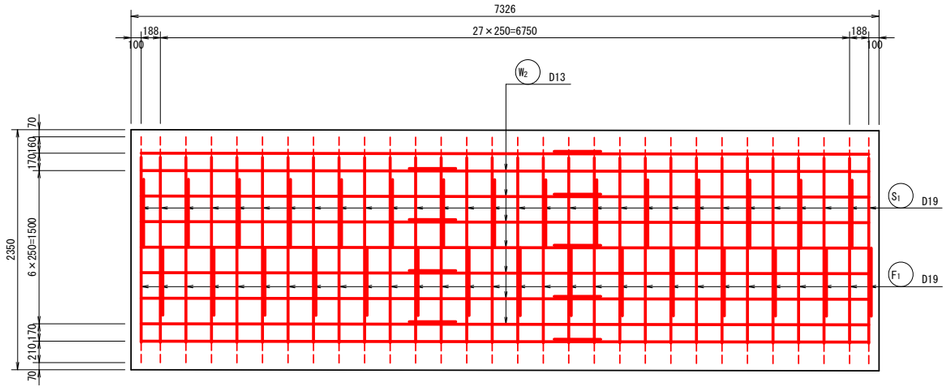
案内図



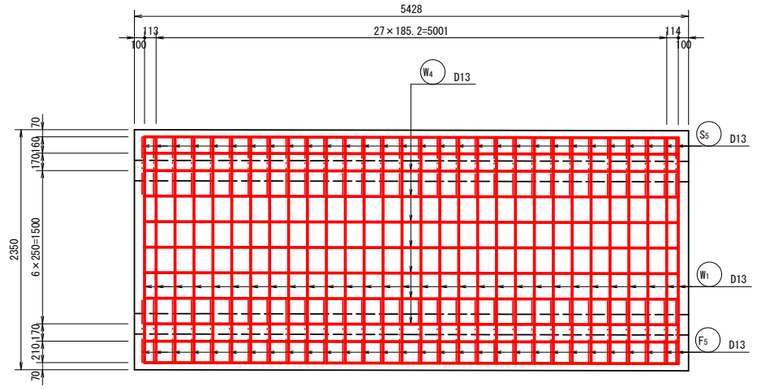
工事名	権現池改良工事		
図面名	B1ブロック配筋図1/4		
作成年月日	2025年（令和7年）9月		
縮尺	S=1/30	図面番号	25 / 39
事務所名	福山市		

B1ブロック配筋図2/4 S=1:30

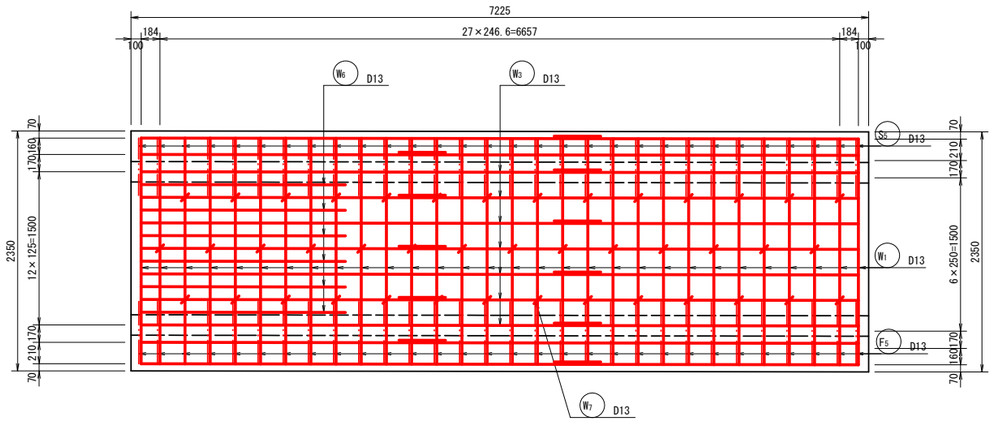
５－５



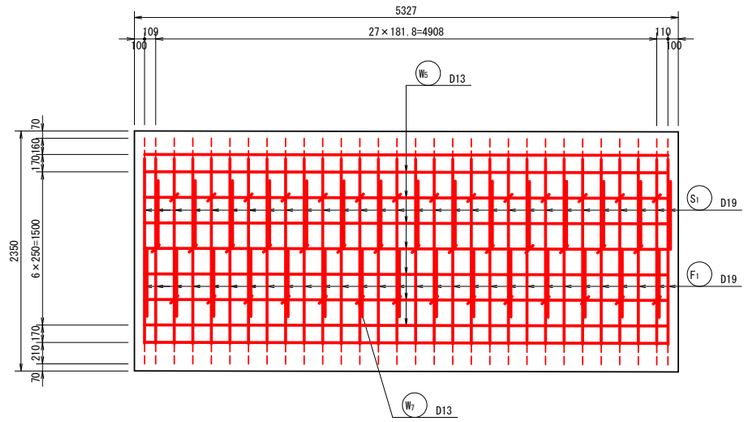
７－７



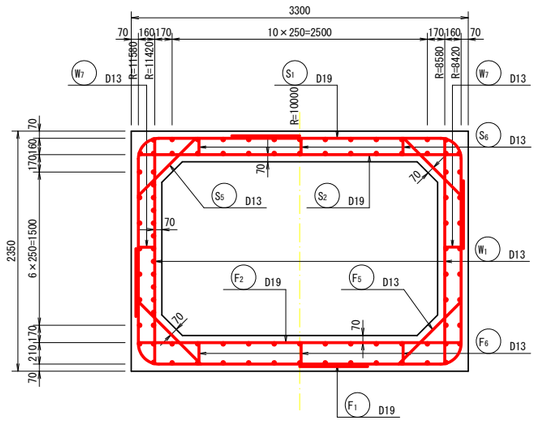
６－６



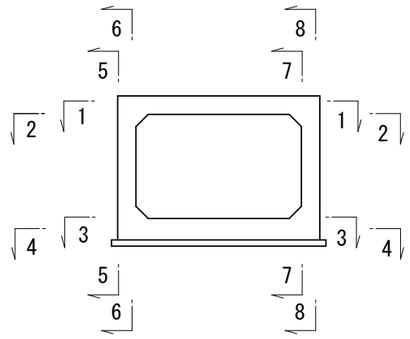
８－８



断面図



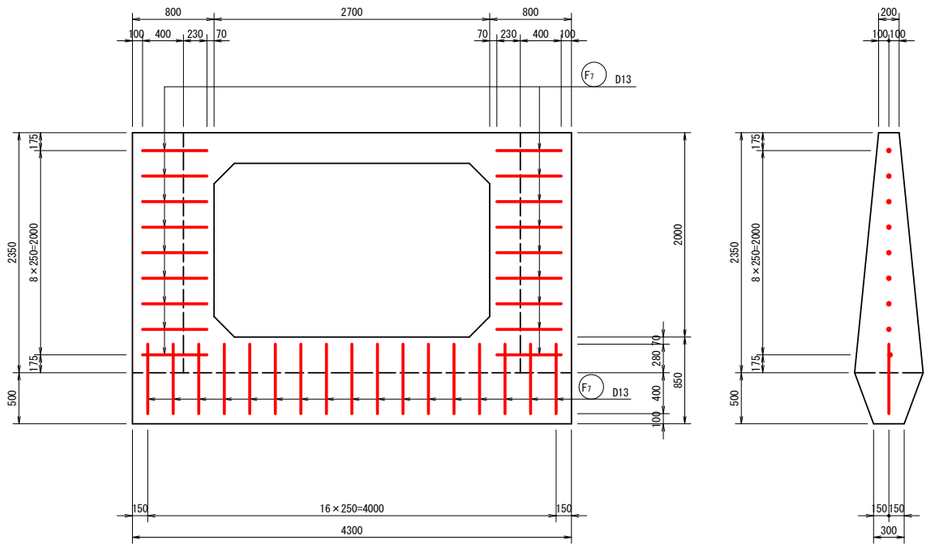
案内図



工事名	権現池改良工事		
図面名	B1ブロック配筋図2/4		
作成年月日	2025年（令和7年）9月		
縮尺	S=1/30	図面番号	26 / 39
事務所名	福山市		

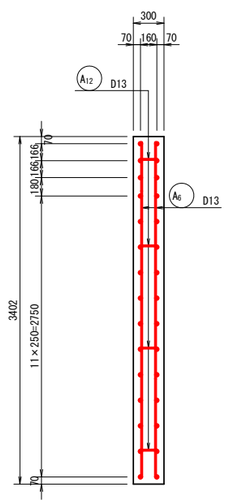
B1ブロック配筋図3/4 S=1:30

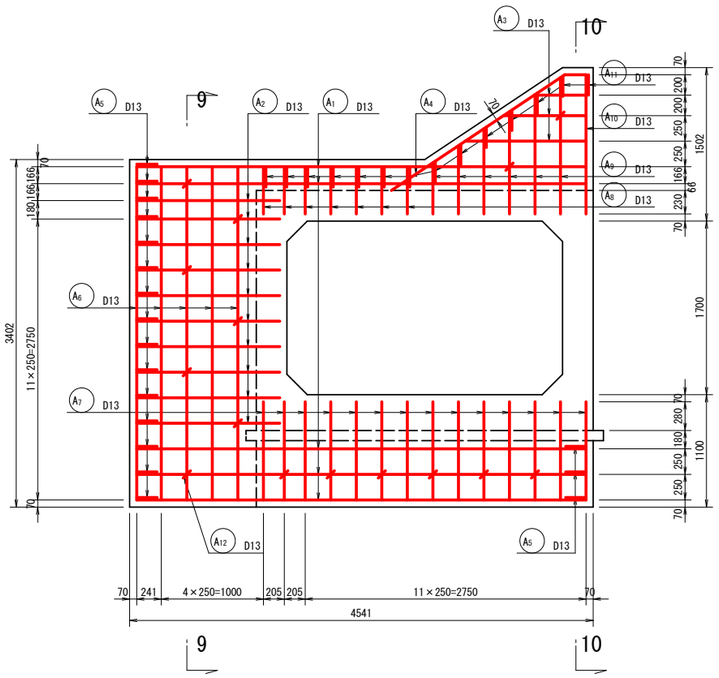
止水壁



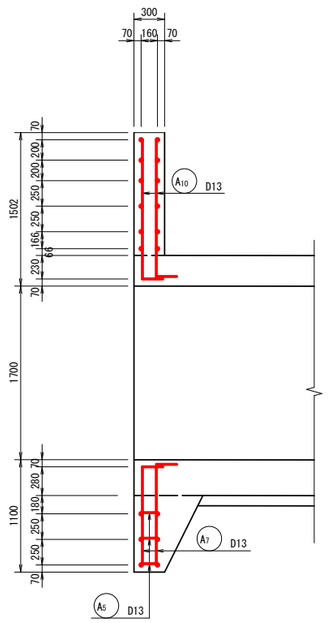
ウイング
（前後共通）

9－9





10－10



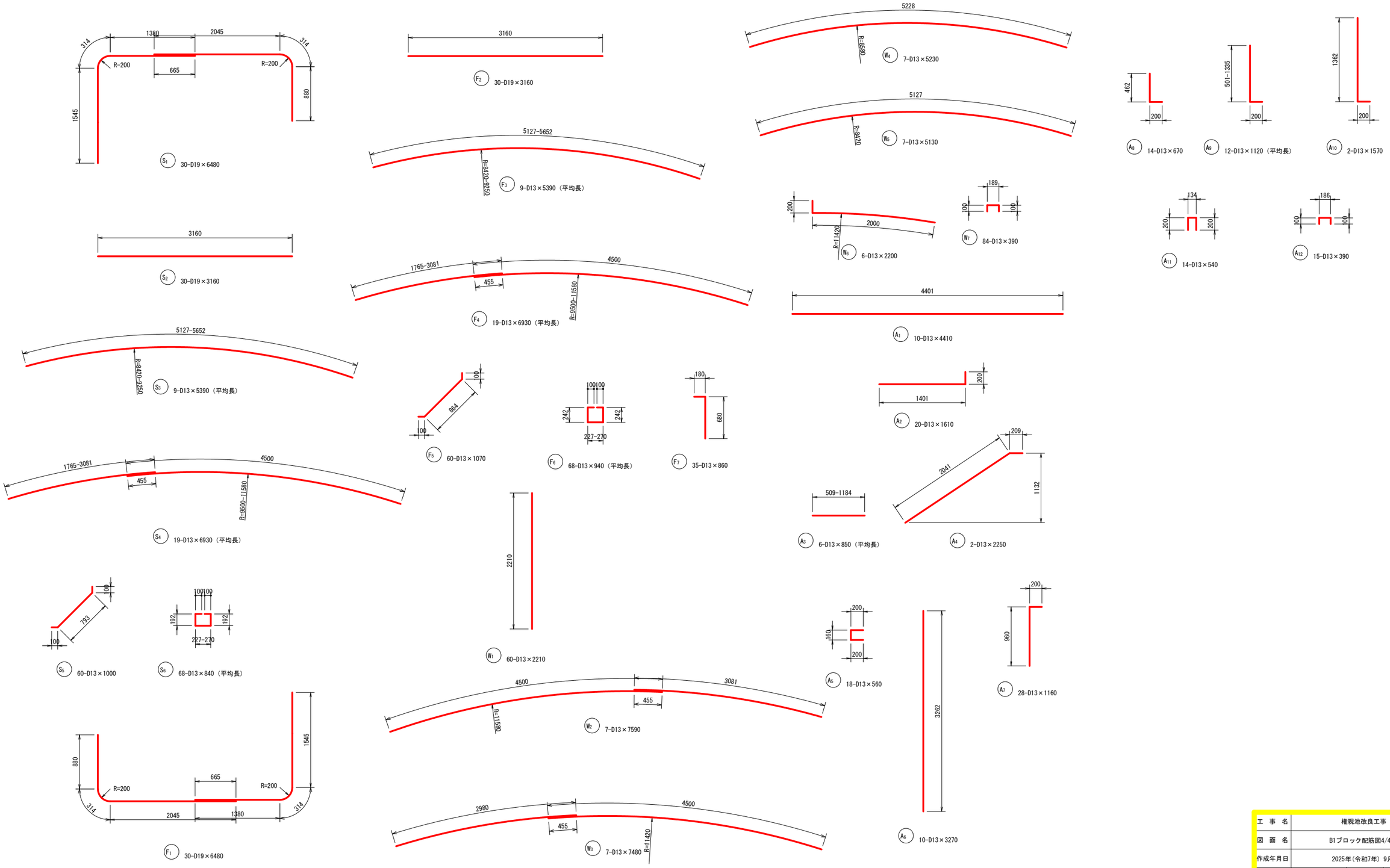
鉄筋質量表(SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
S1	D19	6480	30	2.25	14.58	437	
S2	〃	3160	30	〃	7.11	213	
S3	D13	5390	9	0.995	5.36	48	(平均長)
S4	〃	6930	19	〃	6.90	131	(平均長)
S5	〃	1000	60	〃	1.00	60	
S6	〃	840	68	〃	0.84	57	(平均長)
						946	
F1	D19	6480	30	2.25	14.58	437	
F2	〃	3160	30	〃	7.11	213	
F3	D13	5390	9	0.995	5.36	48	(平均長)
F4	〃	6930	19	〃	6.90	131	(平均長)
F5	〃	1070	60	〃	1.06	64	
F6	〃	940	68	〃	0.94	64	(平均長)
F7	〃	860	35	〃	0.86	30	
						987	
W1	D13	2210	60	0.995	2.20	132	
W2	〃	7590	7	〃	7.55	53	
W3	〃	7480	7	〃	7.44	52	
W4	〃	5230	7	〃	5.20	36	
W5	〃	5130	7	〃	5.10	36	
W6	〃	2200	6	〃	2.19	13	
W7	〃	390	84	〃	0.39	33	
						355	
A1	D13	4410	10	0.995	4.39	44	
A2	〃	1610	20	〃	1.60	32	
A3	〃	850	6	〃	0.85	5	(平均長)
A4	〃	2250	2	〃	2.24	4	
A5	〃	560	18	〃	0.56	10	
A6	〃	3270	10	〃	3.25	33	
A7	〃	1160	28	〃	1.15	32	
A8	〃	670	14	〃	0.67	9	
A9	〃	1120	12	〃	1.11	13	(平均長)
A10	〃	1570	2	〃	1.56	3	
A11	〃	540	14	〃	0.54	8	
A12	〃	390	15	〃	0.39	6	
						199	

径	質量(kg)
D19	1300
D13	1187
合計	2487

工事名	権現池改良工事		
図面名	B1ブロック配筋図3/4		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮尺	S=1/30	図面番号	27 / 39
事務所名	福山市		

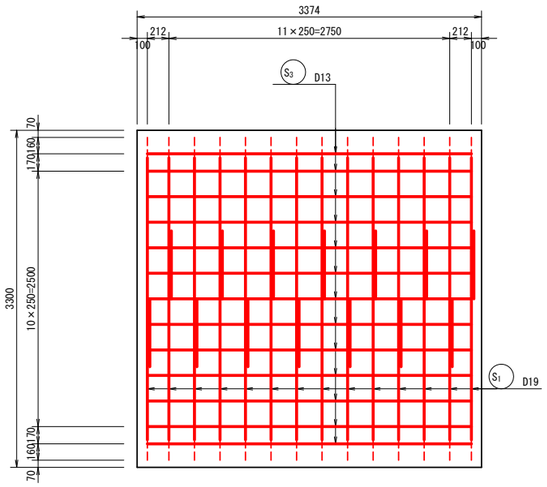
B1ブロック配筋図4/4 S=1:30



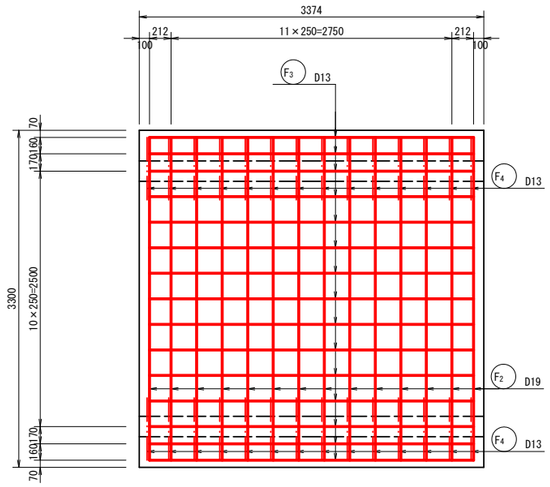
工事名	権現池改良工事		
図面名	B1ブロック配筋図4/4		
作成年月日	2025年（令和7年）9月		
縮尺	S=1/30	図面番号	28 / 39
事務所名	福山市		

B2ブロック配筋図1/3 S=1:30

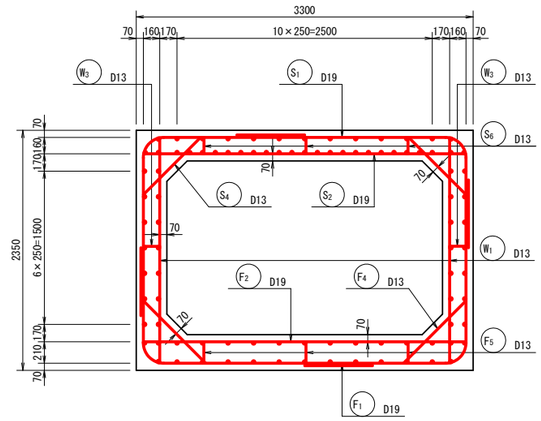
１－１



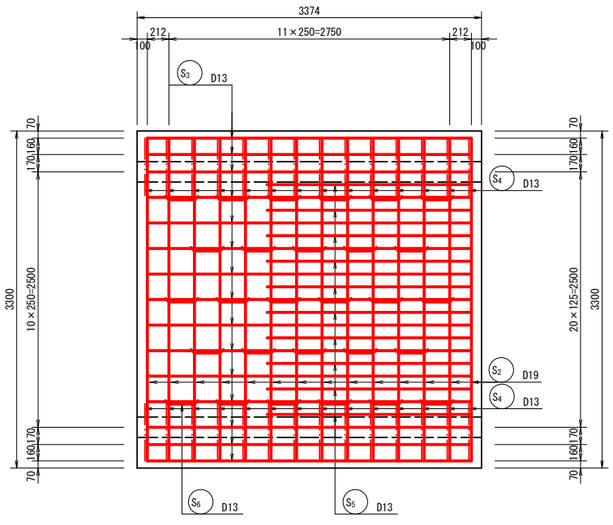
３－３



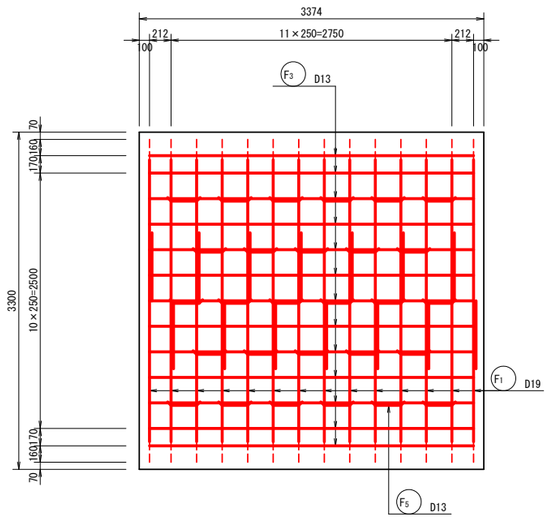
断面図



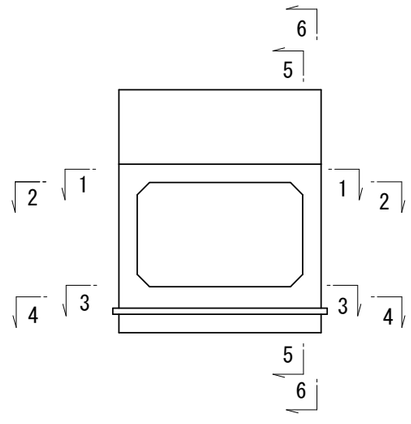
２－２



４－４



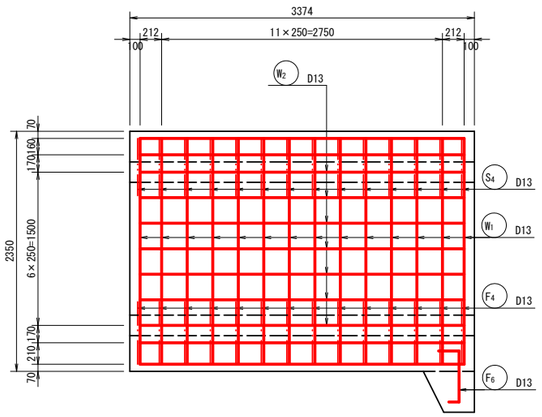
案内図



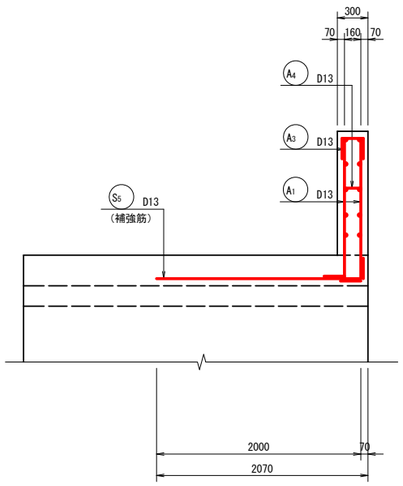
工　事　名	権現池改良工事		
図　面　名	B2ブロック配筋図1/3		
作成年月日	2025年（令和7年）9月		
縮　　尺	S=1/30	図面番号	29 / 39
事務所名	福　　山　　市		

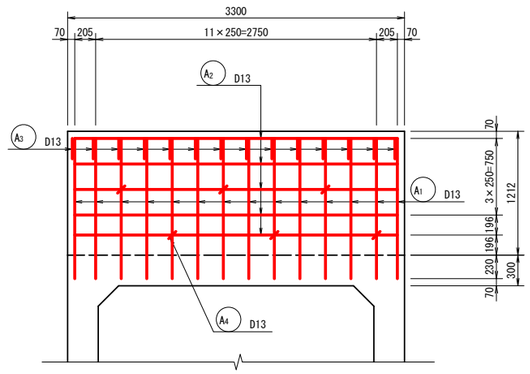
B2ブロック配筋図2/3 S=1:30

５－５
（左右共通）

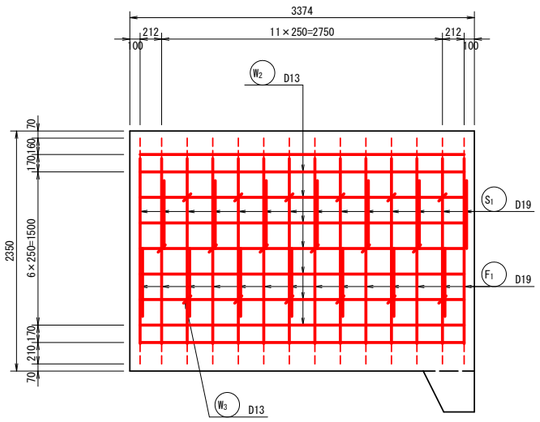


土留め壁
（前後共通）

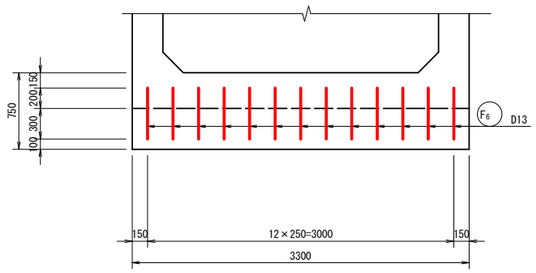




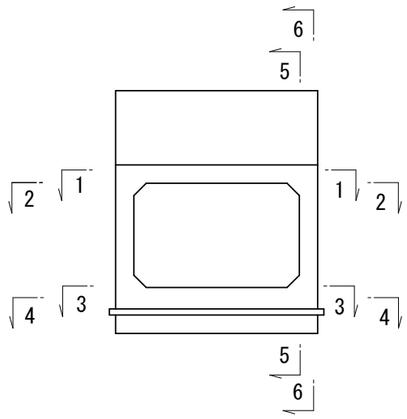
６－６
（左右共通）



止水壁差し筋

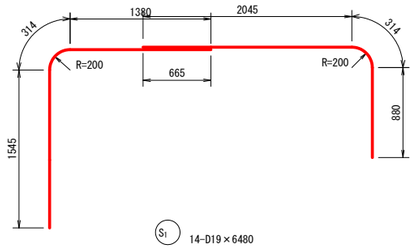


案内図



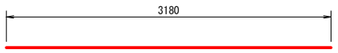
工　事　名	権現池改良工事		
図　面　名	B2ブロック配筋図2/3		
作成年月日	2025年（令和7年）9月		
縮　　尺	S=1/30	図面番号	30 / 39
事 務 所 名	福　　山　　市		

B2ブロック配筋図3/3 S=1:30

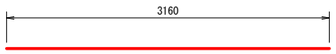


S1 14-D19×6480

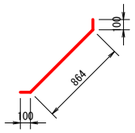
F2 14-D19×3160



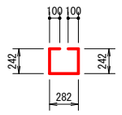
F3 28-D13×3180



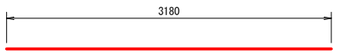
S2 14-D19×3160



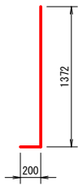
F4 28-D13×1070



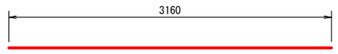
F5 28-D13×970



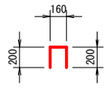
S3 28-D13×3180



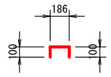
A1 28-D13×1580



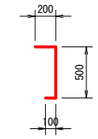
A2 10-D13×3160



A3 14-D13×560

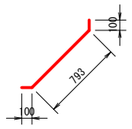


A4 6-D13×390

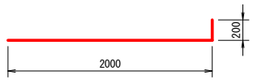


F6 13-D13×800

W1 28-D13×2210

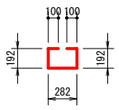


S4 28-D13×1000

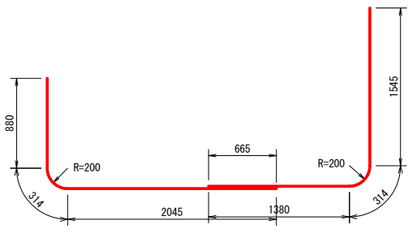


S5 10-D13×2200

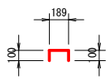
W2 28-D13×3180



S6 28-D13×870



F1 14-D19×6480



W3 36-D13×390

鉄筋質量表(SD345)

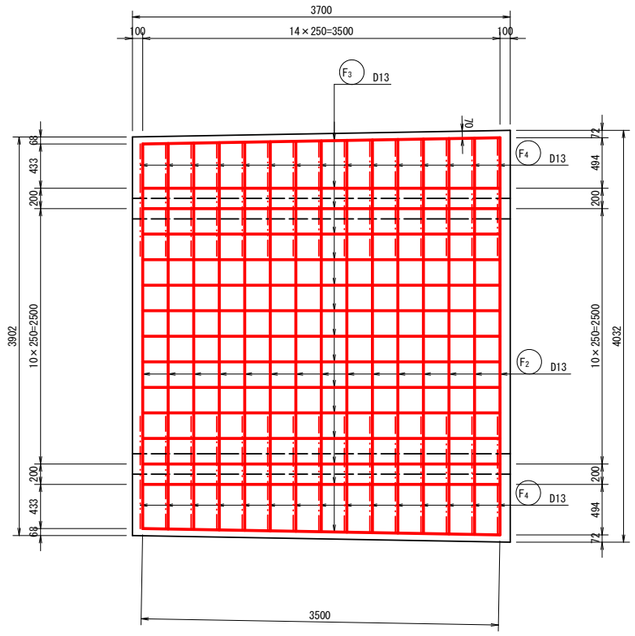
種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
S1	D19	6480	14	2.25	14.58	204	
S2	〃	3160	14	〃	7.11	100	
S3	D13	3180	28	0.995	3.16	88	
S4	〃	1000	28	〃	1.00	28	
S5	〃	2200	10	〃	2.19	22	
S6	〃	870	28	〃	0.87	24	
						466	
F1	D19	6480	14	2.25	14.58	204	
F2	〃	3160	14	〃	7.11	100	
F3	D13	3180	28	0.995	3.16	88	
F4	〃	1070	28	〃	1.06	30	
F5	〃	970	28	〃	0.97	27	
F6	〃	800	13	〃	0.80	10	
						459	
W1	D13	2210	28	0.995	2.20	62	
W2	〃	3180	28	〃	3.16	88	
W3	〃	390	36	〃	0.39	14	
						164	
A1	D13	1580	28	0.995	1.57	44	
A2	〃	3160	10	〃	3.14	31	
A3	〃	560	14	〃	0.56	8	
A4	〃	390	6	〃	0.39	2	
						85	

径	質量(kg)
D19	608
D13	566
合計	1174

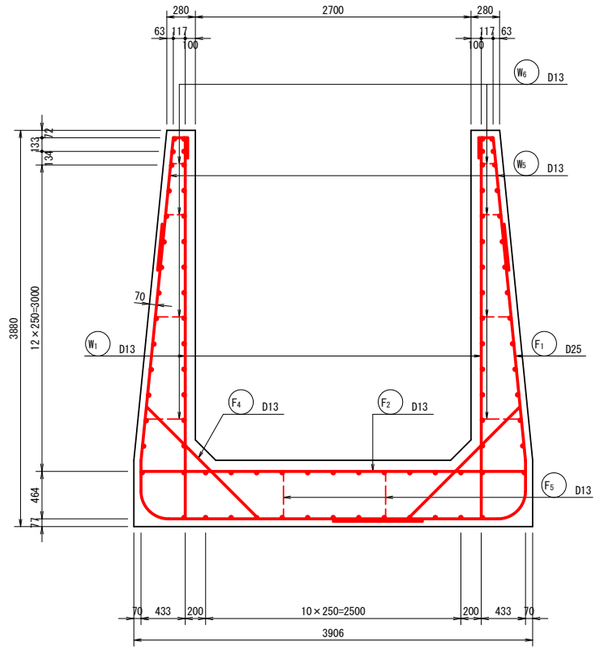
工 事 名	権現池改良工事		
図 面 名	B2ブロック配筋図3/3		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮 尺	S=1/30	図面番号	31 / 39
事務所名	福 山 市		

Cブロック配筋図1/3 S=1:30

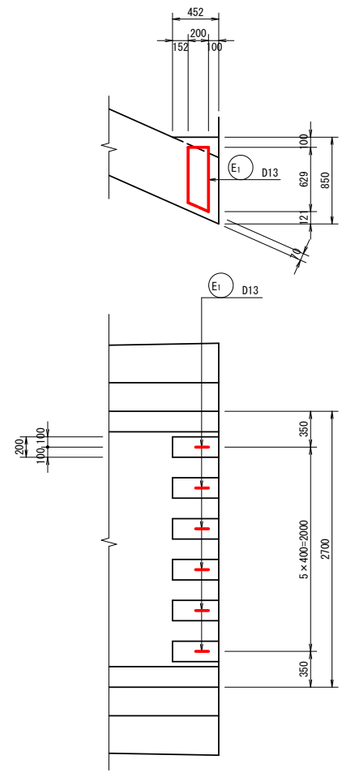
底版上面



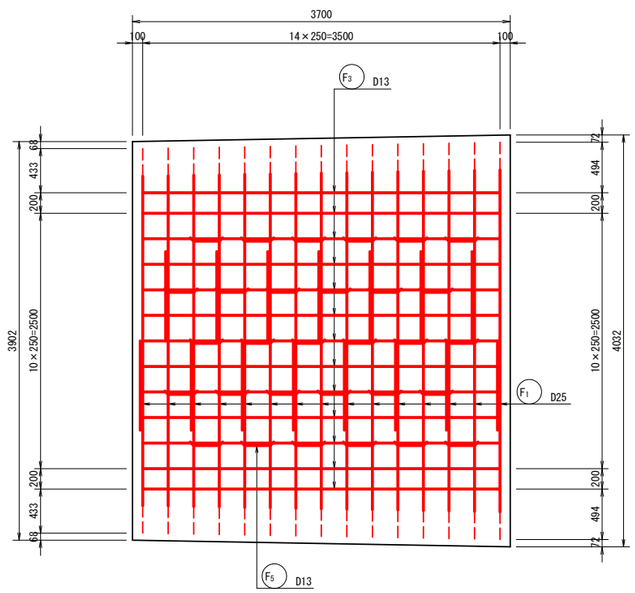
1－1



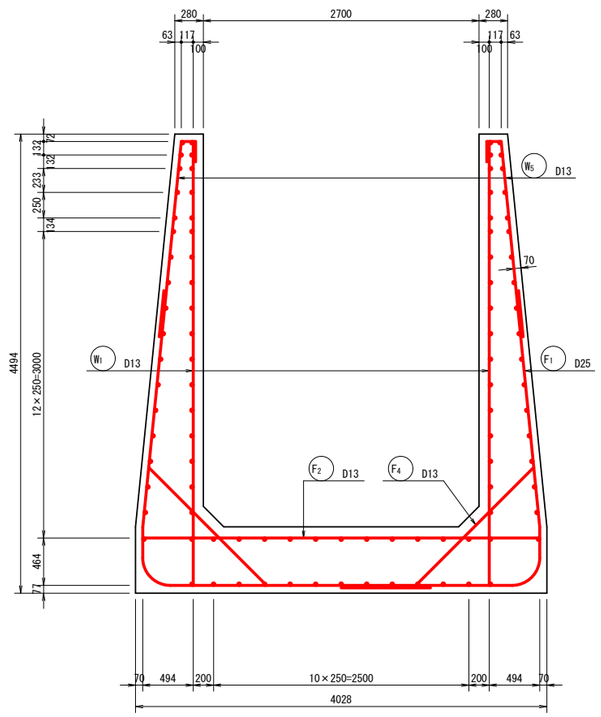
シュートブロック



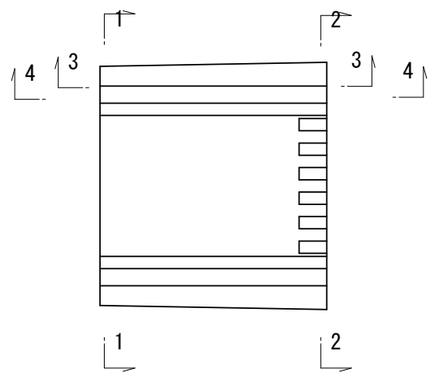
底版下面



2－2



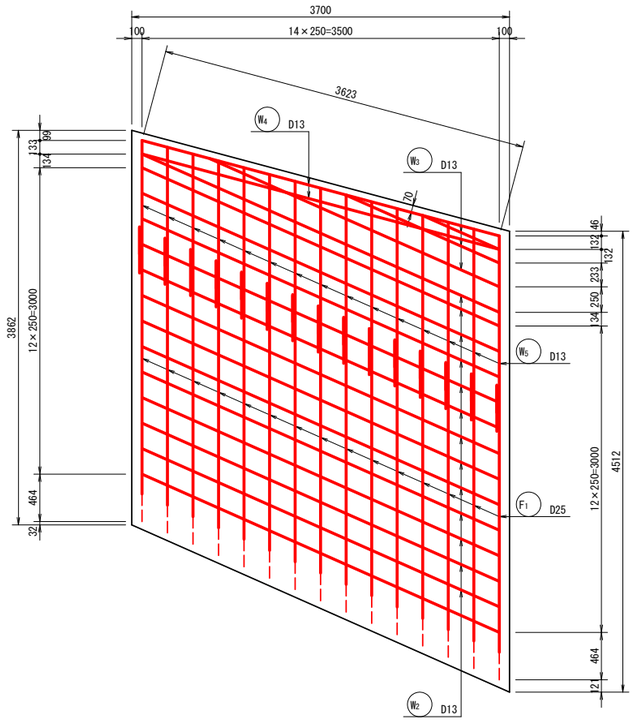
案内図



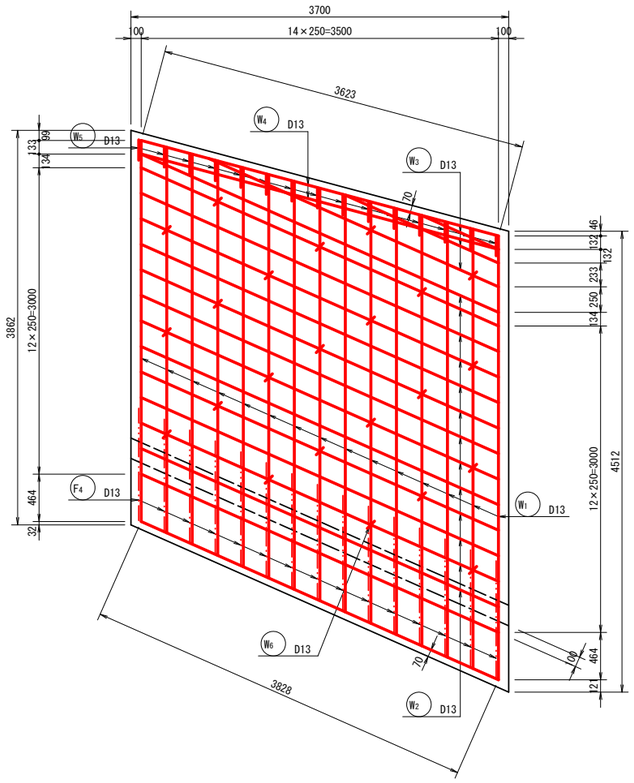
工事名	権現池改良工事		
図面名	Cブロック配筋図1/3		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮尺	S=1/30	図面番号	32 / 39
事務所名	福山市		

Cブロック配筋図2/3 S=1:30

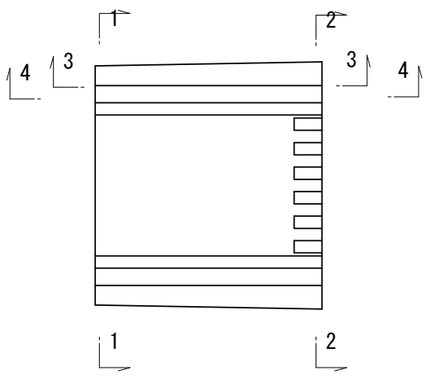
３－３
（左右共通）



４－４
（左右共通）

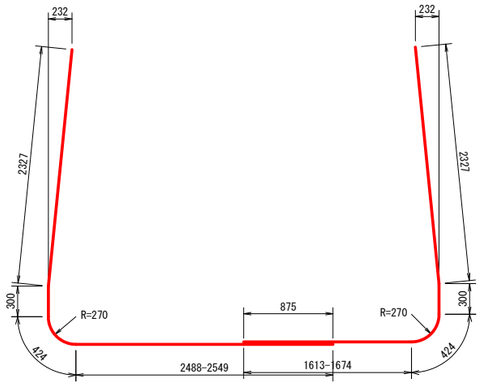


案内図

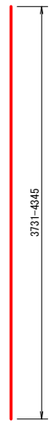


工　事　名	権現池改良工事		
図　面　名	Cブロック配筋図2/3		
作成年月日	2025年（令和7年）9月		
縮　　尺	S=1/30	図面番号	33 / 39
事務所名	福　　山　　市		

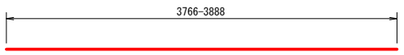
Cブロック配筋図3/3 S=1:30



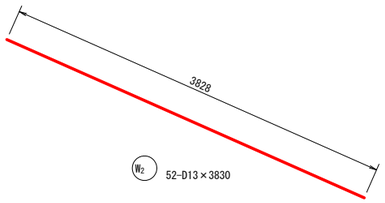
F1 15-D25×10270（平均長）



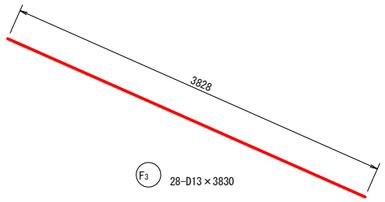
W1 30-D13×4040（平均長）



F2 15-D13×3830（平均長）

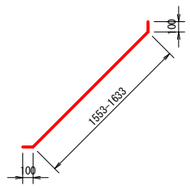


W2 52-D13×3830

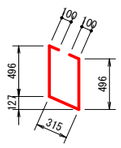


F3 28-D13×3830

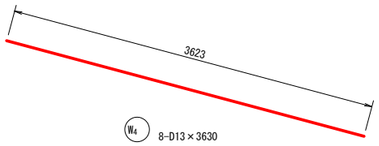
W3 12-D13×1970（平均長）



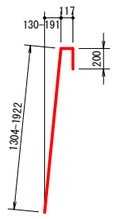
F4 30-D13×1800（平均長）



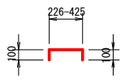
F5 30-D13×1510



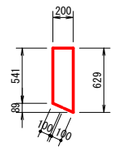
W4 8-D13×3630



W5 30-D13×1930（平均長）



W6 46-D13×530（平均長）



E1 6-D13×1570

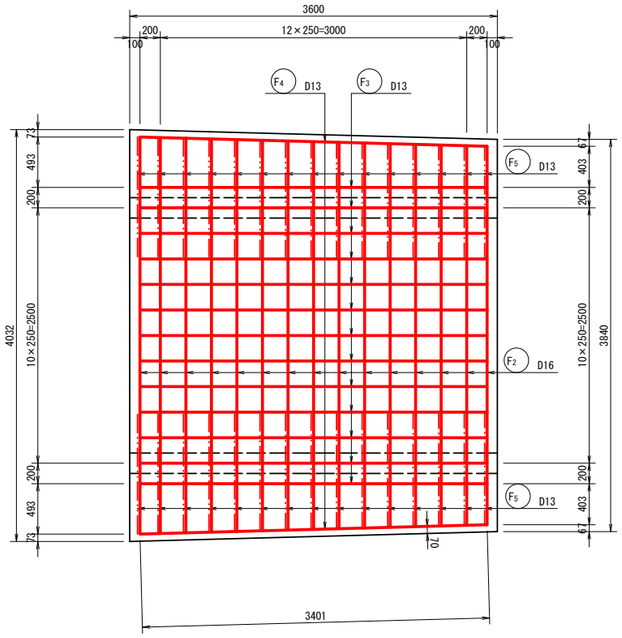
鉄筋質量表(SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
F1	D25	10270	15	3.98	40.87	613	（平均長）
F2	D13	3830	15	0.995	3.81	57	（平均長）
F3	〃	3830	28	〃	3.81	107	
F4	〃	1800	30	〃	1.79	54	（平均長）
F5	〃	1510	30	〃	1.50	45	
						876	
W1	D13	4040	30	0.995	4.02	121	（平均長）
W2	〃	3830	52	〃	3.81	198	
W3	〃	1970	12	〃	1.96	24	（平均長）
W4	〃	3630	8	〃	3.61	29	
W5	〃	1930	30	〃	1.92	58	（平均長）
W6	〃	530	46	〃	0.53	24	（平均長）
						454	
E1	D13	1570	6	0.995	1.56	9	
						9	
					径	質量(kg)	
					D25	613	
					D13	726	
					合計	1339	

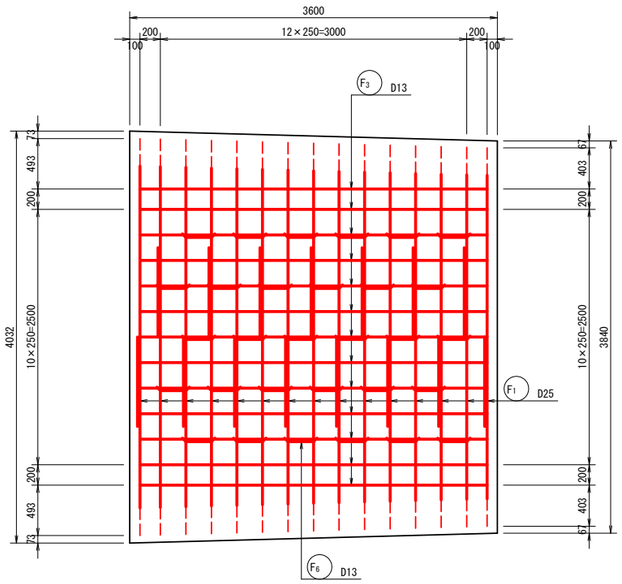
工事名	権現池改良工事		
図面名	Cブロック配筋図3/3		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮尺	S=1/30	図面番号	34 / 39
事務所名	福山市		

Dブロック配筋図1/3 S=1:30

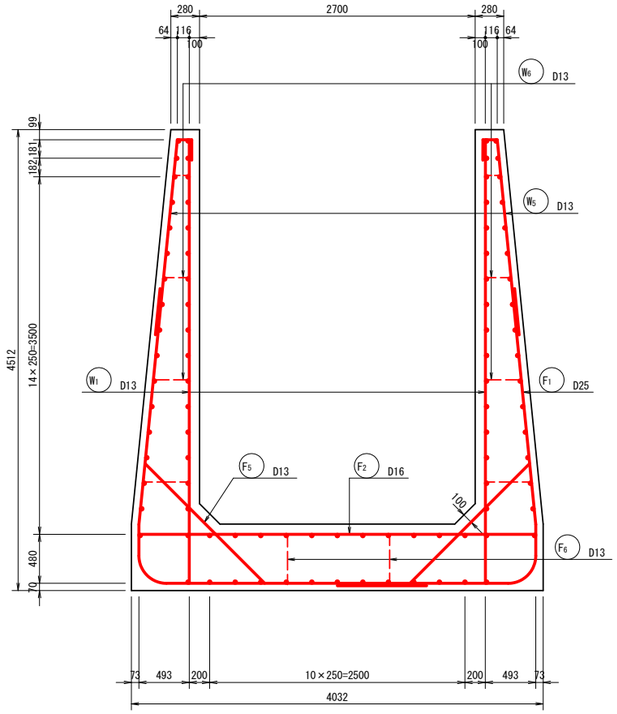
底版上面



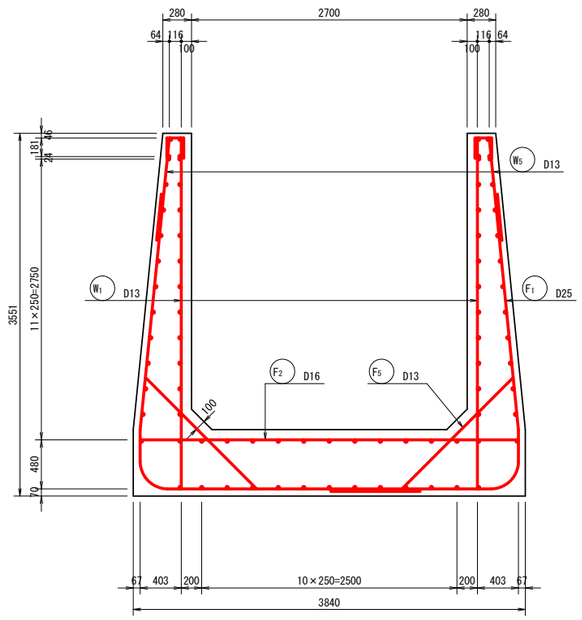
底版下面



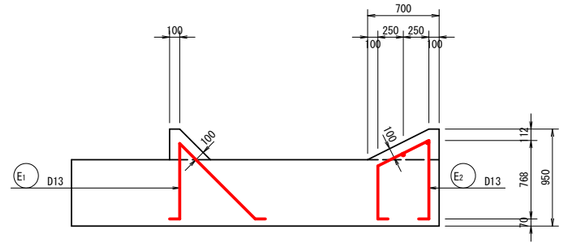
１－１

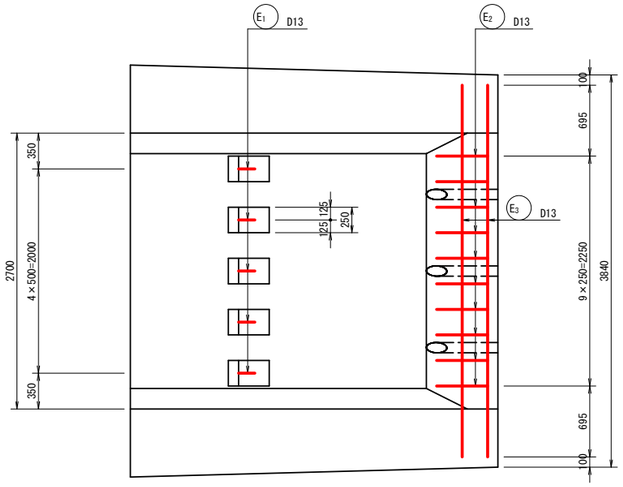


２－２

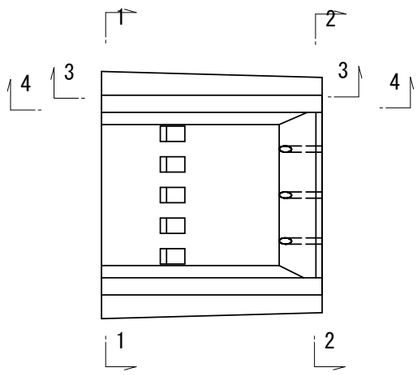


バッフルピア及びエンドシル





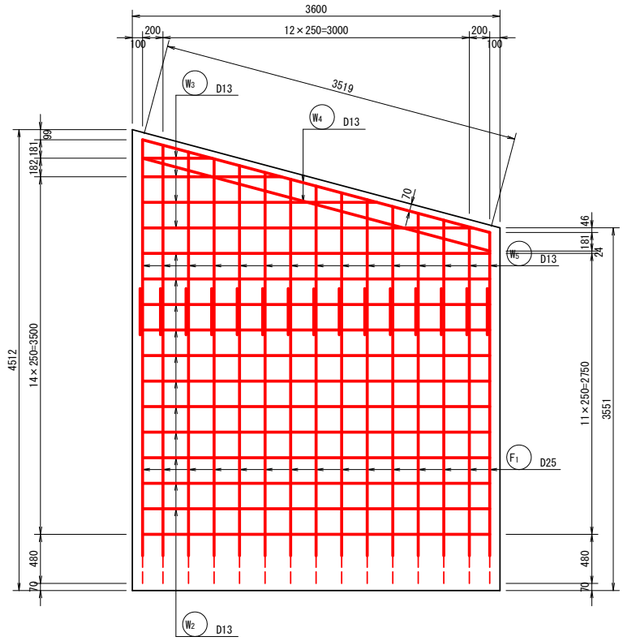
案内図



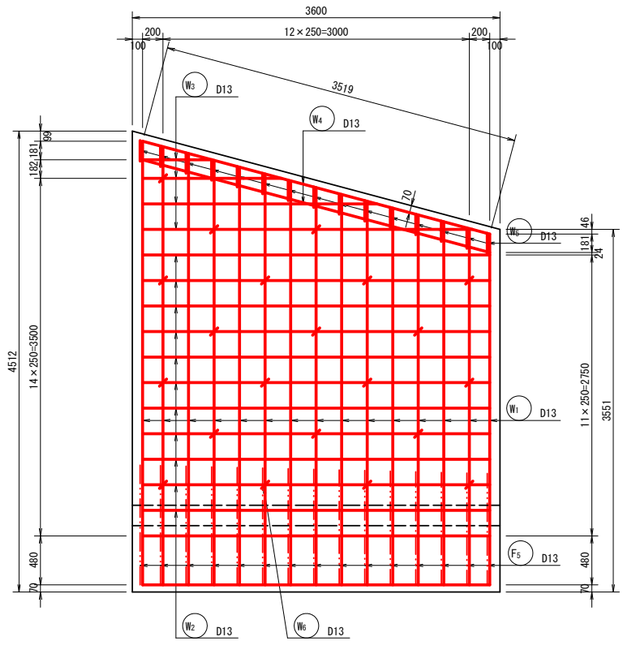
工事名	権現池改良工事		
図面名	Dブロック配筋図1/3		
作成年月日	2025年（令和7年）9月		
縮尺	S=1/30	図面番号	35 / 39
事務所名	福山市		

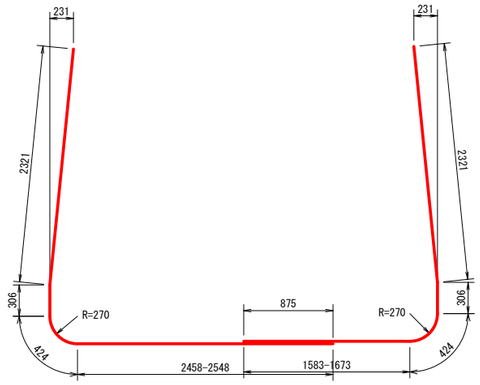
Dブロック配筋図2/3 S=1:30

3－3
（左右共通）

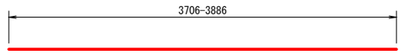


4－4
（左右共通）



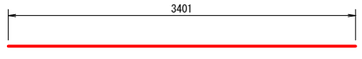


F1 15-D25×10240（平均長）

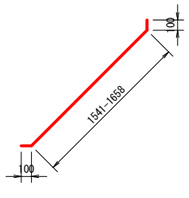


F2 15-D16×3800（平均長）

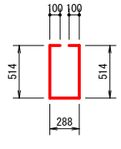
F3 26-D13×3400



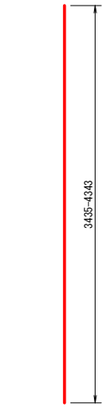
F4 2-D13×3410



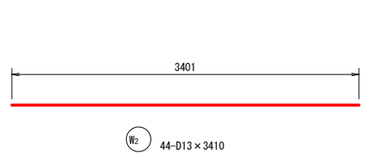
F5 30-D13×1800（平均長）



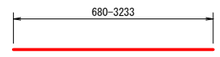
F6 30-D13×1520



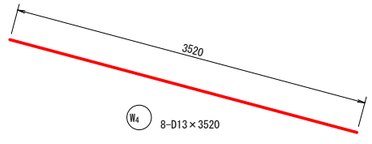
W1 30-D13×3890



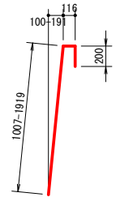
W2 44-D13×3410



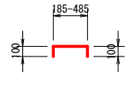
W3 16-D13×1960（平均長）



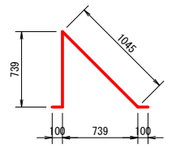
W4 8-D13×3520



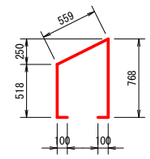
W5 30-D13×1780（平均長）



W6 42-D13×540（平均長）



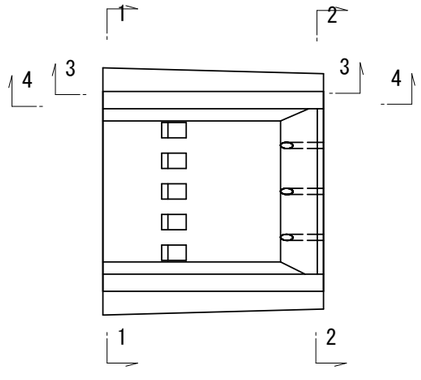
E1 5-D13×1990



E2 10-D13×2050

E3 2-D13×3640

案内図



工事名	権現池改良工事		
図面名	Dブロック配筋図2/3		
作成年月日	2025年（令和7年）9月		
縮尺	S=1/30	図面番号	36 / 39
事務所名	福山市		

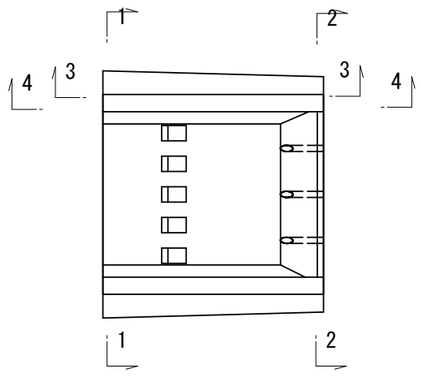
Dブロック配筋図3/3

鉄筋質量表(SD345)

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
F1	D25	10240	15	3.98	40.76	611	(平均長)
F2	D16	3800	15	1.56	5.93	89	(平均長)
F3	D13	3400	26	0.995	3.38	88	
F4	〃	3410	2	〃	3.39	7	
F5	〃	1800	30	〃	1.79	54	(平均長)
F6	〃	1520	30	〃	1.51	45	
						894	
W1	D13	3890	30	0.995	3.87	116	(平均長)
W2	〃	3410	44	〃	3.39	149	
W3	〃	1960	16	〃	1.95	31	(平均長)
W4	〃	3520	8	〃	3.50	28	
W5	〃	1780	30	〃	1.77	53	(平均長)
W6	〃	540	42	〃	0.54	23	(平均長)
						400	
E1	D13	1990	5	0.995	1.98	10	
E2	〃	2050	10	〃	2.04	20	
E3	〃	3640	2	〃	3.62	7	
						37	

径	質量(kg)
D25	611
D16	89
D13	631
合計	1331

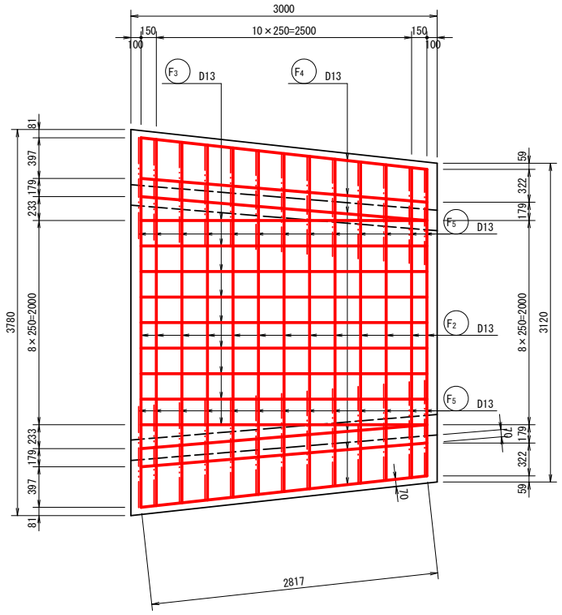
案内図



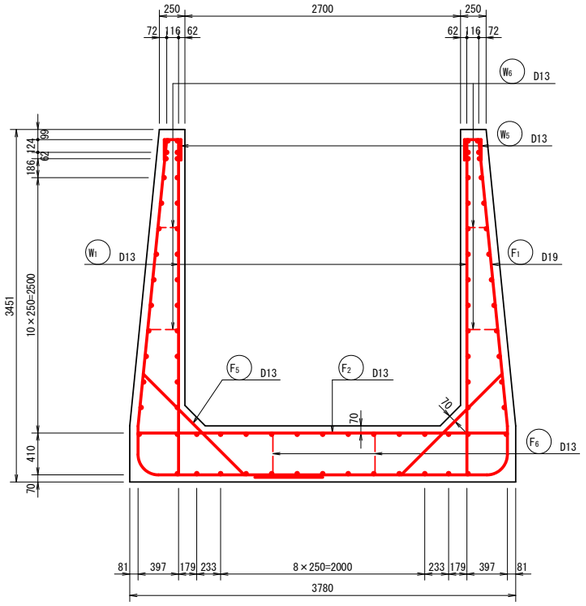
工 事 名	権現池改良工事		
図 面 名	Dブロック配筋図3/3		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮 尺	S= -	図面番号	37 / 39
事 務 所 名	福 山 市		

Eブロック配筋図1/2 S=1:30

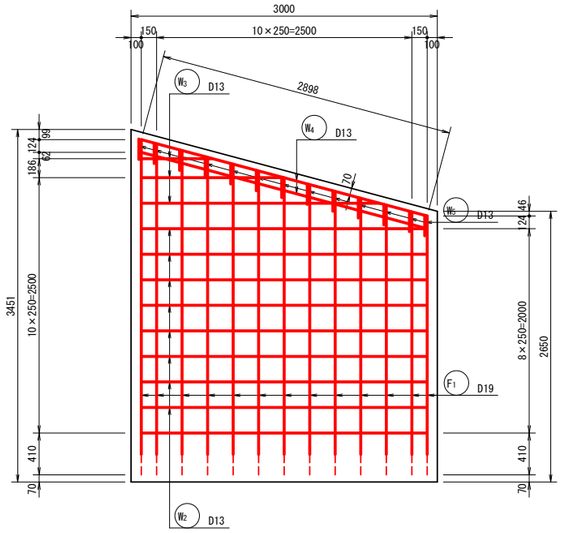
底版上面



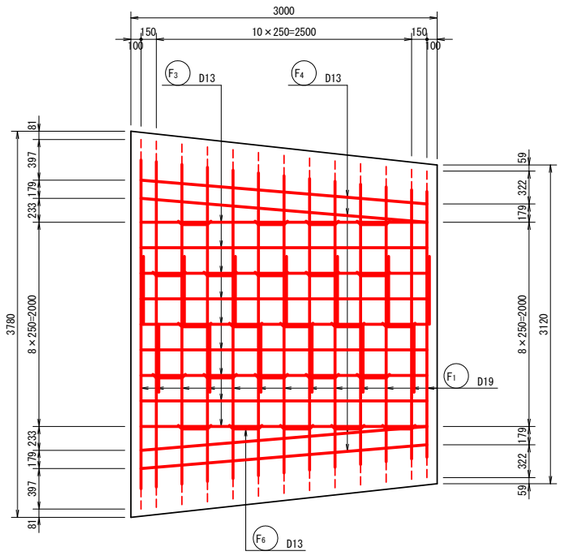
1－1



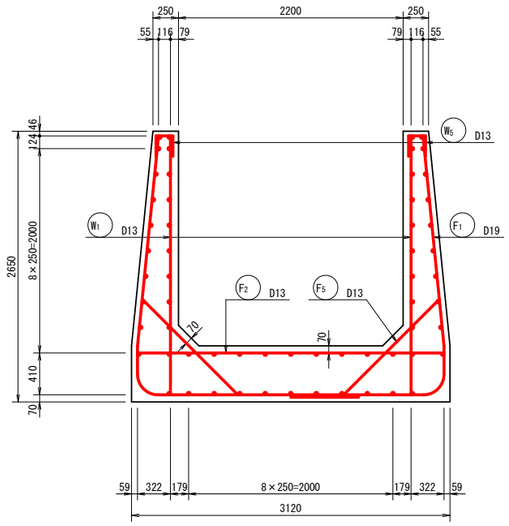
3－3
（左右共通）



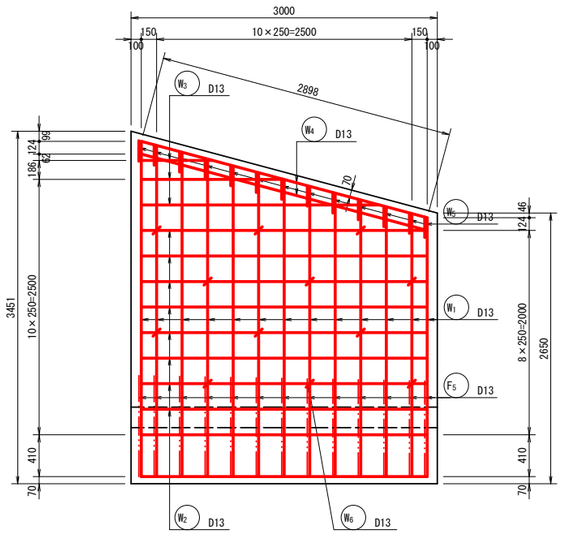
底版下面



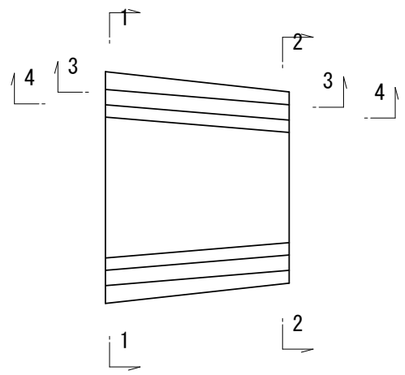
2－2



4－4
（左右共通）

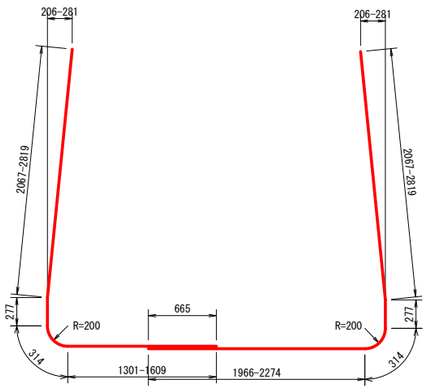


案内図

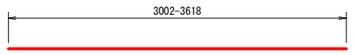


工事名	権現池改良工事		
図面名	Eブロック配筋図1/2		
作成年月日	2025年（令和7年）9月		
縮尺	S=1/30	図面番号	38 / 39
事務所名	福山市		

Eブロック配筋図2/2 S=1:30



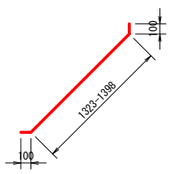
F1 13-D19×9650（平均長）



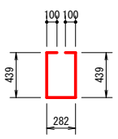
F2 13-D13×3310（平均長）

F3 18-D13×2800

F4 10-D13×2820



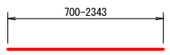
F5 26-D13×1570（平均長）



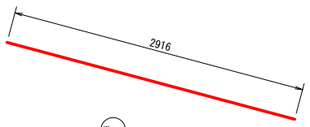
F6 24-D13×1360

W1 26-D13×2910（平均長）

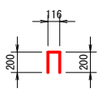
W2 32-D13×2820



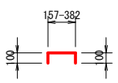
W3 12-D13×1530（平均長）



W4 8-D13×2920



W5 26-D13×520



W6 24-D13×470（平均長）

鉄筋質量表(SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
F1	D19	9650	13	2.25	21.71	282	(平均長)
F2	D13	3310	13	0.995	3.29	43	(平均長)
F3	〃	2800	18	〃	2.79	50	
F4	〃	2820	10	〃	2.81	28	
F5	〃	1570	26	〃	1.56	41	(平均長)
F6	〃	1360	24	〃	1.35	32	
						476	
W1	D13	2910	26	0.995	2.90	75	(平均長)
W2	〃	2820	32	〃	2.81	90	
W3	〃	1530	12	〃	1.52	18	(平均長)
W4	〃	2920	8	〃	2.91	23	
W5	〃	520	26	〃	0.52	14	
W6	〃	470	24	〃	0.47	11	(平均長)
						231	

径	質量(kg)
D19	282
D13	425
合計	707

工事名	権現池改良工事		
図面名	Eブロック配筋図2/2		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮尺	S=1/30	図面番号	39 / 39
事務所名	福山市		

参　考　図　書

施工単価表

表土剥取　SPK24040001　単第 0 -0001号表

土砂 上記以外(小規模)　標準　1 m3 当り

機械構成比: 27.26%　労務構成比: 61.70%　材料構成比: 11.04%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,212.3000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	61.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

掘削　　SPK24040001　　単第　0 -0002号表

土砂 上記以外(小規模)　　標準　　1　m3　当り

機械構成比:　27.26%　労務構成比:　61.70%　材料構成比:　11.04%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　1,212.3000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	61.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=7　標準			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

床掘り　　SPK24040015　　単第　0 -0003号表

土砂 上記以外(小規模)　　1　m3　当り

機械構成比:　19.87%　労務構成比:　72.99%　材料構成比:　7.14%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　2,170.7000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=1　-(全ての費用)			B=5　上記以外(小規模)		

施 工 単 価 表

単第 0 -0004号表

盛土工
幅：W＜1.0

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械併用埋戻(小規模土工)	1	m3			単第 0-0005号表
振動ローラ締固め W<1.0m 路体・築堤	1	m3			単第 0-0008号表
＊＊単位当り＊＊	1	m3			

機械併用埋戻(小規模土工)

施 工 単 価 表

単第 0 -0005号表

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械投入(バックホウ) 土砂 小規模(標準)	1.1	m3			単第 0-0006号表 1*1.1111
埋戻(人力) 砂・砂質土	1.0	m3			単第 0-0007号表
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	m3			
A=1 C=2			B=2 D=0.9 土量換算係数		

施工単価表

機械投入(バックホウ)　SPK24040007　単第 0 -0006号表

土砂　小規模(標準)　1 m3 当り

機械構成比: 27.26%　労務構成比: 61.70%　材料構成比: 11.04%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,068.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	61.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂			B=4　小規模(標準)		

施 工 単 価 表

単第 0 -0007号表

埋戻(人力)
砂・砂質土

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.68	人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊合計＊＊＊	10	m3			
＊＊単位当り＊＊	1	m3			
A=1 砂・砂質土 C=1 締固めを計上しない			B=2 埋戻：人力まき出し		

施 工 単 価 表

振動ローラ締固め　　単第　0 -0008号表

W<1.0m　　路体・築堤　　100　　m3　　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機-31_振動ローラ運転 ハンドガイド式　0.8～1.1t	2.00	日			単第　0-0009号表 100/50
諸雑費	1	式			
＊＊＊合計＊＊＊	100	m3			
＊＊単位当り＊＊	1	m3			
A=2　　W<1.0m			B=2　　路体・築堤		

施 工 単 価 表

単第 0 -0009号表

機-31_振動ローラ運転
ハンドガイド式 0.8～1.1t

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.70	L			
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8～1.1t	1.44	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	日			
A=2 ハンドガイド式 0.8～1.1t C=5.7 軽油消費量 (L/日)			B=1 運転労務数量 (人/日) D=1.44 機械賃料数量 (供用日/日)		

施 工 単 価 表

単第 0 -0010号表

盛土工
幅：1.0m≦W＜2.5m

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械併用埋戻(小規模土工)	1	m3			単第 0-0005号表
振動ローラ締固め 1.0m≦W＜2.5m 路体・築堤	1	m3			単第 0-0011号表
＊＊単位当り＊＊	1	m3			

施 工 単 価 表

振動ローラ締固め　　単第　0 -0011号表

1.0m≦W＜2.5m　　路体・築堤　　100　m3　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機-28_振動ローラ運転（賃料） 搭乗式コンバインド型　3.0～4.0t	1.16	日			単第　0-0012号表 100/86
諸雑費	1	式			
＊＊＊合計＊＊＊	100	m3			
＊＊単位当り＊＊	1	m3			
A=1　　1.0m≦W＜2.5m			B=2　　路体・築堤		

施 工 単 価 表

単第 0 -0012号表

機-28_振動ローラ運転 (賃料)
搭乗式コンバインド型 3.0～4.0t

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	17.00	L			
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.60	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	日			
A=9 搭乗式コンバインド型 3.0～4.0t C=17 軽油消費量 (L／日) E=2 排出ガス対策型			B=1 運転労務数量 (人／日) D=1.6 機械賃料数量 (供用日／日)		

施工単価表

路体(築堤)盛土・埋戻　SPKN2404004　単第 0 -0013号表

施工幅員2.5m以上4.0m未満　1 m3 当り

機械構成比: 15.86%　労務構成比: 75.54%　材料構成比: 8.60%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 827.0300

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.30%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	7.56%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	66.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.60%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施工単価表

路体(築堤)盛土・埋戻　SPKN2404004　単第 0 -0014号表

施工幅員4.0m以上　施工数量20,000m3未満 障害無し　1 m3 当り

機械構成比: 17.97%　労務構成比: 66.93%　材料構成比: 15.10%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 231.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	11.28%		<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11～12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	6.69%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11～12t		KTPC00058 KTPT00058
運転手(特殊)	46.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	20.63%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	15.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量20,000m3未満		

施工単価表

安定処理　SPK24040024　単第 0 -0015号表

混合深さ1m以下 10t/100m2　セメント系固化材 一般軟弱土用　1 m2 当り

機械構成比: 6.32%　労務構成比: 41.35%　材料構成比: 52.33%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 2,140.7000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	5.65%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.6～0.7t	0.67%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.6～0.7t		KTPC00071 KTPT00071
土木一般世話役	11.15%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	10.68%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	10.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.22%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコンパック 【地区単価×固化材100m2当り使用量(t)】	47.61%		セメント系固化材 特殊土用・フレコン・1tパック 【標準数量 5.25t/100m2】		TTPC00050 TTPT00397
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

施工単価表

安定処理　SPK24040024　単第 0 -0015号表

混合深さ1m以下 10t/100m2　セメント系固化材 一般軟弱土用　1 m2 当り

機械構成比: 6.32%　労務構成比: 41.35%　材料構成比: 52.33%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 2,140.7000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
A=2 バックホウ C=3 混合深さ1m以下 F=1 セメント系固化材 一般軟弱土用			B=2 構造物基礎 D=10 固化材100m2当り使用量(実数入力)(t)		
【固化材単価】 固化材単価(円) * 固化材100m2当り使用量(t) 固化材100m2当り使用量(t):10.000(t)					

施工単価表

法面整形　SPK24040025　単第 0 -0016号表

盛土部 法面締固め有り 現場制約有り　砂及び砂質土,粘性土　1 m2 当り

機械構成比: 0.35%　労務構成比: 99.17%　材料構成比: 0.48%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,484.9000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.35%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	69.23%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	15.56%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	14.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.48%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 盛土部 C=1 現場制約有り E=1 -(全ての費用)			B=1 法面締固め有り D=1 砂及び砂質土,粘性土		

施工単価表

土砂等運搬（表土）　SPK24040002　単第 0 -0017号表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間有り　距離15.0km以下(11.0km超)　1　m3　当り

機械構成比: 18.57%　労務構成比: 72.35%　材料構成比: 9.08%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 7,121.8000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=48　距離15.0km以下(11.0km超)			B=6　バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=2　DID区間有り		

施工単価表

土砂等運搬（粘性土）　SPK24040002　単第 0 -0018号表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間有り　距離5.0km以下(4.5km超)　1　m3　当り

機械構成比: 18.57%　労務構成比: 72.35%　材料構成比: 9.08%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 3,406.1000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=24　距離5.0km以下(4.5km超)			B=6　バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=2　DID区間有り		

施 工 単 価 表

単第 0 -0019号表

芝付工
全面張　人工芝（幅 100cm程度）　10　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.06	人			
普通作業員	0.17	人			
張芝 幅50cm～100cm,ネット付	10.8	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊合計＊＊＊	10	m2			
＊＊単位当り＊＊	1	m2			
A=2　全面張　人工芝（幅 100cm程度）					

施 工 単 価 表

コンクリートブロック張工　　単第　0 -0020号表

目地モルタルを使用しない場合　　ブロック厚さ　12cm　　10　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.15	人			
ブロック工	0.30	人			
普通作業員	0.43	人			
張りブロック 質量170kg/m2以上,厚120mm	10.0	m2			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.45m3	0.30	日			単第　0-0021号表
諸雑費	1	式			
＊＊＊合計＊＊＊	10	m2			
＊＊単位当り＊＊	1	m2			
A=2　目地モルタルを使用しない場合 C=7200　張ブロック単価（円／m2）			B=2　ブロック厚さ　12cm		

施 工 単 価 表

単第 0 -0021号表

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊_山積0.45m3

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	52.00	L			
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.45m3(平積0.35)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.35	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	日			
A=9 クレーン付2.9t吊_山積0.45m3 C=1 運転労務数量(人/日)			B=52 軽油消費量(L/日) D=1.35 機械賃料数量(供用日/日)		

施 工 単 価 表

単第 0 -0022号表

コンクリートブロック張工
目地モルタルを使用しない場合　　ブロック厚さ 12cm　　10 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.15	人			
ブロック工	0.30	人			
普通作業員	0.43	人			
張りブロック 質量170kg/m2以上,厚120mm	10.0	m2			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.45m3	0.30	日			単第 0-0021号表
諸雑費	1	式			
＊＊＊合計＊＊＊	10	m2			
＊＊単位当り＊＊	1	m2			
A=2 目地モルタルを使用しない場合 C=10800 張ブロック単価（円／m2）			B=2 ブロック厚さ 12cm		

施 工 単 価 表

コンクリートブロック張工(手間のみ)　　単第　0 -0023号表

目地モルタルを使用しない場合　　ブロック厚さ　12cm　　発注者より支給　　10　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.15	人			
ブロック工	0.3	人			
普通作業員	0.43	人			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.45m3	0.3	日			単第　0-0021号表
諸雑費	1	式			
＊＊＊合計＊＊＊	10	m2			
＊＊単位当り＊＊	1	m2			

基礎コンクリート

施 工 単 価 表

単第 0 -0024号表

張ブロック 10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	1.4	m3			単第 0-0025号表
型枠 一般型枠 小型構造物	10.2	m2			単第 0-0026号表
＊＊＊合計＊＊＊	10	m			
＊＊単位当り＊＊	1	m			

施工単価表

コンクリート　SPK24040153　単第 0 -0025号表

小型構造物 18-8-40BB　人力打設　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 47.07%　材料構成比: 52.93%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 37,056.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	29.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.50%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	52.93%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=1 現場内小運搬有り K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

型枠　SPK24040155　単第 0 -0026号表

一般型枠　小型構造物　1 m2 当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 8,483.4000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	43.77%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	31.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施 工 単 価 表

裏込工(ブロック張)　　単第 0 -0027号表

ブロック張り　　再生クラッシャーラン（ＲＣ－４０）　　10　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.40	人			
普通作業員	0.80	人			
再生クラッシャラン 40～0mm	11.1	m3			
諸雑費	16	%			
＊＊＊合計＊＊＊	10	m3			
＊＊単位当り＊＊	1	m3			
A=4　再生クラッシャーラン（ＲＣ－４０） C=3000　裏込材単価（円／ｍ３）			B=2　ブロック張り		

天端コンクリート

施 工 単 価 表

単第 0 -0028号表

張ブロック 10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	1.0	m3			単第 0-0025号表
型枠 一般型枠 小型構造物	5.4	m2			単第 0-0026号表
＊＊＊合計＊＊＊	10	m			
＊＊単位当り＊＊	1	m			

施 工 単 価 表

コンクリートブロック積工(練積)　　単第 0 -0029号表

滑面ブロック　18-8-40BB　1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_ブロック積工【手間のみ】 時間的制約なし	1.000	m2			
コンクリート積みブロック-滑面-<JISA5371> 280×420×350,参考質量41.2kg以上 8.5個/m2	8.500	個			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.112	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.112	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	m2			
A=1 昼間施工 C=1 18-8-40BB F=1 18-8-40BB			B=1 - E=2 小型車割増有 H=0.1 裏込コンクリートの厚さ(m)		
I=1 滑面ブロック L=1 時間的制約なし			K=8.5 ブロックm2当り使用量(個/m2)		

施工単価表

裏込砕石　SPK24040035　単第 0 -0030号表

砕石(各種)　1 m3 当り

機械構成比: 4.40%　労務構成比: 68.06%　材料構成比: 27.54%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 6,281.2000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	4.38%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	33.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.53%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	11.59%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
RC-40（小型車割増）	22.92%		再生クラッシャーラン RC-40		F0000000001 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.60%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

裏込砕石　　SPK24040035　　単第　0 -0030号表

砕石(各種)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　4.40%　労務構成比:　68.06%　材料構成比:　27.54%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　6,281.2000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=3　砕石(各種) C=1　-(全ての費用)			B=1　【F】砕石(m3)		

コンクリートブロック基礎（1号ブロック積

施 工 単 価 表

単第 0 -0031号表

1号ブロック積擁壁　　10　　m　　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	1.9	m3			単第 0-0025号表
型枠 一般型枠 小型構造物	6.5	m2			単第 0-0026号表
＊＊＊合計＊＊＊	10	m			
＊＊単位当り＊＊	1	m			

施工単価表

現場打小口止コンクリート　SPK24040050　単第 0 -0032号表

18-8-40BB　一般養生　1 m3 当り

機械構成比: 1.98%　労務構成比: 68.57%　材料構成比: 29.45%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 67,388.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.98%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	22.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
型わく工	21.22%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
土木一般世話役	10.63%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	5.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	28.42%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

施工単価表

現場打小口止コンクリート　SPK24040050　単第　0 -0032号表

18-8-40BB　一般養生　1　m3　当り

機械構成比:　1.98%　労務構成比:　68.57%　材料構成比:　29.45%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　67,388.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
A=2　18-8-40BB D=2　小型車割増有			C=1　一般養生		

コンクリートブロック基礎（2号ブロック積

施 工 単 価 表

単第 0 -0033号表

2号ブロック積擁壁 10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	1.9	m3			単第 0-0025号表
型枠 一般型枠 小型構造物	6.5	m2			単第 0-0026号表
＊＊＊合計＊＊＊	10	m			
＊＊単位当り＊＊	1	m			

施工単価表

コンクリート　SPK24040153　単第 0 -0034号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB　人力打設　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 36.88%　材料構成比: 63.12%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 31,375.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	21.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	6.72%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	5.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	63.12%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=1 現場内小運搬有り K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

型枠　SPK24040155　単第 0 -0035号表

一般型枠　鉄筋・無筋構造物　1 m2 当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 9,352.2000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.19%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

基礎コンクリート　SPK24040153　単第 0 -0036号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB　人力打設　1 m3 当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 36.88%　材料構成比: 63.12%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 31,375.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	21.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	6.72%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	5.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	63.12%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=1 現場内小運搬有り K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

型枠（基礎コンクリート）　SPK24040155　単第 0 -0037号表

一般型枠　均しコンクリート　1 m2 当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 4,714.1000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	58.35%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	20.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.13%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		

施工単価表

目地板　SPK24040122　単第 0 -0038号表

1工事当り使用量30m2未満　瀝青繊維質目地板t=10mm　1 m2 当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 63.93%　材料構成比: 36.07%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 3,855.3000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	47.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
目地板 瀝青繊維質板 厚10mm	36.07%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1　1工事当り使用量30m2未満			B=1　瀝青繊維質目地板t=10mm		

排水孔（1号コンクリート擁壁）

施 工 単 価 表

単第　0 -0039号表

1　　箇所　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径150(165×5.1)	0.446	m			
＊＊単位当り＊＊	1	箇所			

排水孔（2号コンクリート擁壁）

施 工 単 価 表

単第 0 -0040号表

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径150(165×5.1)	0.768	m			
＊＊単位当り＊＊	1	箇所			

施 工 単 価 表

単第 0 -0041号表

コンクリート舗装（人力）

圧縮18N/mm2粗骨材20mm（BB）ｽﾗﾝﾌﾟ8cm　舗装厚10cm　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.50	人			
特殊作業員	1.10	人			
普通作業員	2.10	人			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	10.60	m3			10*1.06
諸雑費	2.00	%			
＊＊＊合計＊＊＊	100	m2			
＊＊単位当り＊＊	1	m2			
A=2　圧縮18N/mm2粗骨材20mm（BB）ｽﾗﾝﾌﾟ8cm C=23980　生コンクリート単価(円)(普通ｺﾝｸﾘｰﾄ単価)			B=10　舗設厚（cm） D=2　小型車割増あり		

施 工 単 価 表

単第 0 -0042号表

一般養生工
無筋構造物

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.08	人			
普通作業員	0.25	人			
雑材料	10	%			
＊＊＊合計＊＊＊	10	m3			
＊＊単位当り＊＊	1	m3			

施 工 単 価 表

人力小運搬（土砂類、生コン、木材）　　単第　0 -0043号表

生コンクリート　　２０m未満　　1　m3　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.13	人			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	m3			
A=2　生コンクリート			B=1　２０m未満		

施工単価表

上層路盤(歩道部)　SPK24040235　単第 0 -0044号表

全仕上り厚100mm 1層施工　路盤材(各種)　1 m2 当り

機械構成比: 5.20%　労務構成比: 67.43%　材料構成比: 27.37%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 848.3900

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.69%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.36%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	28.22%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.35%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
RC-40（小型車割増）	25.44%		再生粒度調整砕石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		F0000000001 TTPT00360
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

上層路盤(歩道部)　SPK24040235　単第 0 -0044号表

全仕上り厚100mm 1層施工　路盤材(各種)　1 m2 当り

機械構成比: 5.20%　労務構成比: 67.43%　材料構成比: 27.37%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 848.3900

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) C=1 【F】路盤材(m3)			B=4 路盤材(各種) D=1 -(全ての費用)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK24040241　単第 0 -0045号表

平均幅員1.4m以上3.0m以下　1層当り平均仕上厚50mm　1 m2 当り

機械構成比: 1.61%　労務構成比: 13.99%　材料構成比: 84.40%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,934.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4～3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.03%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4～3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.21%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.19%		タイヤローラ 質量3～4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	3.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	3.18%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.15%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK24040241　単第 0 -0045号表

平均幅員1.4m以上3.0m以下　1層当り平均仕上厚50mm　1 m2 当り

機械構成比: 1.61%　労務構成比: 13.99%　材料構成比: 84.40%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,934.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	77.40%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	6.70%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.27%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=2 小型車割増有 I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)　SPK24040234　単第 0 -0046号表

粒度調整・路盤材(各種)　全仕上り厚100mm 1層施工　1 m2 当り

機械構成比: 9.88%　労務構成比: 33.13%　材料構成比: 56.99%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 569.6700

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	3.96%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.13%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.01%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	15.46%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	5.15%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	5.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)　SPK24040234　単第 0 -0046号表

粒度調整・路盤材(各種)　全仕上り厚100mm 1層施工　1 m2 当り

機械構成比: 9.88%　労務構成比: 33.13%　材料構成比: 56.99%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 569.6700

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
RM-30 (小型車割増)	53.57%		再生粒度調整砕石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0080 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=8 粒度調整・路盤材(各種) H=1 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)　SPK24040232　単第 0 -0047号表

全仕上り厚100㎜ 1層施工　路盤材(各種)　1 m2 当り

機械構成比: 4.67%　労務構成比: 15.69%　材料構成比: 79.64%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,202.1000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	1.87%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	1.48%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.48%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	7.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	2.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	0.72%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)　SPK24040232　単第 0 -0047号表

全仕上り厚100㎜ 1層施工　路盤材(各種)　1 m2 当り

機械構成比: 4.67%　労務構成比: 15.69%　材料構成比: 79.64%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,202.1000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
RC-40 (小型車割増)	78.02%		クラッシャラン 40～0㎜ [標準数量]全仕上り厚150㎜		F0000000001 TTPT00346
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(㎜) C=1 【F】路盤材(m3)			B=5 路盤材(各種) D=1 -(全ての費用)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(㎜)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(㎜):100.000(㎜)					

施 工 単 価 表

横断・転落防止柵 PCブロック建込　　単第 0 -0048号表

ビーム式・パネル式 [規]100m未満　　プレキャストCoブロック建込　　1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
設置【手間のみ】 プレキャストコンクリートブロック建込 ビーム式・パネル式(支柱間隔3m)	1.000	m			
転落防止柵-標準品-4段ビーム型,白色 2.3×φ42.7×3000 プレキャストCoブロック建込	1.000	m			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	m			
A=1 ビーム式・パネル式 D=2 [規]100m未満			B=10 転落防止柵-標準品-4段ビーム型,白色 F=1 -		

構造物とりこわし工(無筋構造物)

施 工 単 価 表

単第 0 -0049号表

人力施工

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 人力施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	m3			
A=1 昼間施工 D=1 時間的制約なし			B=2 人力施工		

施 工 単 価 表

単第 0 -0050号表

石積類人力とりこわし
空石積　控４５cm未満

1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.20	人			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	m2			
A=2　空石積　控４５cm未満					

施工単価表

舗装版破砕積込(小規模土工)　SPK24040018　単第 0 -0051号表

1 m2 当り

機械構成比: 20.80%　労務構成比: 71.28%　材料構成比: 7.92%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,690.8000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.80%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬（コンクリート殻）　SPK24040151　単第 0 -0052号表

Co(無筋)構造物とりこわし　DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)　1　m3　当り

機械構成比: 41.69%　労務構成比: 43.88%　材料構成比: 14.43%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 3,216.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=61 運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

施工単価表

殻運搬（アスファルト殻）　SPK24040151　単第 0 -0053号表

舗装版破砕　DID区間無し 運搬距離5.5km以下(4.5km超)　1 m3 当り

機械構成比: 18.57%　労務構成比: 72.35%　材料構成比: 9.08%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 4,427.9000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破砕 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=24 運搬距離5.5km以下(4.5km超)		

施工単価表

土砂等運搬（岩塊等）　SPK24040002　単第 0 -0054号表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間無し　距離5.5km以下(4.5km超)　1　m3　当り

機械構成比: 18.57%　労務構成比: 72.35%　材料構成比: 9.08%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 3,406.1000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=26　距離5.5km以下(4.5km超)			B=6　バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1　DID区間無し		

施 工 単 価 表

単第 0 -0055号表

盛土工

幅：W＝0.5

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械併用埋戻(小規模土工)	1	m3			単第 0-0056号表
＊＊単位当り＊＊	1	m3			

機械併用埋戻(小規模土工)

施 工 単 価 表

単第 0 -0056号表

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械投入(バックホウ) 土砂 小規模(標準)	1.1	m3			単第 0-0006号表 1*1.1111
埋戻(人力) 砂・砂質土	1.0	m3			単第 0-0057号表
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	m3			
A=6 C=2			B=2 D=0.9 土量換算係数		

施 工 単 価 表

単第 0 -0057号表

埋戻(人力)
砂・砂質土

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.34	人			
普通作業員	0.68	人			
諸雑費	10.00	%			
＊＊＊合計＊＊＊	10	m3			
＊＊単位当り＊＊	1	m3			
A=1 砂・砂質土 C=6 振動コンパクタ（II）			B=2 埋戻：人力まき出し		

施工単価表

法面整形　SPK24040025　単第 0 -0058号表

切土部　現場制約有り　レキ質土,砂及び砂質土,粘性土　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 1,612.4000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	87.46%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 切土部 D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土			C=1 現場制約有り E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

型枠　SPK24040155　単第 0 -0059号表

一般型枠　均しコンクリート　1 m2 当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 4,714.1000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	58.35%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	20.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.13%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		

施工単価表

コンクリート　SPK24040153　単第 0 -0060号表

無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種)　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 4.11%　労務構成比: 16.85%　材料構成比: 79.04%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 25,326.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h	4.07%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	8.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	2.96%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.84%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	1.83%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
生コンクリート 呼び強度（21N/mm2）、スランプ（8ｃｍ） W/C（55%以下）、種別（高炉B種）	78.22%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		F0000000004 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.82%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

コンクリート　SPK24040153　単第 0 -0060号表

無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種)　コンクリートポンプ車打設　1　m3　当り

機械構成比: 4.11%　労務構成比: 16.85%　材料構成比: 79.04%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 25,326.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=4 コンクリート(各種) E=1 設計日打設量10m3以上100m3未満 G=1 圧送管延長距離延長無し			B=1 コンクリートポンプ車打設 D=4 【F】コンクリート(m3) F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		
K=1 -(全ての費用)					

施 工 単 価 表

鉄筋工（D25）　　単第 0 -0061号表

SD345_D16～D25　　一般構造物 [規]10t未満　　1 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
加工・組立【手間のみ】 一般構造物	1.000	t			
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D16～25	1.030	t			1*1.03
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	t			
A=1 - D=1 一般構造物 F=2 [規]10t未満			B=6 SD345_D16～D25 E=1 - H=1 -		
I=1 - K=1 -			J=1 -		

施 工 単 価 表

鉄筋工（D19）　　単第 0 -0062号表

SD345_D16～D25　　一般構造物 [規]10t未満　　1 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
加工・組立【手間のみ】 一般構造物	1.000	t			
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D16～25	1.030	t			1*1.03
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	t			
A=1 - D=1 一般構造物 F=2 [規]10t未満			B=6 SD345_D16～D25 E=1 - H=1 -		
I=1 - K=1 -			J=1 -		

施 工 単 価 表

鉄筋工（D16）　　単第 0 -0063号表

SD345_D16～D25　　一般構造物 [規]10t未満　　1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
加工・組立【手間のみ】 一般構造物	1.000	t			
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D16～25	1.030	t			1*1.03
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	t			
A=1 - D=1 一般構造物 F=2 [規]10t未満			B=6 SD345_D16～D25 E=1 - H=1 -		
I=1 - K=1 -			J=1 -		

施 工 単 価 表

鉄筋工　　単第 0 -0064号表

SD345_D13　　一般構造物 [規]10t未満　　1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
加工・組立【手間のみ】 一般構造物	1.000	t			
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	1.030	t			1*1.03
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	t			
A=1 - D=1 一般構造物 F=2 [規]10t未満			B=5 SD345_D13 E=1 - H=1 -		
I=1 - K=1 -			J=1 -		

施工単価表

止水板　　SPK24040123　　単第　0 -0065号表

止水板(各種)　　1　　m　　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　55.14%　材料構成比:　44.86%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　2,814.4000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	40.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	14.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
CF-230×6mm	44.86%		塩ビ製止水板 CF 幅200×厚さ5mm		F0000000002 TTPT00198
積算単価			積算単価		EP001
A=9　止水板(各種)			B=2　【F】止水板(m)		

施 工 単 価 表

単第 0 -0066号表

ダウエルバー取付
異形棒鋼 Ｄ１６ 10 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
異形棒鋼<JISG3112> SD295,D16 単位質量1.56kg/m	0.016	t			
硬質塩化ビニル管 一般管VP径20長4.0m	1.25	本			
土木一般世話役	0.03	人			
普通作業員	0.14	人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊合計＊＊＊	10	本			
＊＊単位当り＊＊	1	本			
A=1 Ｄ１６					

施 工 単 価 表

単第 0 -0067号表

ウィープホール取付
型枠及び鉄筋 側壁 ５０㎜ 集水 KM式 KMV-50 L=400mm相当品 10 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ウィープホール φ50 L=150～500㎜	10.0	個			
土木一般世話役	0.02	人			
普通作業員	0.18	人			
ウィープホール用フィルタ φ50	10.0	個			
普通作業員	0.04	人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊合計＊＊＊	10	箇所			
＊＊単位当り＊＊	1	箇所			
A=1 型枠及び鉄筋 側壁 ５０㎜ D=0 フィルター単価（円／個）	集水		C=1400 ウィープホール単価（円／個）		

施 工 単 価 表

単第 0 -0068号表

ウィープホール取付
型枠及び鉄筋 側壁 ５０㎜ 集水 KM式 KMV-50 L=500mm相当品 10 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ウィープホール φ50 L=150～500㎜	10.0	個			
土木一般世話役	0.02	人			
普通作業員	0.18	人			
ウィープホール用フィルタ φ50	10.0	個			
普通作業員	0.04	人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊合計＊＊＊	10	箇所			
＊＊単位当り＊＊	1	箇所			
A=1 型枠及び鉄筋 側壁 ５０㎜ D=0 フィルター単価（円／個）	集水		C=1590 ウィープホール単価（円／個）		

施工単価表

吸出し防止材設置　SPK24040121　単第 0 -0069号表

合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m　1 m2 当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 24.17%　材料構成比: 75.83%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 883.0300

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	20.57%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.60%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
不織布(合繊) 厚10mm,強度9.8kN/m	75.83%		不織布(合繊) 厚10mm,強度9.8kN/m		TTPC00048 TTPT00048
積算単価			積算単価		EP001
A=1　合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m					

施 工 単 価 表

サイド･アンダードレーン工（ｻｲﾄﾞﾄﾞﾚｰﾝ）　　単第　0 -0070号表

コンクリート用砕石　５～２５mm　　10　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート用砕石 20～5mm	1.13	m3			0.9*1.25
土木一般世話役	0.06	人			
普通作業員	0.44	人			
諸雑費	8.00	%			
＊＊＊合計＊＊＊	10	m			
＊＊単位当り＊＊	1	m			
A=1　コンクリート用砕石　５～２５mm C=5000　砕石単価（円／ｍ３）			B=2　単価０円区分（フィルター材）しない		

施 工 単 価 表

横断・転落防止柵 アンカーボルト固定　　単第 0 -0071号表

材料費(各種)　　[規]100m未満　　1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
設置【手間のみ】 アンカーボルト固定 ビーム式・パネル式(支柱間隔3m)	1.000	m			
転落防止柵（ベースプレート式） P種・支柱間隔3.0m・白・H=1100mm	1.000	m			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	m			
A=1 材料費(各種) C=2 [規]100m未満 F=1 -			B=3 【F】材料費(m) E=1 -		

施工単価表

土砂等運搬　SPK24040002　単第 0 -0072号表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間無し　距離5.5km以下(4.5km超)　1　m3　当り

機械構成比: 18.57%　労務構成比: 72.35%　材料構成比: 9.08%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 3,406.1000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=26　距離5.5km以下(4.5km超)			B=6　バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1　DID区間無し		

任意仮設

施 工 単 価 表

単第　0 -0073号表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
路体(築堤)盛土・埋戻 施工幅員2.5m以上4.0m未満	10	m3			単第　0-0013号表
路体(築堤)盛土・埋戻 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	174	m3			単第　0-0014号表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し　距離4.5km以下(3.5km超)	184	m3			単第　0-0074号表
購入土（改良土）	245	m3			
砂利舗装工 敷均し幅2.5m以上 バックホウ敷均し　敷均し	21	m2			単第　0-0075号表
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	186	m3			単第　0-0002号表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し　距離5.5km以下(4.5km超)	186	m3			単第　0-0072号表
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 単管傾斜足場	75	掛m2			単第　0-0078号表
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 単管足場	104	掛m2			単第　0-0079号表
支保工 パイプサポート支保 f<=40(t<=120)	44	空m3			単第　0-0080号表
ポンプ運転	10	日			単第　0-0081号表
水替工(小口径)ポンプ設置・撤去工	1	箇所			単第　0-0083号表

任意仮設

施 工 単 価 表

単第　0 -0073号表

頁0 -0104

1　　式　　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
＊＊単位当り＊＊	1	式			

施工単価表

土砂等運搬　SPK24040002　単第 0 -0074号表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間無し　距離4.5km以下(3.5km超)　1　m3　当り

機械構成比: 18.57%　労務構成比: 72.35%　材料構成比: 9.08%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 3,096.4000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=21　距離4.5km以下(3.5km超)			B=6　バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1　DID区間無し		

施 工 単 価 表

砂利舗装工　　単第 0 -0075号表

敷均し幅2.5m以上　　バックホウ敷均し　敷均し　　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.32	人			
普通作業員	0.62	人			
再生クラッシャラン 40～0mm	11.90	m3			
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.28m3（平積0.2m3） 排出ガス対策型2次基準	2.50	時間			単第 0-0076号表
機-28_振動ローラ運転（賃料） 搭乗式コンバインド型 3.0～4.0t	0.20	日			単第 0-0077号表
諸雑費	1	式			
＊＊＊合計＊＊＊	100	m2			
＊＊単位当り＊＊	1	m2			
A=3 敷均し幅2.5m以上 C=1 敷均し E=3 再生ｸﾗｼｬﾗﾝ ＲＣ－40			B=3 バックホウ敷均し D=2 舗装面仕上げ有り：振動ﾛｰﾗ・ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型 F=10 敷砂利仕上がり厚さ(cm)		
G=2 舗設材単価０円区分：なし			H=3000 敷材単価(円)(Ｇ＝２の時)		

施 工 単 価 表

単第 0 -0076号表

機-1_バックホウ運転

クローラ[標準]山積0.28m3（平積0.2m3）　排出ガス対策型2次基準　1　時間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.17	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.90	L			
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	1	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	時間			
A=1　クローラ[標準]山積0.28m3（平積0.2m3） C=0　労務単価の夜間等割増率 E=0　運転労務数量（人/h）標準=省略			B=1 D=3　排出ガス対策型2次基準 F=0　燃料消費量（L/h）標準=省略		

施 工 単 価 表

単第 0 -0077号表

機-28_振動ローラ運転 (賃料)
搭乗式コンバインド型 3.0～4.0t

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	21.00	L			
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.38	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	日			
A=9 搭乗式コンバインド型 3.0～4.0t C=21 軽油消費量 (L／日) E=2 排出ガス対策型			B=1 運転労務数量 (人／日) D=2.38 機械賃料数量 (供用日／日)		

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場

施 工 単 価 表

単第 0 -0078号表

単管傾斜足場

100 掛m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.500	人			
とび工	4.500	人			
普通作業員	2.700	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	0.800	日			
諸雑費	33	%			
＊＊＊合計＊＊＊	100	掛m2			
＊＊単位当り＊＊	1	掛m2			
A=3 単管傾斜足場 C=0 潮待割増			B=1 安全ネットを設置しない		

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場

施 工 単 価 表

単第 0 -0079号表

単管足場

100 掛m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.900	人			
とび工	6.900	人			
普通作業員	1.800	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	0.800	日			
諸雑費	29	%			
＊＊＊合計＊＊＊	100	掛m2			
＊＊単位当り＊＊	1	掛m2			
A=2 単管足場 C=0 潮待割増			B=1 安全ネットを設置しない		

施 工 単 価 表

単第 0 -0080号表

支保工

パイプサポート支保 f<=40(t<=120) 100 空m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.600	人			
型わく工	4.700	人			
とび工	2.200	人			
普通作業員	5.100	人			
諸雑費	15	%			
＊＊＊合計＊＊＊	100	空m3			
＊＊単位当り＊＊	1	空m3			
A=1 パイプサポート支保			B=1 f<=40(t<=120)		

ポンプ運転

施 工 単 価 表

単第 0 -0081号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.14	人			
機-16_発動発電機運転 ガソリン2kVA 普通型	1	日			単第 0-0082号表
諸雑費	10	%			
＊＊単位当り＊＊	1	日			
A=1 排水量０以上 ６m3／ｈ未満 C=2 発動発電機			B=1 作業時排水		

施 工 単 価 表

機-16_発動発電機運転　　単第 0 -0082号表

ガソリン2kVA　　普通型　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	9.60	L			
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.10	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	日			
A=18　ガソリン2kVA C=1.1　機械賃料数量(供用日/日)			B=9.6　燃料消費量(L/日) D=1　普通型		

水替工(小口径)ポンプ設置・撤去工

施 工 単 価 表

単第　0 -0083号表

1　　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.3	人			
普通作業員	0.5	人			
諸雑費	1	式			
＊＊単位当り＊＊	1	箇所			
A=1　　口径50㎜（排水量0以上6未満〔m3/h〕）					

任意処分費

施 工 単 価 表

単第　0 -0084号表

頁0 -0115

1　　式　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
残土受入費（砂質土）	186	m3			
＊＊単位当り＊＊	1	式			

数量総括表

数量総括表　　（権現池）　　NO.1

工　種	種　別	細　別	単位	数量計算値	設計数値	摘　　要
堤体工						
土工						
	表土剥取	表土	m3	8.7	9	
	掘削	土砂	m3	75.9	76	
	床掘	改良土	m3	61.2	61	
	盛土(W＜1.0)	流用土	m3	8.1	8	
	盛土(1.0≦W＜2.5)	流用土	m3	95.6	96	
	盛土(2.5≦W＜4.0)	流用土	m3	98.5	99	
	盛土(4.0≦W)	流用土	m3	71.6	72	
	地盤改良C=50KN/m2	BH混合	m2	92.7	93	
	固化材	H=1.0m想定 一般軟弱土用100kg/m3想定	t	9.3	9	
	残土処分(土砂)	DT2t	m3	69.9	70	土量配分表より
	購入土(ランダム材)	DT2t	m3	126.2	126	〃
法面工						
	張芝		m2	33.7	34	
	法面整形	盛土法面仕上	m2	206.2	206	
侵食防止工						
	張ブロック　標準型	500*500*120	m2	118.1	118	
	張ブロック　防災型	500*500*120	m2	10.7	11	10%を想定
	裏込砕石	RC-40	m3	19.3	19	
	天端コンクリート		m	15.1	15	
	基礎コンクリート		m	30.9	31	

数量総括表　　（権現池）　　NO.2

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	設計数値	摘　　要
1号ブロック積擁壁工						
	ブロック積擁壁	1:0.4控0.35m 裏コン10cm	m2	10.3	10	
	裏込砕石	RC-40	m3	4.5	5	
	基礎コンクリート	18N/mm2	m	3.2	3	
	小口止工		箇所	1.0	1	
2号ブロック積擁壁工						
	ブロック積擁壁	1:0.4控0.35m 裏コン10cm	m2	30.9	31	
	裏込砕石	RC-40	m3	12.8	13	
	基礎コンクリート	18N/mm2	m	11.7	12	
1号コンクリート擁壁工						
	コンクリート	18N/mm2	m3	11.2	11	
	型枠	無筋	m2	45.5	46	
	基礎コンクリート	18N/mm2	m3	1.6	1.6	
	型枠	均しコンクリート	m2	3.6	3.6	
	目地材	エラスタイト	m2	0.6	1	
	排水孔	水抜きパイプ	箇所	3	3	
2号コンクリート擁壁工						
	コンクリート	18N/mm2	m3	4.2	4.2	
	型枠	無筋	m2	11.6	12	
	基礎コンクリート	18N/mm2	m3	0.4	0.4	
	型枠	均しコンクリート	m2	0.6	0.6	
	排水孔	水抜きパイプ	箇所	1	1	

数量総括表　　（権現池）　　NO.3

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	設計数値	摘　　要
アスファルト舗装工						
	表層工　t=5cm	アスファルト	m2	91.3	91	
	上層路盤工　t=100cm	RM-30	m2	91.3	91	
	下層路盤工　t=100cm	RC-40	m2	91.3	91	
コンクリート舗装工						
	表層工　t=10cm	コンクリート	m2	30.0	30	
	人力小運搬	20m以内	m3	3.2	3	
	路盤工　t=100cm	RC-40	m2	30.0	30	
防護柵工						
	転落防止柵	H=1100	m	5.8	5.8	
構造物取壊工						
	ブロック積取壊工	控え350	m3	5.2	5.2	
	石積取壊工	控え300	m3	35.0	35	A=35/0.3 =116.6m2
	コンクリート取壊工	無筋	m3	24.0	24	
	アスファルト舗装取壊工	厚みt=0.05m	m2	83.5	84	
	コンクリート舗装取壊工	厚みt=0.10m	m2	22.5	23	V=22.5*0.1 =2.25m3
	運搬・処分	コンクリート殻	m3	31.5	32	
	運搬・処分	コンクリート殻	t	74.0	74	
	運搬・処分	アスファルト殻	m3	4.2	4.2	
	運搬・処分	アスファルト殻	t	9.9	10	
	運搬・処分	玉石	m3	35.0	35	

数量総括表　　（権現池）　　NO.4

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	設計数値	摘　　要
洪水吐工						
土工						
	掘削	土砂	m3	53.2	53	
	床掘	土砂	m3	728.3	728	
	盛土(W=0.5)	流用土	m3	120.8	121	
	盛土(W＜1.0)	流用土	m3	31.0	31	
	盛土(1.0≦W＜2.5)	流用土	m3	201.6	202	
	盛土(2.5≦W＜4.0)	流用土	m3	173.8	174	
	盛土(4.0≦W)	流用土	m3	65.4	65	
法面工						
	法面整形	盛土法面仕上	m2	49.9	50	
		切土法面仕上	m2	1.8	2	
本体工						
	基礎コンクリート	18N/mm2	m3	13.6	14	
	型枠	均しコンクリート	m2	6.8	6.8	
	鉄筋コンクリート	21N/mm2	m3	170.9	171	
	型枠	鉄筋	m2	459.8	460	
	無筋コンクリート	18N/mm2	m3	2.1	2.1	
	型枠	無筋	m2	7.3	7.3	
	鉄筋SD345	D25	t	1.224	1.224	
		D19	t	2.190	2.190	
		D16	t	0.393	0.393	
		D13	t	6.705	6.705	
	目地材	t=10mm	m2	21.8	22	
	止水板	CF-230*6mm	m	45.5	46	
	ダウエルバー	D16 L=1000	箇所	147.0	147	
	塩化ビニル管	VPφ20 L=500	箇所	147.0	147	
	サイドドレーン	砕石5-25	m3	4.3	4.3	
	吸出防止材		m2	42.5	43	
	ウィープホール	φ50 L=430	箇所	19.0	19	
		φ50 L=600	箇所	21.0	21	
	転落防止柵	H=1100	m	25.8	26	

数量総括表　　（権現池）　　NO.5

工　種	種　別	細　別	単位	数　量	設計数値	摘　　要
仮設工 仮設道路設置工						
土工						
	盛土	2.5≦w＜4.0	m3	9.8	10	
	盛土	4.0＜w	m3	173.8	174	
	土砂運搬	DT2t	m3	183.7	184	
	購入土		m3	244.8	245	土砂配分表より
舗装工						
	路盤工　敷砂利RC-40	t＝100	m2	20.5	21	
仮設工 仮設道路撤去工						
土工						
	掘削	（敷砂利含む）	m3	365	365	
足場工						
	単管傾斜足場		掛m2	75.0	75	
	単管足場		掛m2	104.4	104	
支保工						
	パイプサポート支保工	f≦40kN/m2	空m3	43.8	44	
水替工						
	ポンプ運転	排水量0以上6m3/h未満	日	10	10	
	ポンプ設置・撤去工		箇所	1	1	

権現池　　土量配分表　　（単位:m3）

堤体工	表土剥取	8.7					
	床掘(改良土)	61.2					
		計 69.9					
	掘削(土砂)	75.9					
		計 75.9	199.0	盛土(1.0＜W)	8.1 ÷0.9=	9.0	
				盛土(1.0≦W＜2.5)	95.6 ÷0.9=	106.2	
				盛土(2.5≦W＜4.0)	98.5 ÷0.9=	109.4	
				盛土(4.0≦W)	71.6 ÷0.9=	79.6	
				計		304.2	
洪水吐工	掘削(土砂)	53.2		盛土(W=0.5)	120.8 ÷0.9=	134.2	
	床掘(土砂)	728.3		盛土(1.0＜W)	31.0 ÷0.9=	34.4	
				盛土(1.0≦W＜2.5)	201.6 ÷0.9=	224.0	
				盛土(2.5≦W＜4.0)	173.8 ÷0.9=	193.1	
				盛土(4.0≦W)	65.4 ÷0.9=	72.7	
		計 781.5	658.4	計		658.4	
仮設工	盛土撤去	365.0		(購)盛土	9.8 ÷0.9×1.2=	13.1	(2.5≦w＜4.0)
	(敷砂利含む)				173.8 ÷0.9×1.2=	231.7	(4.0＜w)
		計 365.0		計		244.8	

123.1

残土 69.9

購入土 126.2

※(304.2-199.0)×1.2

購入土 244.8

合計購入土 371.0

残土 365.0

合計残土 434.9

堤体工数量計算書

提　体　工　集計表

種　別	規　格	単位	数　量	備　考
土工				
表土剥取	土砂(表土)	m3	8.7	
掘削	土砂	m3	75.9	
床掘	改良土	m3	61.2	
盛土(W＜1.0)	流用土	m3	8.1	
盛土(1.0≦W＜2.5)	流用土	m3	95.6	
盛土(2.5≦W＜4.0)	流用土	m3	98.5	
盛土(4.0≦W)	流用土	m3	71.6	
地盤改良C=50KN/m2	BH混合	m2	92.7	
固化材	一般軟弱土用	t	9.3	H=1.0m,100kg/m3想定
残土処分	土砂	m3	69.9	土量配分表より
購入土運搬	2tDT	m3	105.2	
購入土	土砂	m3	126.2	〃
法面工				
張芝		m2	33.7	
法面整形	盛土法面仕上	m2	206.2	
侵食防止工				
張ブロック　標準型	500*500*120	m2	118.1	
張ブロック　防災型	500*500*120	m2	10.7	10%を想定
裏込砕石	RC-40	m3	19.3	
天端コンクリート		m	15.1	
基礎コンクリート		m	30.9	
1号ブロック積擁壁工				
ブロック積擁壁	1:0.4 控0.35m 裏コン10cm	m2	10.3	
裏込砕石	RC-40	m3	4.5	
基礎コンクリート	18N/mm2	m	3.2	
小口止工		箇所	1.0	
2号ブロック積擁壁工				
ブロック積擁壁	1:0.4 控0.35m 裏コン10cm	m2	30.9	
裏込砕石	RC-40	m3	12.8	
基礎コンクリート	18N/mm2	m	11.7	

種　　別	規　　格	単位	数　量	備　　考
1号コンクリート擁壁工				
コンクリート	18N/mm2	m3	11.2	
型枠	無筋	m2	45.5	
基礎コンクリート	18N/mm2	m3	1.6	
型枠	均しコンクリート	m2	3.6	
目地材	エラスタイト	m2	0.6	
排水孔	水抜きパイプ	箇所	3	
2号コンクリート擁壁工				
コンクリート	18N/mm2	m3	4.2	
型枠	無筋	m2	11.6	
基礎コンクリート	18N/mm2	m3	0.4	
型枠	均しコンクリート	m2	0.6	
排水孔	水抜きパイプ	箇所	1	
アスファルト舗装工				
表層工 t=5cm	アスファルト	m2	91.3	
上層路盤工 t=100cm	RM-30	m2	91.3	
下層路盤工 t=100cm	RC-40	m2	91.3	
コンクリート舗装工				
表層工 t=10cm	コンクリート	m2	30.0	
人力小運搬	20m以内	m3	3.2	V=30*0.1*10.6=3.18m3
路盤工 t=100cm	RC-40	m2	30.0	
防護柵工				
転落防止柵	H=1100	m	5.8	

計第１表　　堤体工土工　　計　算　書

測　点	表土剥取 距　離	断面積	平　均	立　積	距　離	断面積	平　均	立　積	摘　要
NO.2		1.0							
NO.2+10.0	10.0	0.4	0.70	7.0					
EC-2	8.5	0.0	0.20	1.7					
計	18.5			8.7					

計第 2 表

堤体工土工　　計　算　書

測　点	掘削(土砂) 距　離	断面積	平　均	立　積	距　離	断面積	平　均	立　積	摘　要
NO.2		4.2							
NO.2+10.0	10.0	3.5	3.85	38.5					
EC-2	8.5	5.3	4.40	37.4					
計	18.5			75.9					

計第 3 表

堤体工土工　　計　算　書

測　点	床掘(改良土) 距　離	断面積	平　均	立　積	距　離	断面積	平　均	立　積	摘　要
NO.2		2.9							
NO.2+10.0	10.0	2.7	2.80	28.0					
EC-2	8.5	5.1	3.90	33.2					
計	18.5			61.2					

計第 4 表　　堤体工土工　　計　算　書

測　点	盛土(上流)W＜1.0 距 離	断面積	平 均	立 積	盛土(上流)1.0≦W＜2.5 距 離	断面積	平 均	立 積	摘 要
NO.2		1.1				5.6			
NO.2+10.0	10.0	0.1	0.60	6.0	10.0	6.3	5.95	59.5	
EC-2	8.5	0.4	0.25	2.1	8.5	2.2	4.25	36.1	
計	18.5			8.1	18.5			95.6	

計第５表　　堤体工土工　　計　算　書

測　点	盛土(上流)2.5≦W＜4.0 距　離	断面積	平　均	立　積	盛土(上流)4.0≦W 距　離	断面積	平　均	立　積	摘　要
NO.2		1.9				0.8			
NO.2+10.0	10.0	5.3	3.60	36.0	10.0	1.1	0.95	9.5	
EC-2	8.5	9.4	7.35	62.5	8.5	13.5	7.30	62.1	
計	18.5			98.5	18.5			71.6	

計第 6 表

堤体工土工　　計　算　書

測　点	地盤改良 距　離	幅	平　均	平　積					摘　要
NO.2		4.8							
NO.2+10.0	10.0	4.3	4.55	45.5					
EC-2	8.5	6.8	5.55	47.2					
計	18.5			92.7					

計第７表　　堤体工土工　　計　算　書

測　点	張芝 距　離	長　さ	平　均	平　積	距　離	長　さ	平　均	平　積	摘　要
NO.2		1.8							
NO.2+10.0	10.0	1.8	1.80	18.0					
EC-2	8.5	1.9	1.85	15.7					
計	18.5			33.7					

計第８表　　堤体工土工　　計　算　書

測　点	盛土法面仕上 距　離	長　さ	平　均	平　積	距　離	長　さ	平　均	平　積	摘　要
NO.2		10.8							
NO.2+10.0	10.0	10.8	10.80	108.0					
EC-2	8.5	12.3	11.55	98.2					
計	18.5			206.2					

計第 9 表　　堤体工　張ブロック工　　計　算　書

測　点	張ブロック 距　離	SL	平　均	平　積	裏込砕石 距　離	G	平　均	立　積	摘　要
堤体工部									
NO.2		5.00							
BC-2	0.2	5.00	5.00	1.0					
		0.00							
	1.0	5.00	2.50	2.5					
	5.5	5.00	5.00	27.5					
SP-2	1.0	0.00	2.50	2.5					
	0.7	5.00	2.50	1.8					
	3.8	5.00	5.00	19.0					
	0.7	0.00	2.50	1.8					
		5.00							
	1.2	2.38	3.69	4.4					
	0.2	0.00	1.19	0.2					
	0.1	2.38	1.19	0.1					
	0.7	2.38	2.38	1.7					
	0.1	0.00	1.19	0.1					
		2.38							
	1.5	0.00	1.19	1.8					
洪水吐部									
	水平部			21.5					
	斜面部			42.9					
							128.8*0.15=		
計	16.7			128.8				19.3	

計第 10 表　　堤体工　張ブロック工　　計　算　書

測　点	天端コンクリート 距 離		平 均	長 さ	基礎コンクリート 距 離		平 均	長 さ	摘 要
堤体工部				15.1				5.5	
								3.8	
								2.6	
								0.7	
								1.5	
洪水吐部								16.8	
計				15.1				30.9	

計第 11 表　　堤体工　1号ブロック積擁壁　　計　算　書

測　点	1号ブロック積擁壁				裏込砕石				摘　要
	距　離	SL	平　均	平　積	距　離	G	平　均	立　積	
		3.23				1.4			
	3.2	3.23	3.23	10.3	3.2	1.4	1.40	4.5	
	基礎工								
計	3.2			10.3				4.5	

計第 12 表　　堤体工　2号ブロック積擁壁　　計　算　書

測　点	2号ブロック積擁壁 距　離	SL	平　均	平　積	裏込砕石 距　離	G	平　均	平　積	摘　要
		0.32				0.1			
	0.6	1.51	0.92	0.6	0.6	0.5	0.30	0.2	
NO.1+1.90	0.8	1.51	1.51	1.2	0.8	0.5	0.50	0.4	
NO.1+5.60	3.7	2.57	2.04	7.5	3.7	1.0	0.75	2.8	
NO.1+9.20	3.6	3.61	3.09	11.1	3.6	1.6	1.30	4.7	
	0.9	3.87	3.74	3.4	0.9	1.8	1.70	1.5	
NO.1+12.20	2.1	2.86	3.37	7.1	2.1	1.2	1.50	3.2	
	基礎工								
計	11.7			30.9	11.7			12.8	

計第 13 表　　堤体工　1号コンクリート擁壁工　　計　算　書

測　点	コンクリート 距　離	平　積	平　均	立　積	型枠 距　離	長　さ	平　均	平　積	基礎コンクリート 距　離	平　積	平　均	立　積	型枠 距　離	長　さ	平　均	平　積	摘　要
		0.19				1.02				0.07				0.20			H=500
	1.1	0.81	0.50	0.6	1.1	3.13	2.08	2.3	1.1	0.10	0.09	0.1	1.1	0.20	0.20	0.2	H=1530
	16.8	0.44	0.63	10.6	16.8	2.00	2.57	43.2	16.8	0.08	0.09	1.5	16.8	0.20	0.20	3.4	H=980
計	17.9			11.2	17.9			45.5	17.9			1.6	17.9			3.6	

計第 14 表　　堤体工　1号コンクリート擁壁工　　計　算　書

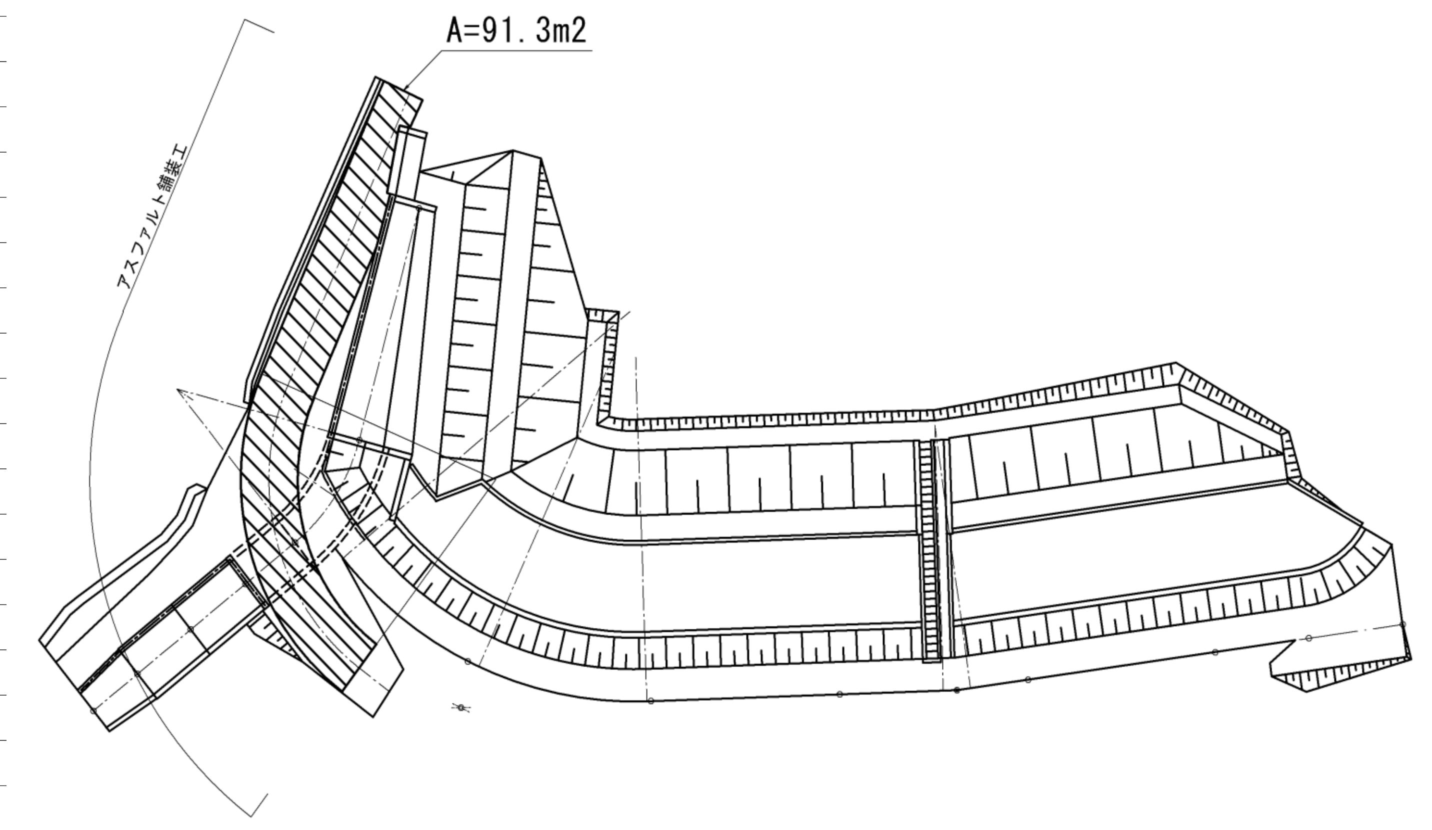
測　点	目地材(エラスタイト) 距　離	平　積	平　均	平　積	距　離	長　さ	平　均	平　積	距　離	平　積	平　均	立　積	距　離	長　さ	平　均	平　積	摘　要
				0.62													
計				0.62													

計第 15 表　　堤体工　2号コンクリート擁壁工　　計　算　書

測　点	コンクリート				型枠				基礎コンクリート				型枠				
	距　離	平　積	平　均	立　積	距　離	長　さ	平　均	平　積	距　離	平　積	平　均	立　積	距　離	長　さ	平　均	平　積	摘　要
		1.30				3.64				0.14				0.20			H=1700
	3.2	1.30	1.30	4.2	3.2	3.64	3.64	11.6	3.2	0.14	0.14	0.4	3.2	0.20	0.20	0.6	H=1700
計	3.2			4.2	3.2			11.6	3.2			0.4	3.2			0.6	

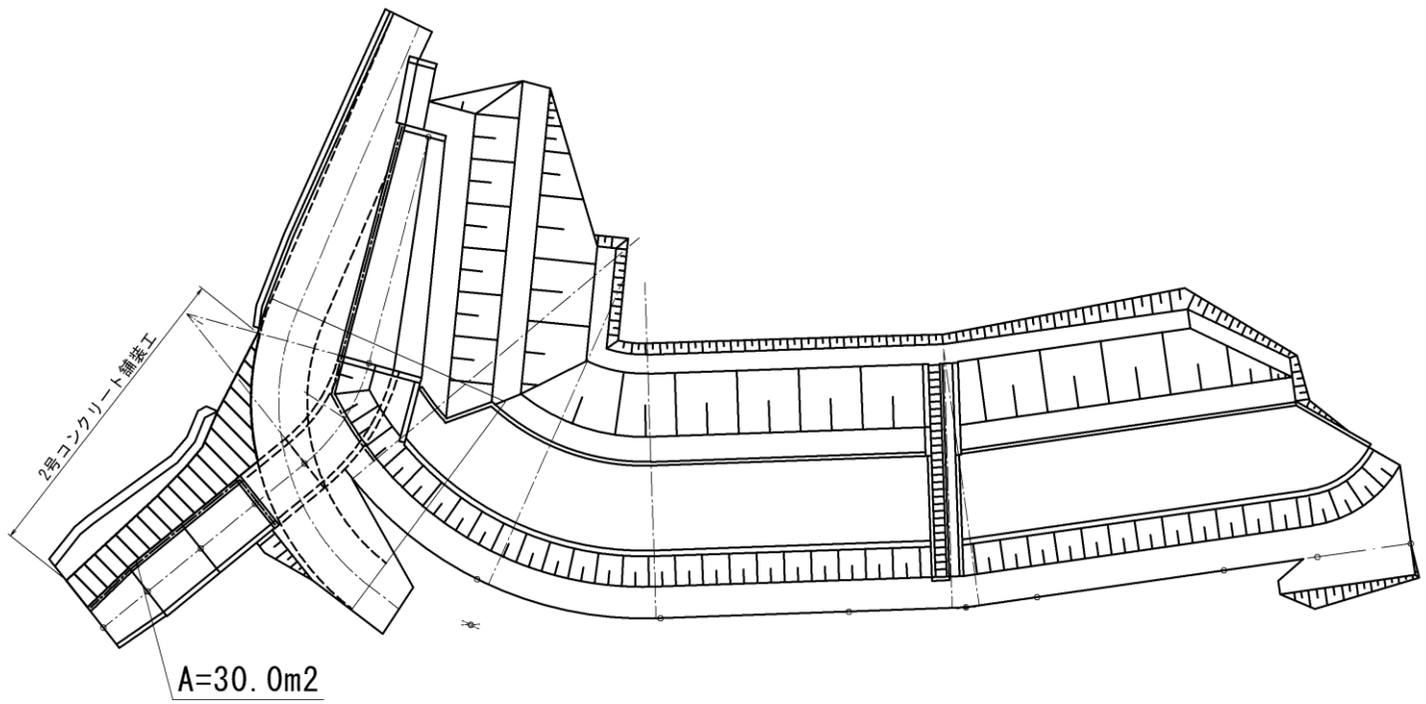
計第 16 表　　堤体工 アスファルト舗装工　　計　算　書

測　点	表層				上層路盤工				下層路盤工								摘　要
	距　離	長　さ	平　均	平　積	距　離	長　さ	平　均	平　積	距　離	長　さ	平　均	平　積	距　離	長　さ	平　均	平　積	
				91.3				91.3				91.3					
計				91.3				91.3				91.3					



計第 17 表　　堤体工　コンクリート舗装工　　計　算　書

測　点	表層 距　離	表層 平　積	表層 平　均	表層 立　積	路盤工 距　離	路盤工 長　さ	路盤工 平　均	路盤工 平　積	距　離	平　積	平　均	立　積	距　離	長　さ	平　均	平　積	摘　要
				30.0				30.0									
計				30.0				30.0									



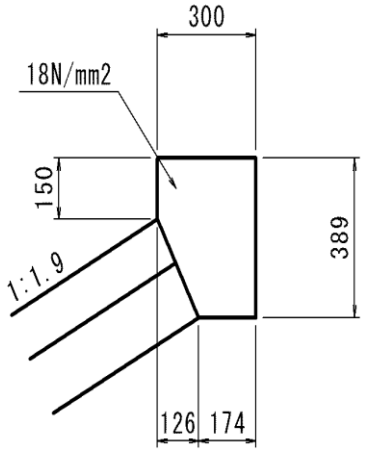
計第 18 表　　堤体工防護柵工　　計　算　書

測　点	転落防止柵H=1100									摘　要
	距　離	断面積	平　均	延　長	距　離	断面積	平　均	延　長		摘　要
				5.8						
計				5.8						

計第 19　表

10m 当 り 数 量 計 算 書

名　　称　張ﾌﾞﾛｯｸ　天端ｺﾝｸﾘｰﾄ



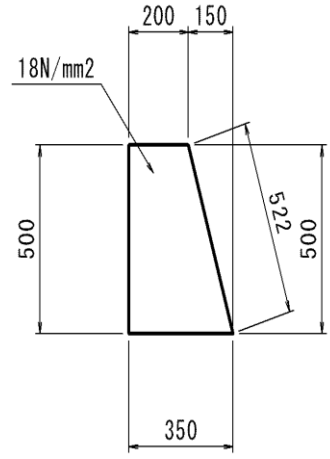
10m当り

名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
コンクリート	18N/mm2	(0.15*0.30+(0.30+0.17)/2*0.24)*10.00	1.01	m3
型枠	小型	(0.15+0.39)*10.00	5.40	m2

計第 20 表

10m 当 り 数 量 計 算 書

名　　称　張ﾌﾞﾛｯｸ　基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ



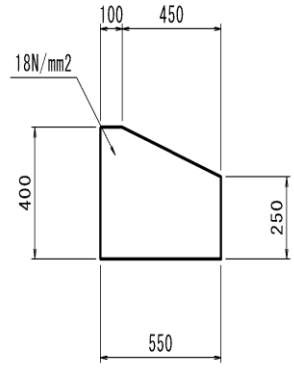
10m当り

名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
コンクリート	18N/mm2	(0.20+0.35)/2*0.50*10.00	1.38	m3
型枠	小型	(0.50+0.52)*10.00	10.20	m2

計第 21 表

10m 当 り 数 量 計 算 書

名　　称　1号基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ



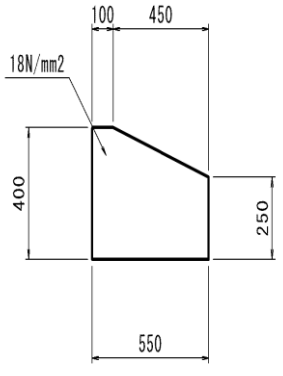
10m当り

名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
コンクリート	18N/mm2	(0.40*0.10+(0.40+0.25)/2*0.45)*10.00	1.86	m3
型枠	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	(0.40+0.25)*10.00	6.50	m2

計第 22　表

10m 当 り 数 量 計 算 書

名　　称　2号基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ



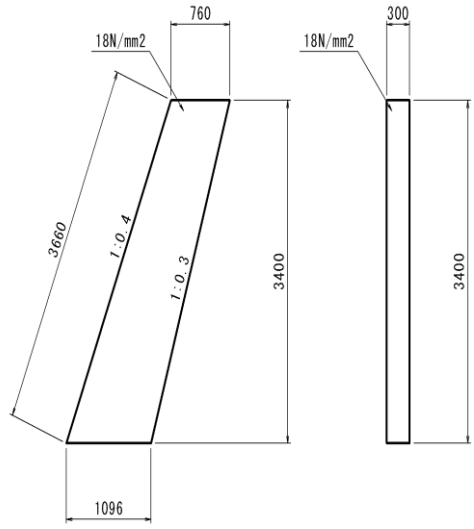
10m当り

名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
コンクリート	18N/mm2	(0.40*0.10+(0.40+0.25)/2*0.45)*10.00	1.86	m3
型枠	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	(0.40+0.25)*10.00	6.50	m2

計第 23 表

1箇所 当 り 数 量 計 算 書

名　　称　小口止工



1箇所当り

名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
コンクリート	18N/mm2	(0.76+1.10)/2*3.40*0.30	0.95	m3
型枠	無筋	(0.76+1.10)/2*3.40*2+3.66*0.30	7.42	m2

構造物取壊工数量計算書

構　造　物　取　壊　工　　集　計　表

種　　別	規　　格	単位	数　量	備　　考
構造物取壊工				
ブロック積取壊工	控え350	m3	5.2	
石積取壊工	控え300	m3	35.0	A=35/0.35=116.6m2
コンクリート取壊工	無筋	m3	24.0	
アスファルト舗装取壊工	厚みt=0.05m	m2	83.5	
コンクリート舗装取壊工	厚みt=0.10m	m2	22.5	
運搬・処分	コンクリート殻	m3	31.5	5.2+24.0+22.5*0.1
運搬・処分	コンクリート殻	t	74.0	31.5*2.35
運搬・処分	アスファルト殻	m3	4.2	83.5*0.05
運搬・処分	アスファルト殻	t	9.9	4.2*2.35
運搬・処分	玉石	m3	35.0	

計第１表　　堤体工構造物取壊工　　計　算　書

測　点	ブロック積取壊工 距　離	断面積	平　均	立　積	石積取壊工 距　離	断面積	平　均	立　積	摘　要
①	8.7	0.6		5.2					
②					11.8	0.4		4.7	
③					18.0	0.3		5.4	
④					24.1	0.4		9.6	
⑥					11.3	0.4		4.5	
⑦					12.0	0.9		10.8	
計	8.7			5.2	77.2			35.0	

計第２表　　堤体工構造物取壊工　　計　算　書

測　点	コンクリート取壊工 距　離	断面積	平　均	立　積	距　離	断面積	平　均	立　積	摘　要
⑤	20.5	0.2		4.1					
⑧	9.4	1.8		16.9					
⑨	15.2	0.2		3.0					
計	45.1			24.0					

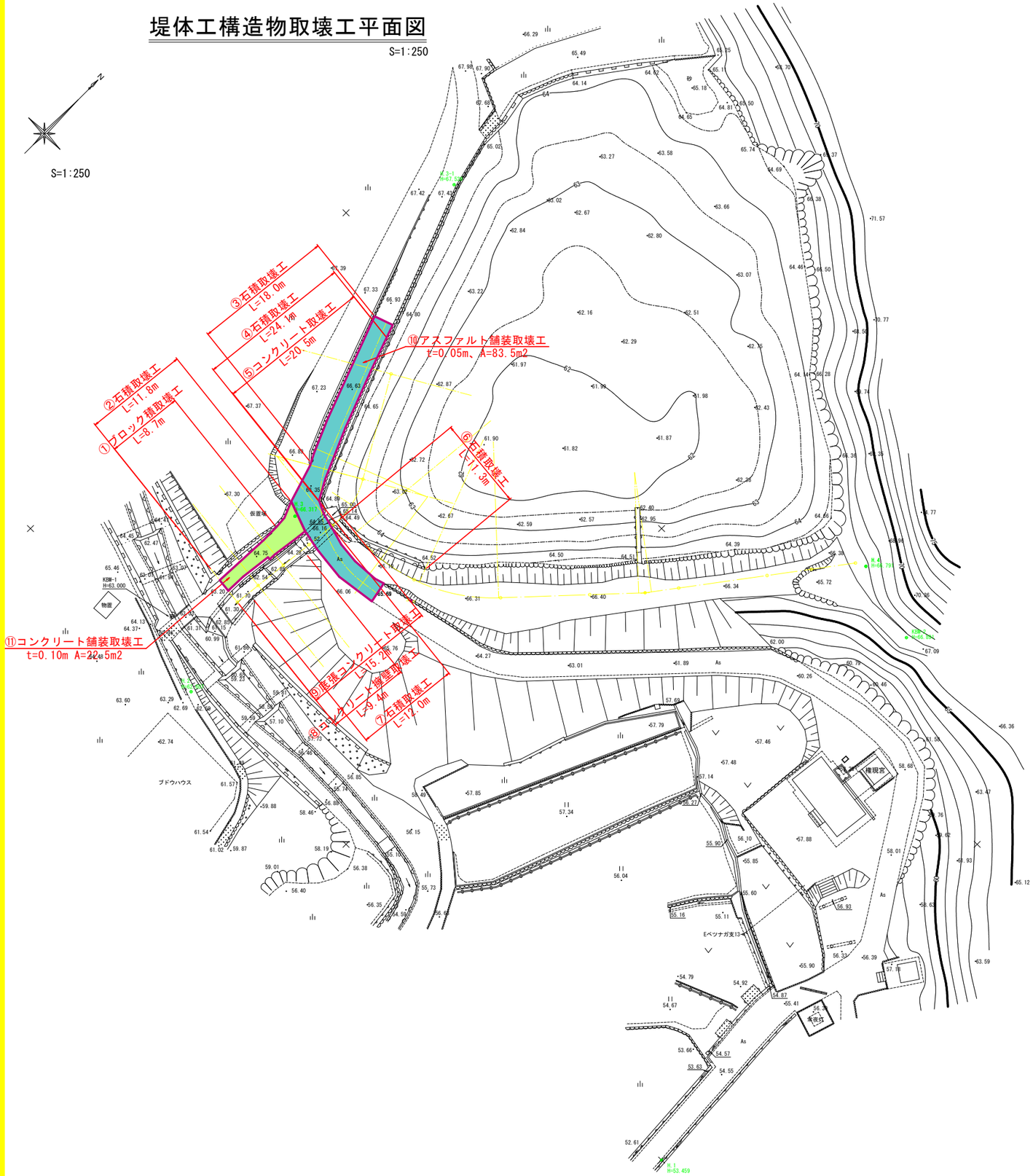
計第 3 表

堤体工構造物取壊工　　計　算　書

測　点	⑩アスファルト舗装取壊工				⑪コンクリート舗装取壊工				摘　要
	距　離			平　積	距　離			平　積	
				83.5				22.5	
計				83.5				22.5	

堤体工構造物取壊工平面図

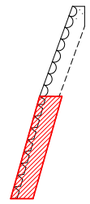
S=1:250



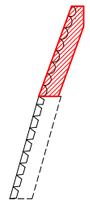
堤体工構造物取壊工断面図

S=1:50

①ブロック積取壊工
L=8.7m、A=0.6m2

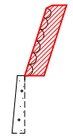


②石積取壊工
L=11.8m、A=0.4m2

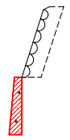


③石積取壊工
L=18.0m、A=0.3m2

④石積取壊工
L=24.1m、A=0.4m2

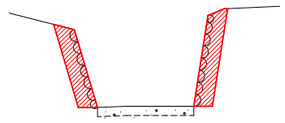


⑤コンクリート取壊工
L=20.5m、A=0.2m2

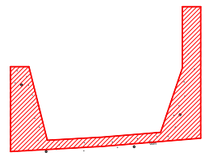


⑥石積取壊工
L=11.3m、A=0.4m2

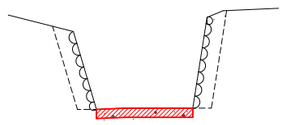
⑦石積取壊工
L=12.0m、A=0.9m2



⑧コンクリート擁壁取壊工
L=9.4m、A=1.8m2



⑨底張コンクリート取壊工
L=15.2m、A=0.2m2



⑩アスファルト舗装取壊工
t=0.05m、A=83.5m2

⑪コンクリート舗装取壊工
t=0.10m A=22.5m2

洪水吐工数量計算書

洪　水　吐　土　工　集計表

種　別	規　格	単位	数　量	備　考
土工				
掘削	土砂	m3	53.2	
床掘	土砂	m3	728.3	
盛土(W=0.5)	流用土	m3	120.8	
盛土(W＜1.0)	流用土	m3	31.0	
盛土(1.0≦W＜2.5)	流用土	m3	201.6	
盛土(2.5≦W＜4.0)	流用土	m3	173.8	
盛土(4.0≦W)	流用土	m3	65.4	
法面工				
法面整形	盛土法面仕上	m2	49.9	
	切土法面仕上	m2	1.8	

計第１表　　洪水吐土工　　計　算　書

測　点	掘削(土砂) 距　離	断面積	平　均	立　積	距　離	断面積	平　均	立　積	摘　要
NO.0		0.7							
BC-1	12.2	0.0	0.35	4.3					
EC-1	6.3	0.0							
NO.1+1.900	3.4	1.5	0.75	2.6					
NO.1+5.600	3.7	5.0	3.25	12.0					
NO.1+9.200	3.6	6.2	5.60	20.2					
NO.1+12.200	3.0	3.2	4.70	14.1					
計	32.2			53.2					

計第２表　　洪水吐土工　　計　算　書

測　点	床掘(土砂) 距　離	断面積	平　均	立　積	距　離	断面積	平　均	立　積	摘　要
NO.0		14.4							
BC-1	12.2	19.5	16.95	206.8					
EC-1	6.3	26.6	23.05	145.2					
NO.1+1.900	3.4	29.7	28.15	95.7					
NO.1+5.600	3.7	37.3	33.50	124.0					
NO.1+9.200	3.6	22.1	29.70	106.9					
NO.1+12.200	3.0	11.0	16.55	49.7					
計	32.2			728.3					

計第 3 表　　洪水吐土工　　計　算　書

測　点	盛土(W=0.5) 距　離	断面積	平　均	立　積	盛土(W＜1.0) 距　離	断面積	平　均	立　積	摘　要
NO.0		2.6				1.5			
BC-1	12.2	4.2	3.40	41.5	12.2	1.1	1.30	15.9	
EC-1	6.3	4.6	4.40	27.7	6.3	0.2	0.65	4.1	
NO.1+1.900	3.4	3.6	4.10	13.9	3.4	1.2	0.70	2.4	
NO.1+5.600	3.7	4.5	4.05	15.0	3.7	0.0	0.60	2.2	
NO.1+9.200	3.6	3.5	4.00	14.4	3.6	1.1	0.55	2.0	
NO.1+12.200	3.0	2.0	2.75	8.3	3.0	1.8	1.45	4.4	
計	32.2			120.8	32.2			31.0	

計第４表　　洪水吐土工　　計　算　書

測　点	盛土(1.0≦W＜2.5) 距　離	断面積	平　均	立　積	盛土(2.5≦W＜4.0) 距　離	断面積	平　均	立　積	摘　要
NO.0		0.7				6.2			
BC-1	12.2	1.4	1.05	12.8	12.2	5.1	5.65	68.9	
EC-1	6.3	9.9	5.65	35.6	6.3	1.9	3.50	22.1	
NO.1+1.900	3.4	9.3	9.60	32.6	3.4	6.0	3.95	13.4	
NO.1+5.600	3.7	13.6	11.45	42.4	3.7	11.9	8.95	33.1	
NO.1+9.200	3.6	13.2	13.40	48.2	3.6	4.5	8.20	29.5	
NO.1+12.200	3.0	6.8	10.00	30.0	3.0	0.0	2.25	6.8	
計	32.2			201.6	32.2			173.8	

計第５表　　洪水吐土工　　計　算　書

測　点	盛土(4.0≦W) 距　離	断面積	平　均	立　積					摘　要
NO.0		0.0							
BC-1	12.2	4.7	2.35	28.7					
EC-1	6.3	4.5	4.60	29.0					
NO.1+1.900	3.4	0.0	2.25	7.7					
NO.1+5.600	3.7								
NO.1+9.200	3.6								
NO.1+12.200	3.0								
計	32.2			65.4					

計第 6 表

洪水吐土工　　計　算　書

測　点	盛土法面仕上 距　離	盛土法面仕上 長　さ	盛土法面仕上 平　均	盛土法面仕上 平　積	切土法面仕上 距　離	切土法面仕上 長　さ	切土法面仕上 平　均	切土法面仕上 平　積	摘　要
NO.0		3.7							
BC-1	12.2	2.6	3.15	38.4	12.2				
EC-1	6.3	0.0	1.30	8.2	6.3				
NO.1+1.900	3.4				3.4	0.0			
NO.1+5.600	3.7	0.0			3.7	0.5	0.25	0.9	
NO.1+9.200	3.6	1.0	0.50	1.8	3.6	0.0	0.25	0.9	
NO.1+12.200	3.0	0.0	0.50	1.5	3.0				
計	32.2			49.9	32.2			1.8	

計第 7 表

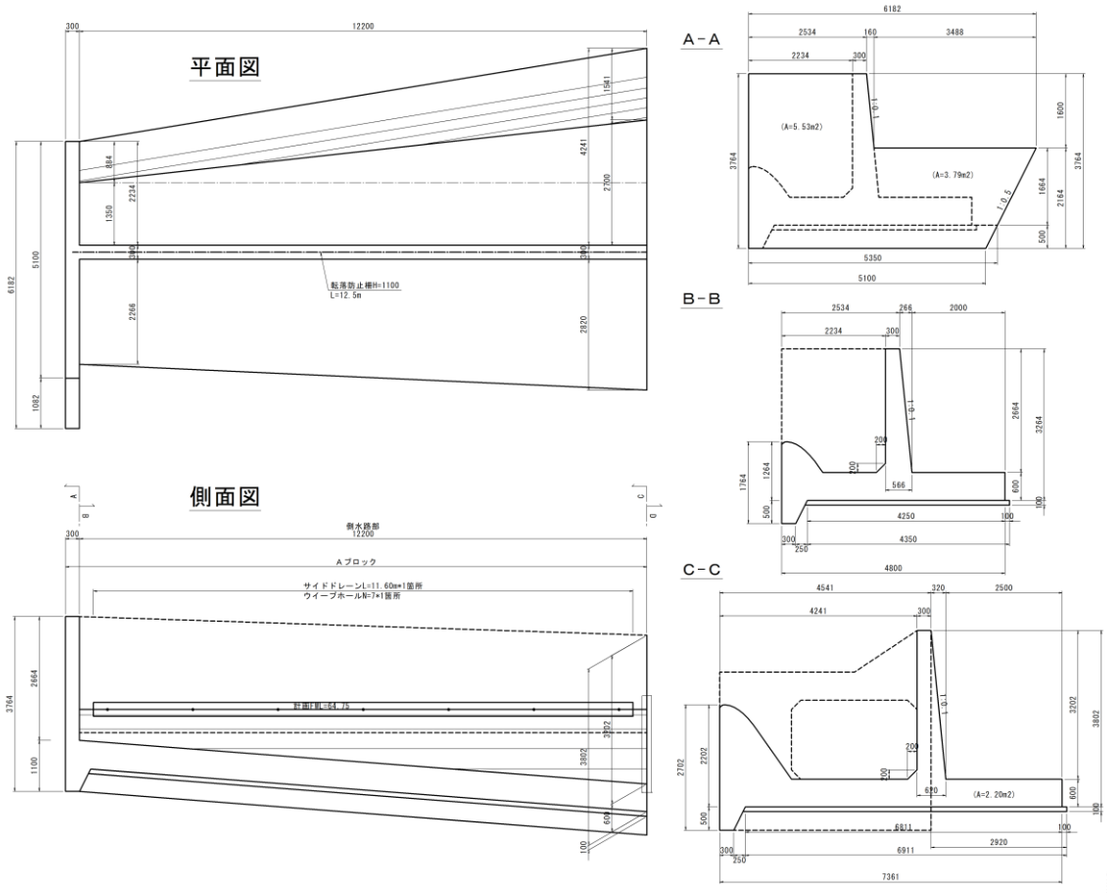
数　量　集　計　表

項　　目	規　　格	単位	側水路部	緩勾配水路部	放流部	減勢工部	下流水路	ウイング上流	ウイング下流	止水壁		計	備　考
基礎コンクリート	18N/mm2	m3	6.73	2.76	1.54	1.49	1.10					13.62	
型枠	均しコンクリート	m2	1.20	1.58	1.15	1.55	1.33					6.81	
鉄筋コンクリート	21N/mm2	m3	80.43	31.48	21.75	20.79	11.49	3.21	1.73			170.88	
型枠	鉄筋	m2	155.97	108.19	64.05	62.33	41.53	17.36	10.35			459.78	
無筋コンクリート	18N/mm2	m3								2.07		2.07	
型枠	無筋	m2								7.25		7.25	
鉄筋SD345	D25	t			0.613	0.611						1.224	
	D19	t		1.908			0.282					2.190	
	D16	t	0.304			0.089						0.393	
	D13	t	3.170	1.753	0.726	0.631	0.425					6.705	
目地材	t=10mm	m2		8.70	2.40	6.30	4.40					21.80	
止水板	CF-230*6mm	m		18.10	7.20	11.20	9.00					45.50	
ダウエルバー	D16 L=1000	箇所		58.00	23.00	37.00	29.00					147.00	
塩化ビニル管	VPφ20 L=500	箇所		58.00	23.00	37.00	29.00					147.00	
サイドドレーン	砕石5-25	m3	1.04	0.58	1.12	1.08	0.43					4.25	
吸出防止材		m2	10.44	5.81	11.16	10.80	4.32					42.53	
ウィープホール	φ50 L=430	箇所	7.00		6.00	6.00						19.00	
	φ50 L=600	箇所		5.00	6.00	6.00	4.00					21.00	
転落防止柵	H=1100	m	25.80									25.80	

計第 8 表

洪水吐工 数 量 計 算 書

名　　称　側水路部



箇所当り

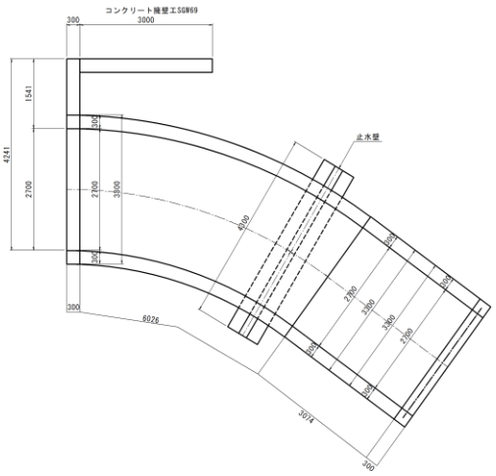
名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	18N/mm2	(4.35+6.91)/2*11.96*0.10	6.73	m3
型枠	均しｺﾝ	11.96*0.10	1.20	m2
ｺﾝｸﾘｰﾄ	21N/mm2	((2.53+2.69)/2*1.60+(6.18+5.35)/2*1.66)*0.30+(5.35+5.10)/2*0.50*(0.54+0.30)/2+((0.30+0.57)/2*2.66+(0.30+0.62)/2*3.20)/2*12.20+0.20*0.20/2*12.20+(4.80+7.36)/2*0.60*12.20+(0.30+0.55)/2*0.50*12.20+(0.40+1.54)/2*12.20	80.43	m3
型枠	鉄筋	(2.53+2.69)/2*1.60+(6.18+5.10)/2*2.16+5.53+3.79+3.26*0.30+(0.30+0.54)/2*0.50+1.60*1.005*0.30+((2.66*1.005+2.46)+(3.20*1.005+3.00))/2*12.20+0.20*1.414*12.20+0.60*12.20*2+(1.05+0.61+2.20+1.55)/2*12.20+0.50*12.20+2.20	155.97	m2
鉄筋SD345	D16	304/1000	0.304	t
	D13	3170/1000	3.170	t
サイドドレーン	砕石5-25	0.30*0.30*11.60	1.04	m3
吸出防止材		0.90*11.60	10.44	m2
ウィープホール	φ50 L=430	7*1	7.00	箇所

計第 9 表

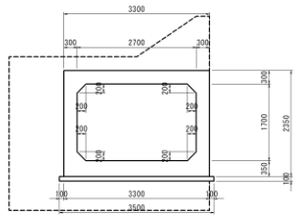
洪水吐工 数 量 計 算 書

名　　称　緩勾配水路部

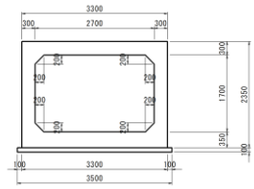
平面図



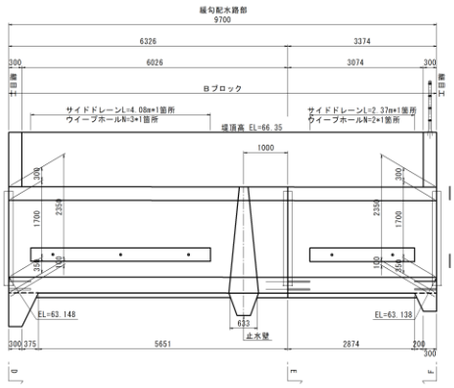
D-D



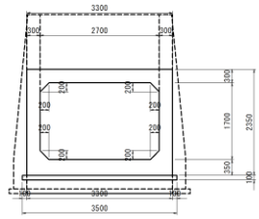
E-E



側面図



F-F



1箇所当り

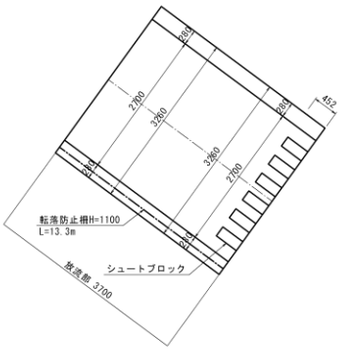
名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	18N/mm2	3.50*(5.65+2.87-0.63)*0.10	2.76	m3
型枠	基礎ｺﾝ	(5.65+2.87-0.63)*0.10*2	1.58	m2
ｺﾝｸﾘｰﾄ	21N/mm2	(3.30*2.35-2.70*1.70+0.20*0.20/2*4)*9.70	31.48	m3
型枠	鉄筋	(2.35+1.30)*9.70*2+0.20*1.414*9.70*4+2.30*9.70+3.30*2.35- 2.70*1.70+0.20*0.20/2*4+2.70*0.30+0.20*0.20/2*2	108.19	m2
鉄筋SD345	D19	(608+1300)/1000	1.908	t
	D13	(566+1187)/1000	1.753	t
サイドドレーン	砕石5-25	0.30*0.30*(4.08+2.37)	0.58	m3
吸出防止材		0.90*(4.08+2.37)	5.81	m2
ウィープホール	φ50 L=600	3*1+2*1	5.00	箇所
目地材	t=10mm	5.5+3.2	8.70	m2
止水板	CF-230*6mm	8.0+10.1	18.10	m
ダウエルバー	D16 L=1000	26+32	58.00	箇所
塩化ビニル管	VPφ20 L=500	26+32	58.00	箇所

計第 10 表

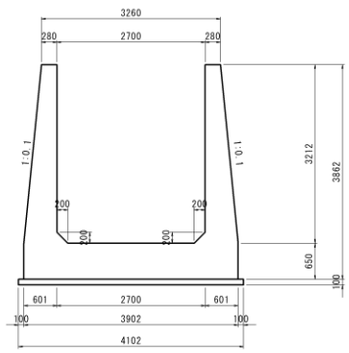
洪水吐工 数 量 計 算 書

名　　称　放流部

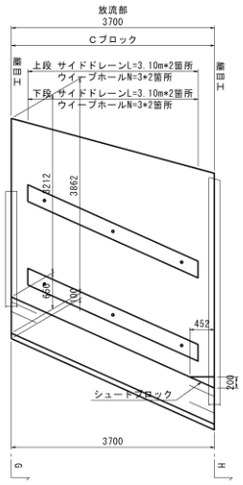
平面図



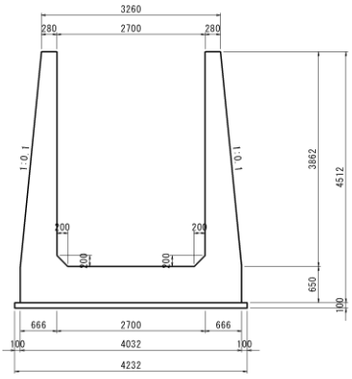
G-G



側面図



H-H



箇所当り

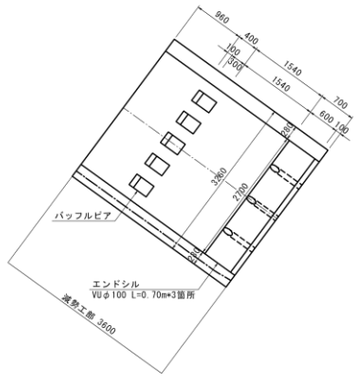
名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	18N/mm2	(4.10+4.23)/2*3.70*0.10	1.54	m3
型枠	基礎ｺﾝ	4.10*0.10+3.70*0.10*2	1.15	m2
ｺﾝｸﾘｰﾄ	21N/mm2	((0.28+0.60)/2*3.21+(0.28+0.67)/2*3.86)/2*3.70*2+0.20*0.20/2*3.70*2+(3.90+4.03)/2*0.65*3.70+0.45*0.20/2*0.20*6	21.75	m3
型枠	鉄筋	((3.21*1.005+3.01)+(3.86*1.005+3.66))/2*3.70*2+0.20*1.414*3.70*2+0.65*3.70*2+0.45*0.20/2*12+0.20*0.20*6+(0.28+0.60)/2*3.21*2+0.20*0.20/2*2+0.65*3.90	64.05	m2
鉄筋SD345	D25	613/1000	0.613	t
	D13	726/1000	0.726	t
サイドドレーン	砕石5-25	0.30*0.30*(3.10*2+3.10*2)	1.12	m3
吸出防止材		0.90*(3.10*2+3.10*2)	11.16	m2
ウィープホール	φ50 L=430	3*2	6.00	箇所
	φ50 L=600	3*2	6.00	箇所
目地材	t=10mm	2.4	2.40	m2
止水板	CF-230*6mm	7.2	7.20	m
ダウエルバー	D16 L=1000	23	23.00	箇所
塩化ビニル管	VPφ20 L=500	23	23.00	箇所

計第 11 表

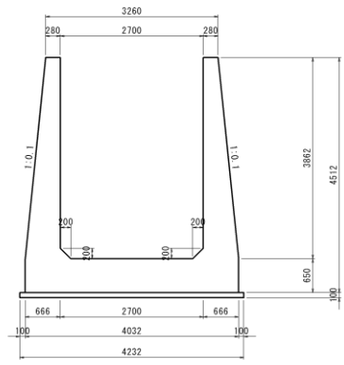
洪水吐工 数 量 計 算 書

名　　称　減勢工部

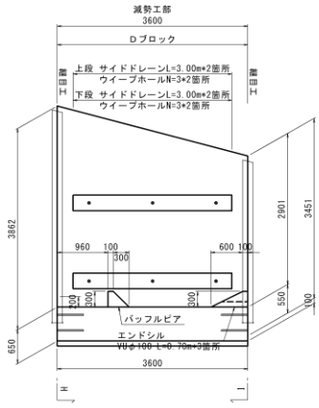
平面図



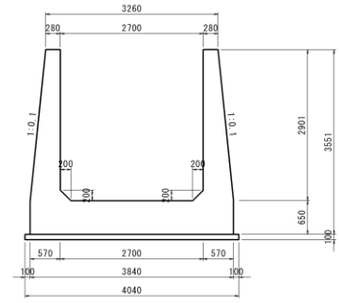
H－H



側面図



I－I



1箇所当り

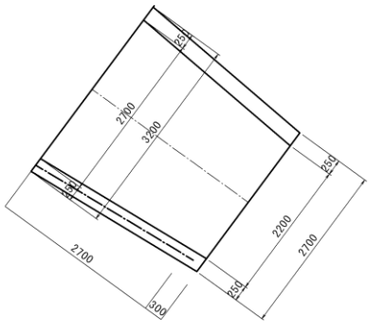
名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	18N/mm2	(4.23+4.04)/2*3.60*0.10	1.49	m3
型枠	基礎ｺﾝ	3.60*0.10*2+4.23*0.10+4.04*0.10	1.55	m2
ｺﾝｸﾘｰﾄ	21N/mm2	((0.28+0.67)/2*3.86+(0.28+0.57)/2*2.90)/2*3.60*2+0.20*0.20/2*3.60*2+(4.03+3.84)/2*3.60*0.65+(0.10+0.40)/2*0.30*0.25*5+(0.10+0.70)/2*0.30*2.70-0.05*0.05*3.14*0.70*3	20.79	m3
型枠	鉄筋	((3.86*1.005+3.66)+(2.90*1.005+2.70))/2*3.60*2+0.20*1.414*3.60*2+0.65*3.60*2+(0.10+0.40)/2*0.30*10+0.30*0.25*5+0.30*2.70+(0.28+0.67)/2*3.86*2+0.20*0.20/2*2+4.03*0.65	62.33	m2
鉄筋SD345	D25	611/1000	0.611	t
	D16	89/1000	0.089	t
	D13	631/1000	0.631	t
サイドドレーン	砕石5-25	0.30*0.30*(3.00*2+3.00*2)	1.08	m3
吸出防止材		0.90*(3.00*2+3.00*2)	10.80	m2
ウィープホール	φ50 L=430	3*2	6.00	箇所
	φ50 L=600	3*2	6.00	箇所
目地材	t=10mm	6.3	6.30	m2
止水板	CF-230*6mm	11.2	11.20	m
ダウエルバー	D16 L=1000	37	37.00	箇所
塩化ビニル管	VPφ20 L=500	37	37.00	箇所

計第 12 表

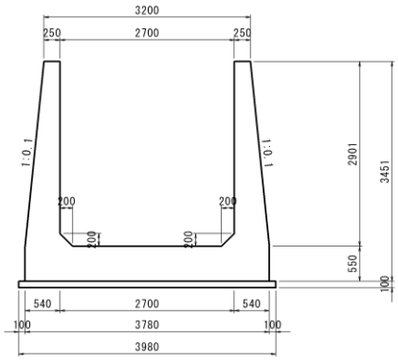
洪水吐工 数 量 計 算 書

名　　称　下流水路

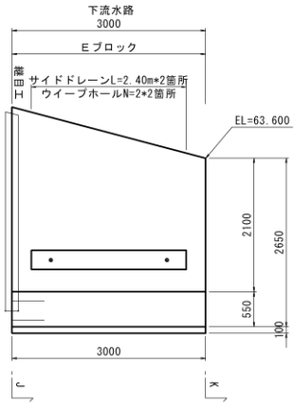
平面図



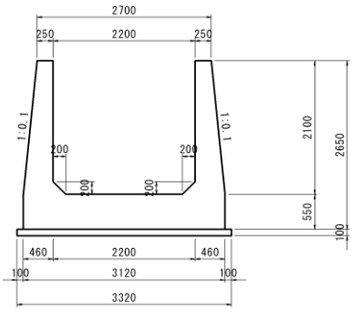
J－J



側面図



K－K



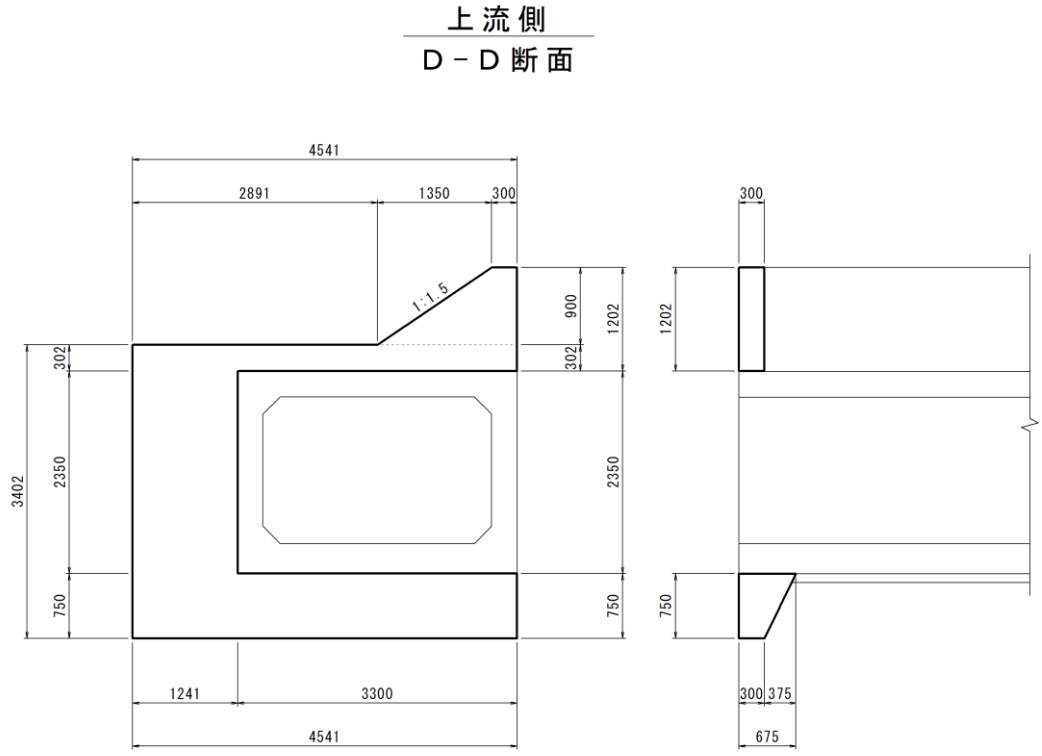
1箇所当り

名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	18N/mm2	(3.98+3.32)/2*3.00*0.10	1.10	m3
型枠	基礎ｺﾝ	3.00*0.10*2+3.98*0.10+3.32*0.10	1.33	m2
ｺﾝｸﾘｰﾄ	21N/mm2	((0.25+0.54)/2*2.90+(0.25+0.46)/2*2.10)/2*3.00*2+0.20*0.20/2*3.00*2+(3.78+3.12)/2*3.00*0.55	11.49	m3
型枠	鉄筋	((2.90*1.005+2.70)+(2.10*1.005+1.90))/2*3.00*2+0.20*1.414*3.00*2+0.55*3.00*2+(0.25+0.54)/2*2.90*2+0.20*0.20/2*2+3.78*0.55+(0.25+0.46)/2*2.10*2+0.20*0.20/2*2+3.12*0.55	41.53	m2
鉄筋SD345	D19	282/1000	0.282	t
	D13	425/1000	0.425	t
サイドドレーン	砕石5-25	0.30*0.30*2.40*2	0.43	m3
吸出防止材		0.90*2.40*2	4.32	m2
ウィープホール	φ50 L=600	2*2	4.00	箇所
目地材	t=10mm	4.4	4.40	m2
止水板	CF-230*6mm	9.0	9.00	m
ダウエルバー	D16 L=1000	29	29.00	箇所
塩化ビニル管	VPφ20 L=500	29	29.00	箇所

計第 13 表

洪水吐工 数 量 計 算 書

名　　称　ウイング上流側



1箇所当り

名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
ｺﾝｸﾘｰﾄ	21N/mm2	((0.30+1.65)/2*0.90+4.54*2.65-3.30*2.35)*0.30+4.54*(0.68+0.30)/2*0.75	3.21	m3
型枠	鉄筋	((0.30+1.65)/2*0.90*2+4.54*2.65-3.30*2.35)*2+4.54*0.75+(0.30+0.68)/2*0.75*2+0.30*1.20+0.30*2.65	17.36	m2

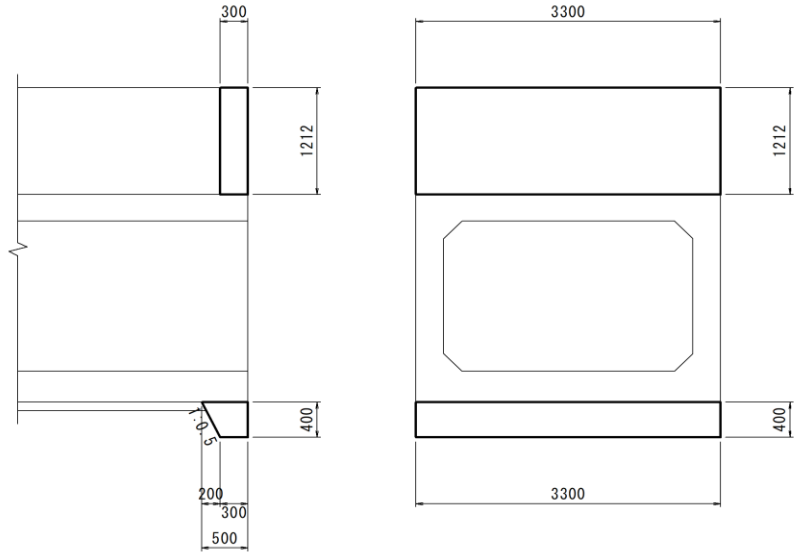
計第 14 表

洪水吐工 数 量 計 算 書

名　　称　ウイング

下流側

F－F断面



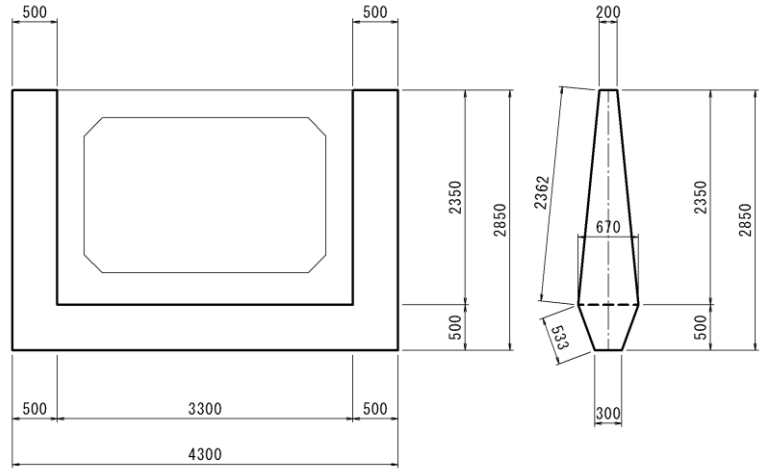
1箇所当り

名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
ｺﾝｸﾘｰﾄ	21N/mm2	3.30*1.21*0.30+3.30*(0.50+0.30)/2*0.40	1.73	m3
型枠	鉄筋	3.30*1.21*2+3.30*0.40+0.30*1.21*2+(0.50+0.30)/2*0.40*2	10.35	m2

計第 15 表

洪水吐工 数 量 計 算 書

名　　称　止水壁工



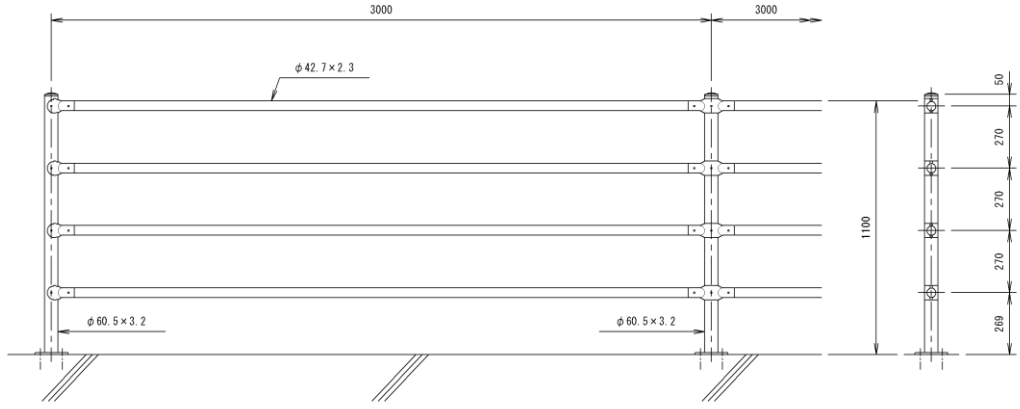
1箇所当り

名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
ｺﾝｸﾘｰﾄ	18N/mm2	(0.20+0.67)/2*2.35*0.50*2+(0.67+0.30)/2*0.50*4.30	2.07	m3
型枠	無筋	((0.20+0.67)/2*2.35+(0.67+0.30)/2*0.50)*2+0.50*2.36*4	7.25	m2

計第 16 表

洪水吐工 数 量 計 算 書

名　　称　転落防止柵



1箇所当り

名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
転落防止柵	H=1100	12.5+13.3	25.80	m

仮設工数量計算書

仮　設　工　集計表

種　別	規　格	単位	数　量	備　考
仮設道路設置				
土工				
盛土	2.5≦w＜4.0	m3	9.8	
盛土	4.0＜w	m3	173.8	
土砂運搬	2tDT	m3	183.7	
購入土		m3	244.8	土量配分表より
改良工				
地盤改良　BH混合	qu=100KN/m2	m2		
舗装工				
路盤工　敷砂利RC-40	t＝100	m2	20.5	
仮設道路撤去				
土工				
掘削		m3	365.0	敷砂利含む
足場工	単管傾斜足場	掛m2	75.0	
	単管足場	掛m2	104.4	
支保工	f≦40kN/m2	空m3	43.8	
水替工				
ポンプ運転	排水量0以上6m3/h未満	日	10	
ポンプ設置・撤去工		箇所	1	

計第 1 表　　仮設道路土工　　計　算　書

測　点	盛土(2.5≦w＜4.0) 距　離	断面積	平　均	立　積	盛土(4.0＜w) 距　離	幅	平　均	平　積	摘　要
迂回路									
		1.2				21.2			
	8.2	1.2	1.20	9.8	8.2	21.2	21.20	173.8	
計	8.2			9.8	8.2			173.8	

計第　2 表

仮設道路土工　　計　算　書

測　点	路盤工RC-40 距　離	幅	平　均	平　積	距　離	断面積	平　均	立　積	摘　要
迂回路									
		2.5							
	8.2	2.5	2.50	20.5					
計	8.2			20.5					

計第 3 表

仮設道路土工　　計　算　書

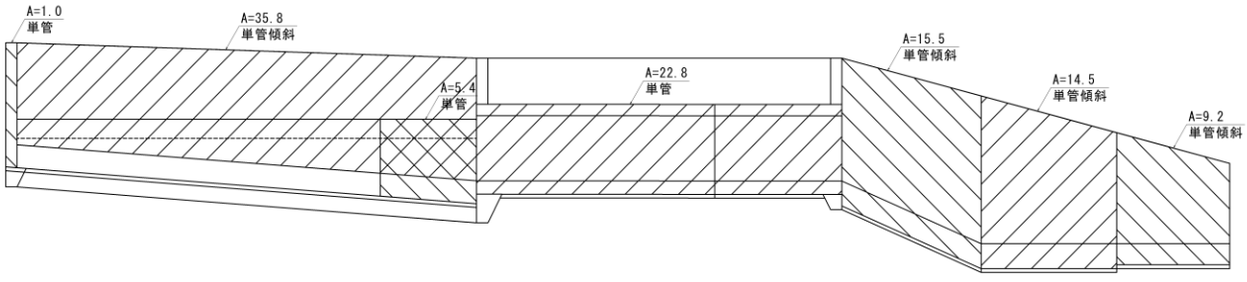
測　点	掘削 距 離	掘削 断 面 積	掘削 平 均	掘削 立 積	距 離	幅	平 均	平 積	摘 要
1号仮設道路									
NO.0-20.0		0.3							
NO.0-18.8	1.2	7.7	4.00	4.8					
NO.0-15.0	3.8	9.7	8.70	33.1					
NO.0-10.0	5.0	12.2	10.95	54.8					
NO.0-5.7	4.3	10.7	11.45	49.2					
NO.0-4.3	1.4	7.5	9.10	12.7					
NO.0	4.3	3.8	5.65	24.3					
迂回路									
		22.7							
	8.2	22.7	22.70	186.1					
計	28.2			365.0					

計第 4 表

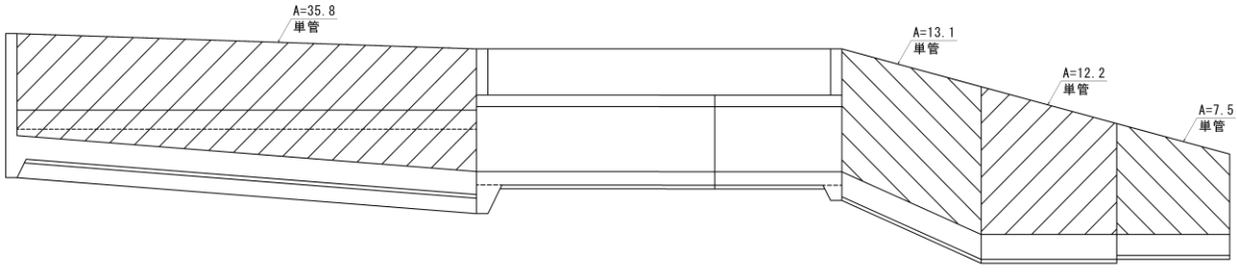
仮設工 数 量 計 算 書

名　　称　足場工

外側



内側



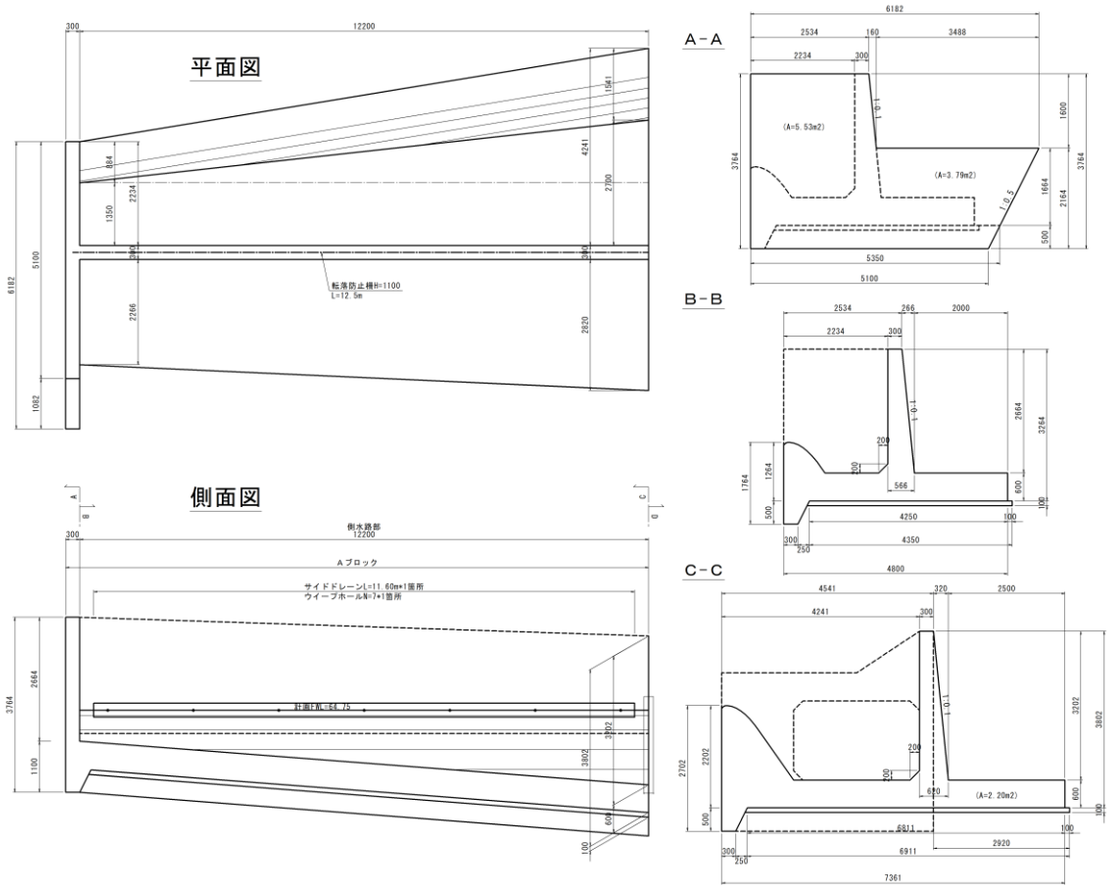
1箇所当り

名　　称	箇　　所	算　　式	数　量	単位
単管傾斜足場	①側水路部		35.8	掛m2
	③放流部		15.5	掛m2
	④減勢工部		14.5	掛m2
	⑤下流水路		9.2	掛m2
		合計	75.0	掛m2
単管足場	①側水路部		42.2	掛m2
	②緩勾配水路部		22.8	掛m2
	③放流部		13.1	掛m2
	④減勢工部		12.2	掛m2
	⑤下流水路		7.5	掛m2
	⑥ウイング（上流）		6.6	掛m2
		合計	104.4	掛m2
支保工	②緩勾配水路部	合計	43.8	空m3

計第 5 表

洪水吐工 数 量 計 算 書

名　　称　側水路部



箇所当り

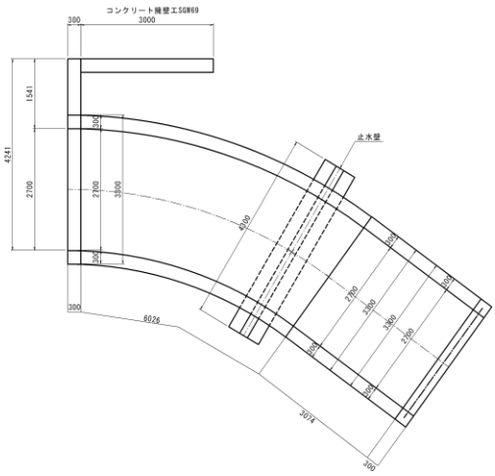
名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
足場工	単管傾斜足場	(2.664+3.202)/2*12.2	35.78	掛m2
	単管足場	3.341*0.30+(2.664+3.202)/2*12.2+(2.202+2.000)/2*2.472	42.23	掛m2

計第 6 表

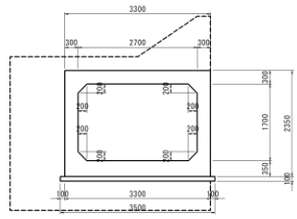
洪水吐工 数 量 計 算 書

名　　称　緩勾配水路部

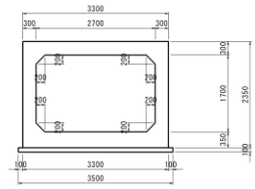
平面図



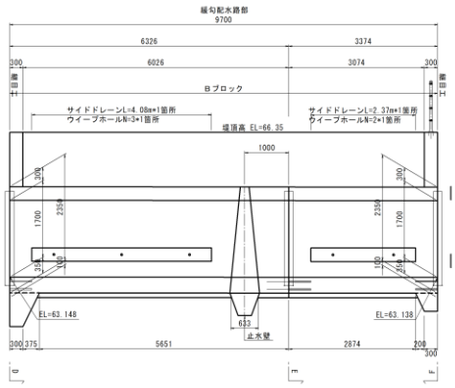
D－D



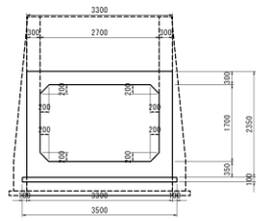
E－E



側面図



F－F



1箇所当り

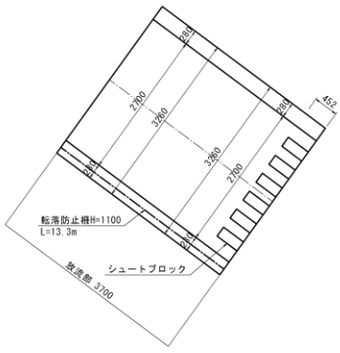
名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
足場工	単管足場	2.35*9.7	22.80	掛m2
支保工	パイプサポート支保工	(2.70*1.70-0.20*0.20/2*4)*9.70	43.75	空m3

計第 7 表

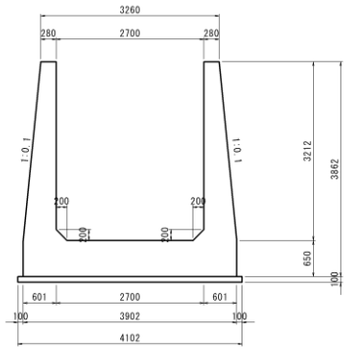
洪水吐工 数 量 計 算 書

名　　称　放流部

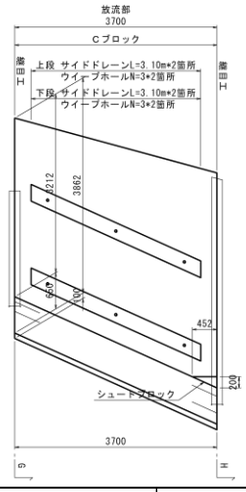
平面図



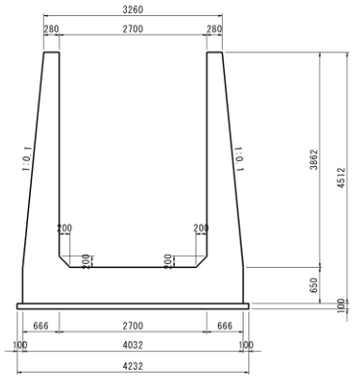
G-G



側面図



H-H



箇所当り

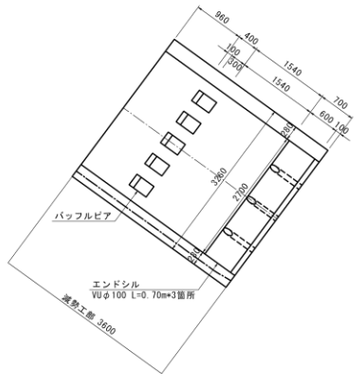
名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
足場工	単管傾斜足場	(3.862+4.512)/2*3.7	15.49	掛m2
	単管足場	(3.212+3.862)/2*3.7	13.09	掛m2

計第 8 表

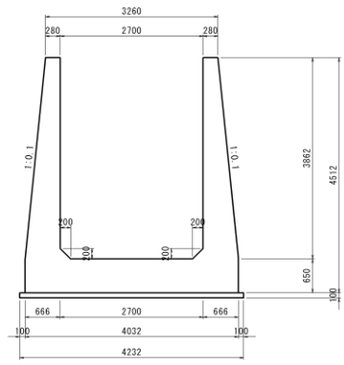
洪水吐工 数 量 計 算 書

名　　称　減勢工部

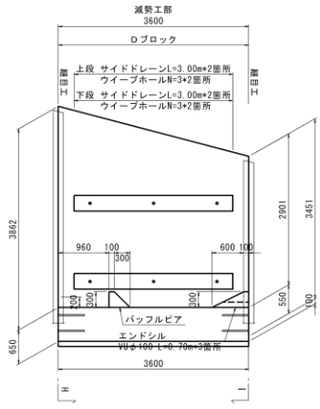
平面図



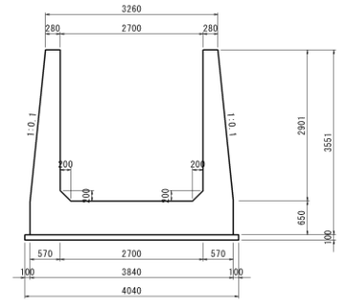
H－H



側面図



I－I



1箇所当り

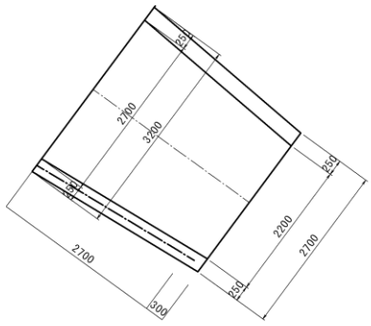
名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
足場工	単管傾斜足場	(4.512+3.551)/2*3.6	14.51	掛m2
	単管足場	(3.862+2.901)/2*3.6	12.17	掛m2

計第 9 表

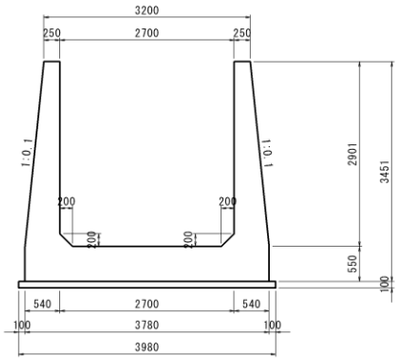
洪水吐工 数 量 計 算 書

名　　称　下流水路

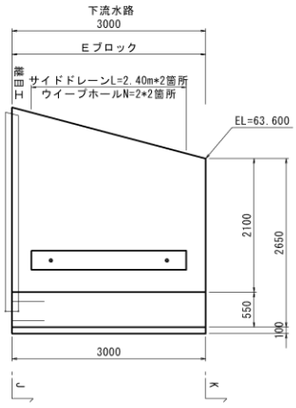
平面図



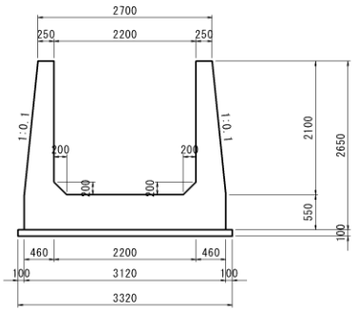
J－J



側面図



K－K



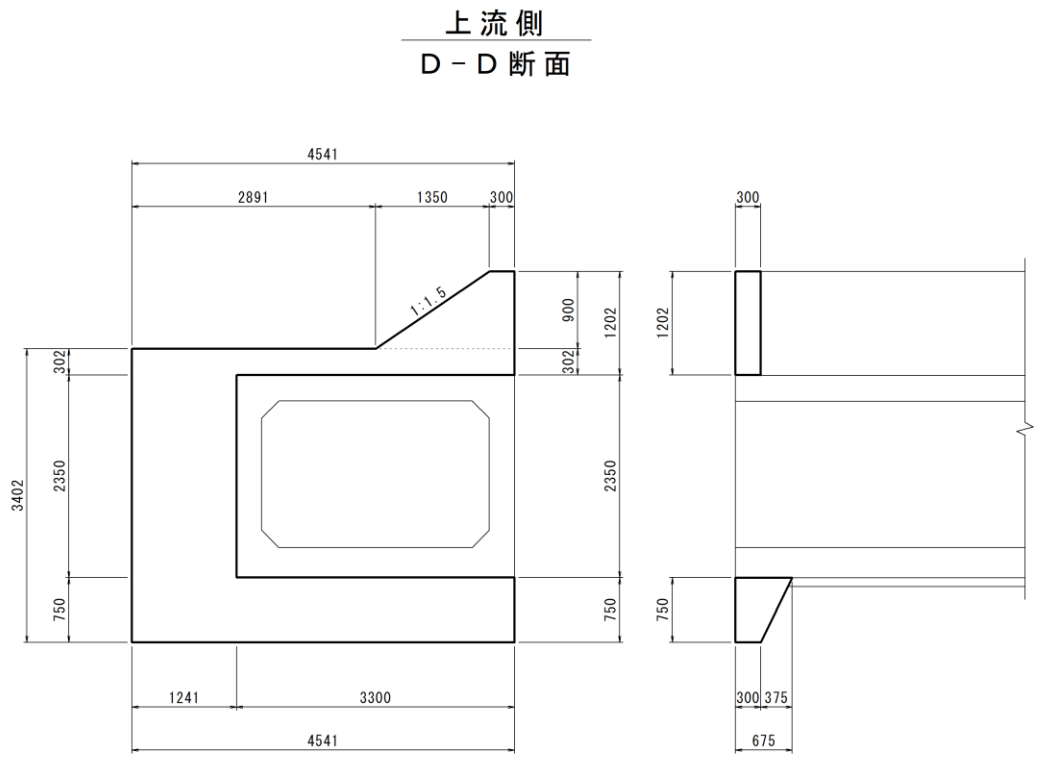
1箇所当り

名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
足場工	単管傾斜足場	(3.451+2.650)/2*3.0	9.15	掛m2
	単管足場	(2.901+2.100)/2*3.0	7.50	掛m2

計第 10 表

洪水吐工 数 量 計 算 書

名　　称　ウイング上流側

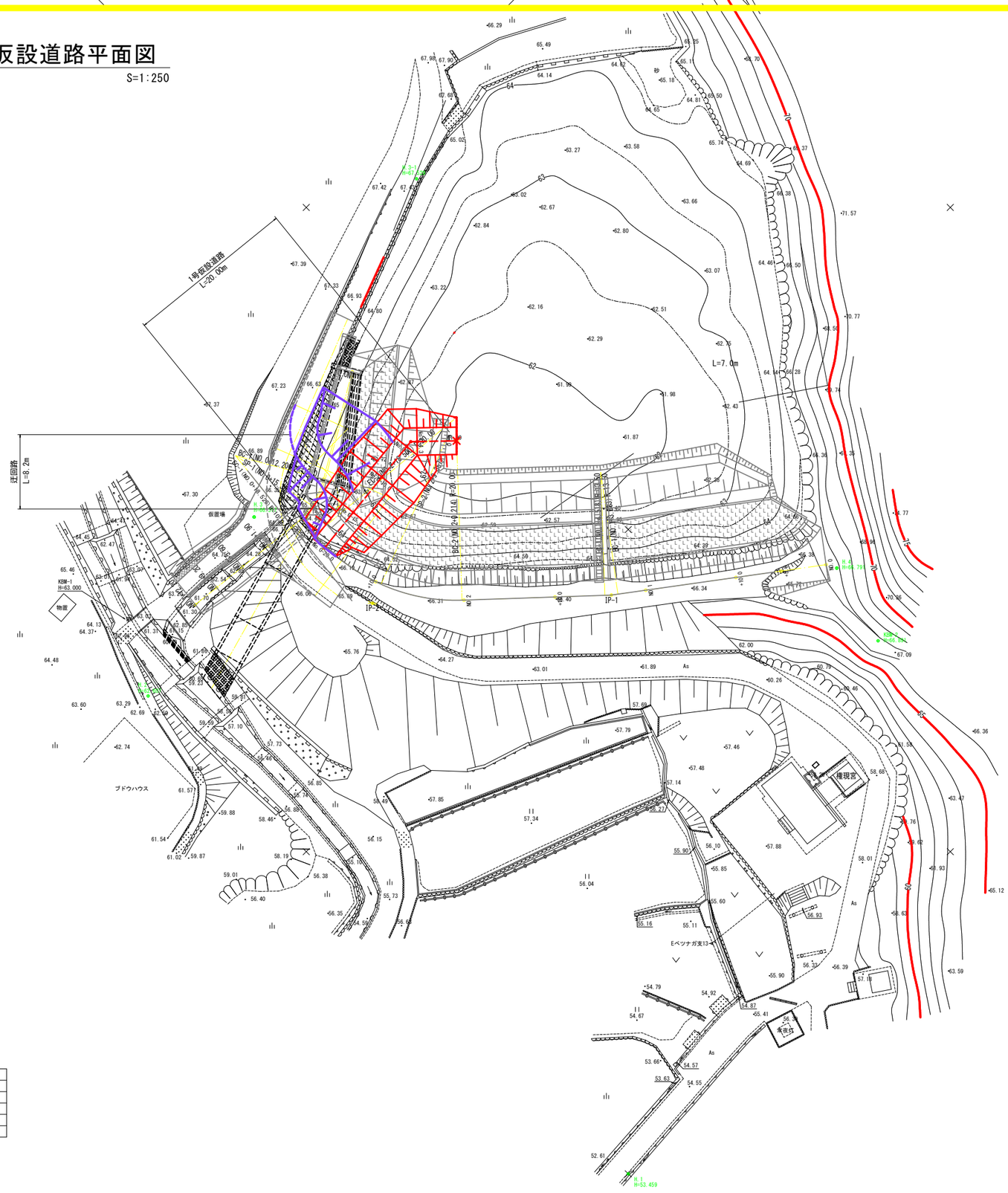


1箇所当り

名　　称	規　格	算　　式	数　量	単位
足場工	単管足場	1.24*2.65*2	6.57	掛m2

仮設道路平面図

S=1:250



S=1:250

IP. NO	1
I A	36° 14′ 48″
R	10.000
T L	3.273
C L	6.326
S L	0.522

IP. NO	2
I A	28° 03′ 07″
R	20.000
T L	4.996
C L	9.792
S L	0.615

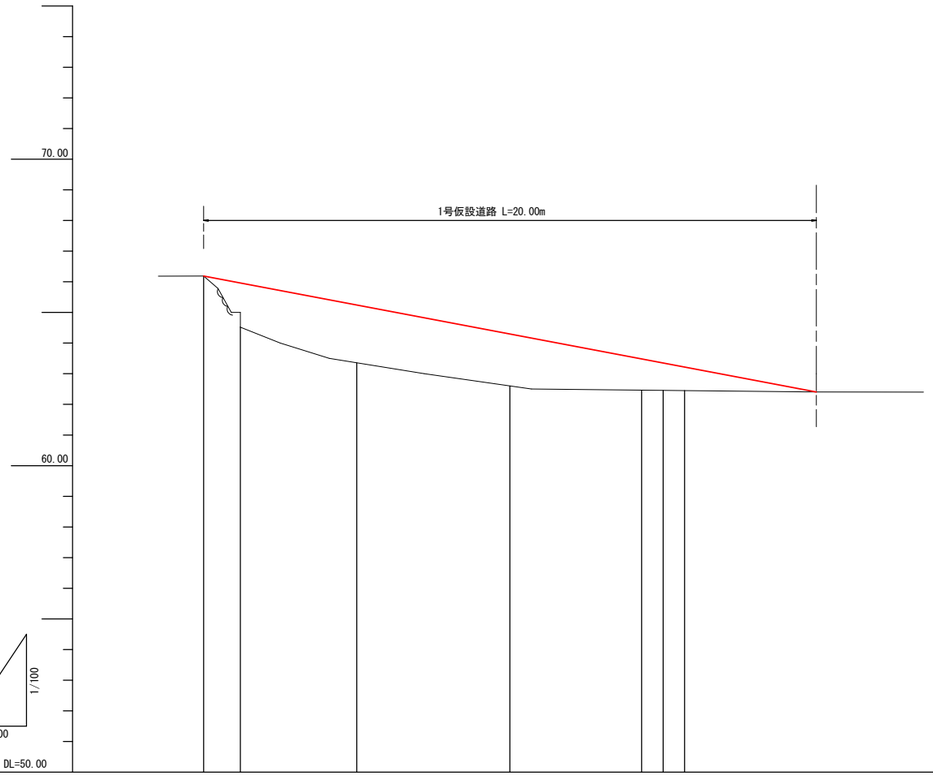
IP. NO	1
I A	6° 05′ 28″
R	13.500
T L	0.718
C L	1.435
S L	0.019

（参考図）

工　事　名	権現池改良工事		
図　面　名	仮設道路平面図		
作成年月日	2025年(令和7年) 9月		
縮　　尺	H=1/250	図面番号	1 / 3
事務所名	福　　山　　市		

1号仮設道路縦断面図

H=1:100
V=1:100



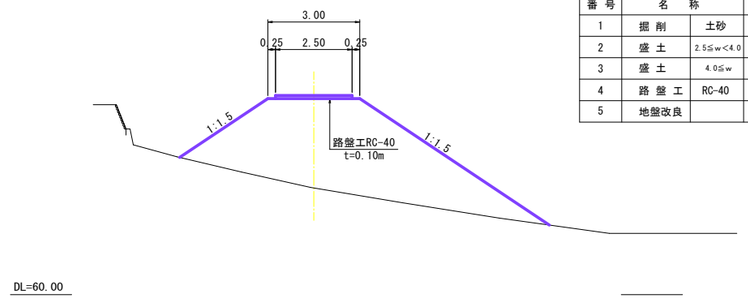
※　仮設縦断図・仮設横断図はペーロケである。

勾配図	66.20	i=16.50% L=20.00m					62.90
計画高	66.20	66.00	65.38	64.55	63.84	63.73	63.61	62.90
盛土	0.00	1.00 1.50	2.03	1.95	1.59	1.53	1.48	0.50
切土	-							-
地盤高	66.20	65.00 64.50	63.35	62.60	62.25	62.20	62.13	61.90
追加距離	0.00	1.20	5.00	10.00	14.30	15.00	15.70	20.00
区間距離	0.00	1.20	3.80	5.00	4.30	0.70	0.70	4.30
測点	NO.0- 20.0	- 18.8	- 15.0	- 10.0	- 5.7	- 5.0	- 4.3	NO.0

迂回路

標準断面図

S=1:100



土　工　区　分　凡　例			
番号	名　称		全体
1	掘削	土砂	22.7 m2
2	盛土	2.5≦w<4.0	1.2 m2
3	盛土	4.0≦w	21.2 m2
4	路盤工	RC-40	2.50 m
5	地盤改良		- m

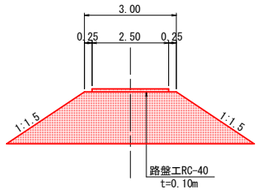
（参考図）

工事名	権現池改良工事		
図面名	1号仮設道路縦断面図		
作成年月日	2025年（令和7年）9月		
縮尺	H=1/100 V=1/100	図面番号	2 / 3
事務所名	福　山　市		

1号仮設道路横断面図

S=1:100

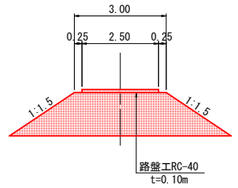
NO.0-15.0
GH=63.35
FH=65.38



DL=63.00

・掘削＝9.7

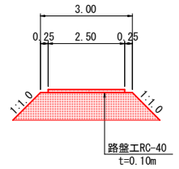
NO.0-4.3
GH=62.13
FH=63.61



DL=61.00

・掘削＝7.5

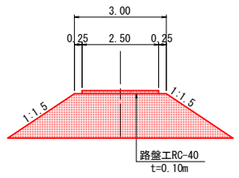
NO.0
GH=61.90
FH=62.90



DL=62.00

・掘削＝3.8

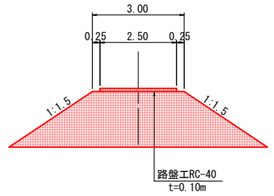
NO.0-18.80
GH=65.00(64.50)
FH=66.00



DL=63.00

・掘削＝7.7

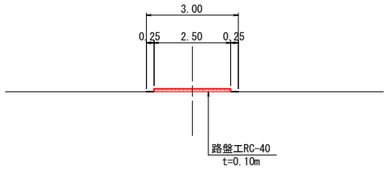
NO.0-5.7
GH=62.25
FH=63.84



DL=61.00

・掘削＝10.7

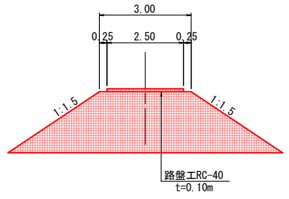
NO.0-20.0
GH=66.20
FH=66.20



DL=63.00

・掘削＝0.3

NO.0-10.0
GH=62.60
FH=64.55



DL=62.00

・掘削＝12.2

（参考図）

工　事　名	権現池改良工事		
図　面　名	1号仮設道路横断図		
作成年月日	2025年（令和7年）9月		
縮　　尺	S=1/100	図面番号	3 / 3
事務所名	福　　山　　市		